

平成29年度大会計画一覧表および大会要項

目 次

I. 平成29年度大会計画一覧表	1
II. 平成29年度理事会・評議員会・加盟団体代表者会議（予定）	2
III. 平成29年度全国公認レフェリー・上級審判員研修会	2
IV. 注意事項	2
V. 全国大会、国際大会、選考会開催および登録数により加盟団体に与えられる増員数	3
VI. 平成29年度大会要項	
1. 第30回全国ラージボール卓球大会	5
2. 第36回全日本クラブ卓球選手権大会	8
3. 第67回全日本実業団卓球選手権大会	12
4. 全農杯 平成29年度全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）	15
5. 第86回全国高等学校卓球選手権大会	18
6. 第一三共ヘルスケア・レディース2017・第40回全国レディース卓球大会	21
7. 第35回全国ホープス卓球大会	24
8. 第48回全国中学校卓球大会	26
9. 第72回国民体育大会（卓球競技）	29
10. 平成29年度全日本卓球選手権大会（団体の部）	33
11. 平成29年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）	35
12. 第51回全日本社会人卓球選手権大会	39
13. JOCジュニアオリンピックカップ2017 平成29年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）	43
14. 天皇杯・皇后杯 平成29年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）	46
15. 第20回全国レディース卓球フェスティバル	53
16. 第15回全国ホープス選抜卓球大会	55
17. 第19回全国中学選抜卓球大会	57
18. 第45回全国高等学校選抜卓球大会	59
19. 第62回全国教職員卓球選手権大会	62
VII. 平成28年度全日本総合ランキング	63
VIII. 大会ランキング委員会実施マニュアル	64
IX. 全国大会主管マニュアル	65
X. 平成29年度以降の全国大会主管地予定一覧表（案）	73
申込み締切日一覧表	裏表紙

I. 平成29年度

H29	休	本会主催事業（太字は国際事業および会議）	交流・招待・国際事業 （★はITTFワールドツアー、☆はITTFジュニアキート）
4月	2 9 16 23 30	16 全国公認レフェリー・上級審判員研修会 （東京：味の素ナショナルトレーニングセンター／大阪：大阪市中央体育館）	3～7 ☆チュニジアジュニアアカデットオープン（ラデス） 8～11 ☆オーストラリアジュニアアカデットサーキット（トゥワイドヘッドス） 9～16 アジア選手権大会（中国・無錫市） 18～23 ★韓国オープン（インチョン） 19～23 ☆ベルギージュニアアカデットオープン（スパ）
5月	7 14 21 28	27 運営会議（東京） 27～28 東アジアホープズ卓球大会 日本代表選考会（東京・エフォルタリーナ八王子）	3～7 ☆インドジュニアアカデットオープン（ニューデリー） 10～14 ☆タイジュニアアカデットオープン（バンコク） 17～21 ☆スペインジュニアアカデットオープン（ブラヤデアロ） 24～28 ☆ポーランドジュニアアカデットオープン（Wladyslawowo） 29～6/5 世界選手権大会（ドイツ・デュッセルドルフ）
6月	4 11 18 25	10 理事会（東京） 14～18 ジャパンオープン・荻村杯2017（東京・東京体育館） 25 評議員会（東京） 29～7/2 全国ラージボール大会（和歌山・ビッグホエール/ビッグウェーブ）	1～4 ☆スロバキアジュニアサーキット（セネツ） 18～19 ☆アルゼンチンジュニアサーキット（ブエノスアイレス） 20～25 ★中国オープン（成都市） 21～25 ☆中国ジュニアアカデットサーキット（太倉） 29～7/4 アジアジュニア選手権大会（タイ・バンコク）
7月	2 9 16 23 30	14～17 全日本クラブ選手権大会（広島・広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）） 20～23 全日本実業団選手権大会（愛知・スカイホール豊田） 28～30 全日本選手権大会（ホプス・加'・パ'の部）（兵庫・グリーンアリーナ神戸） 28～30 全国レディース卓球大会（高松市総合体育館）	2～7 ★オーストラリアオープン（ブリスベン） 25～29 ジョーダンジュニアアカデットオープン（アンマン）
8月	6 13 20 27	14～16 全国ホープズ大会（東京・東京体育館） 26 運営会議（東京）	2～6 ホンコンジュニアアカデットオープン（ホンコン） 15～20 ★ブルガリアオープン（バナギュリシテ） 16～20 ☆エルサルバドルジュニアアカデットオープン（サルヴァドール） 19～30 ユニバーシアード（チャイニーズタイペイ・台北） 22～27 ★チェコオープン（オロモウツ） 29～9/3 ★オーストリアオープン（リンツ）
9月	3 10 17 24	9 理事会（東京） 30～10/4 国民体育大会（愛媛・宇和島市総合体育館）	13～17 ☆クロアチアジュニアアカデットオープン（ヴァラジュディン） 20～24 ☆スロベニアジュニアアカデットオープン（オトーチェツ）
10月	1 8 15 22 29	13～15 全日本選手権（団体の部）（福井・敦賀市総合運動公園体育館） 27～29 全日本選手権大会（マスターズの部）（新潟・リジ'ョ'リ'ラ'上越/上越市教育'ラ'体育館）	4～8 ☆セルビアジュニアアカデットオープン（VrnjackaBanja） 11～15 ☆エジプトジュニアアカデットオープン（シャルムエイク） 20～22 男子ワールドカップ（ベルギー・リエージュ） 21～29 ワールドカデットチャレンジ（フィジー） 27～29 女子ワールドカップ（カナダ・マーカーカム）
11月	5 12 19 26	3～5 全日本社会人選手権大会（岡山・ジップアリーナ（岡山県総合グランド）体育館） 10～12 JOCジュニアオリンピックカップ 2017・全日本選手権（カ'ットの部）（熊本・県立総合体育館） 25 加盟団体代表者会議（東京）	3～5 ☆スロバキアジュニアサーキット（ブラチスラヴァ） 7～12 ★ドイツオープン（マクデブルグ） 8～12 ☆ハンガリージュニアサーキット（ソンバトヘイ） 13～19 ★スウェーデンオープン（ストックホルム） 26～12/3 世界ジュニア選手権大会（イタリア・リヴァデルガルダ）
12月	3 10 17 24	2 運営会議（東京） 16 理事会（東京）	
H30 1月	7 14 21 28	15～21 天皇杯・皇后杯 全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）（東京・東京体育館）	
2月	4 11 18 25	17 運営会議（東京） 27～28 全国レディース卓球フェスティバル（大阪・大阪市中央体育館）	2～4 ワールドジュニアサーキットファイナル（ル'ベ'グ'ル'グ）
3月	4 11 18 25	10 理事会（東京） 23～25 全国ホープズ選抜大会（神奈川・小田原市総合文化体育館小田原アリーナ） 24～25 全国中学選抜大会（京都・島津アリーナ京都）	

大会計画一覧表

日本リーグ・日学連・高体連・教職員卓連・障害者卓連・ろうあ者卓協他	
8~9	日本リーグビッグトーナメント（茨城・日立市池の川さくらアリーナ）
20~23	40周年記念2017日本卓球リーグ大会（東京・港区味方・ツェンター・グランド・プリンスビル）
3~4	FIDジャパン・チャンピオンシップ大会（神奈川・平沼記念体育館）
7~11	日本リーグ（前期）（鳥根・松江市総合体育館）
6~9	全日本大学総合（団体の部）（北海道・道立総合体育センター）
18~31	夏季デフリンピック（トルコ・サムスン市）
28~8/2	全国高等学校選手権大会（福島・郡山総合体育館）
3~6	全国教職員大会（千葉・浦安市運動公園総合体育館）
22~25	全国中学校大会（大分・べっぴんアリーナ）
26~27	日本リーグ日学連対抗トリムマッチ（京都・三段池公園総合体育館）
9~12	全国健康福祉祭（秋田・横手体育館）
22~24	全国ろうあ者体育大会（静岡・静岡県武道館）
23~24	FIDジャパン・ユースオープン（岐阜・OKBぎふ清流アリーナ）
26~29	全日本大学総合（個人の部）（埼玉・所沢市民体育館）
15~19	日本リーグ（後期）（京都・ハンナリーズアリーナ）
24~25	全日本学生選抜大会（大阪・なみはやドーム）
2~3	FIDジャパンチャンピオンリーグ大会（神奈川・平沼記念体育館）
2	日本リーグ（JTTL選抜全国チャンピオン大会）（東京・江東区スポーツ会館）
9~10	日本リーグ（JTTLファイナル4）（沖縄・那覇市民体育館）
7	全国ろうあ者卓球選手権大会（新潟・南部体育館）
25~28	全国高等学校選抜大会（福井・福井県営体育館）

平成30年度予定（太字は国際事業） ※日程、開催地については、事情により変更することがあります。	
H30 4月	日本卓球リーグビクトトーナメント 29~5/6 世界選手権大会（スウェーデン・ハルムスタッド）
5月	
6月	日本リーグ（前期） 22~24 ラージボール卓球大会（大分）
7月	13~16 全日本クラブ選手権大会（三重）*開催月日予定 19~22 全日本実業団選手権大会（鹿児島）*開催月日予定 29~30 全国レディース大会（富山）*開催月日予定 全日本選手権大会（ホース・クラブ・パビリオンの部）（兵庫）
8月	全国ホープス大会（東京） 全国高等学校選手権大会（愛知） 22~25 全国中学校大会（広島）*開催月日予定
9月	29~10/3 国民体育大会（福井・敦賀市）*開催月日予定
10月	1~12 ユースオリンピック競技大会（アルゼンチン・ブエノスアイレス） 全日本選手権（団体の部）（茨城） 全日本選手権大会（マスターズの部）（静岡）
11月	全日本社会人選手権大会（徳島） JOCジュニアオリンピックカップ全日本選手権（カゲツの部）（宮城） 全国健康福祉祭（富山）
12月	
H31 1月	全日本選手権大会（一般・ジュニアの部）
2月	
3月	全国レディース卓球フェスティバル（大阪） 全国高等学校選抜大会（福岡） 全国ホープス選抜大会（岐阜） 23~24 全国中学選抜大会（新潟）*開催月日予定

II. 平成29年度理事会・評議員会・全国理事長事務局長会議（予定）

○第1回理事会	期 日	平成29年 6月10日（土）	13:30～
	場 所	東 京	
○第1回評議員会	期 日	平成29年 6月25日（日）	13:30～
	場 所	東 京	
○第2回理事会	期 日	平成29年 9月 9日（土）	13:30～
	場 所	東 京	
○第3回理事会	期 日	平成29年12月16日（土）	13:30～
	場 所	東 京	
○第4回理事会	期 日	平成30年 3月10日（土）	13:30～
	場 所	東 京	
◆加盟団体代表者会議	期 日	平成29年11月25日（土）	12:30～
	場 所	東 京	

III. 平成29年度全国公認レフェリー・上級公認審判員研修会

期 日	平成29年4月16日（日）	
場 所	東京：味の素フォレストレニングセンター	9:00～17:00
	大阪：大阪市中央体育館	9:00～17:00

IV. 注意事項

1. 登録手続きについて（選手、役員）

- ① 本会主催の全国大会及びその予選
- ② 加盟団体主催の各都道府県大会

①②の大会には、本会へ登録していない選手は出場できない（団体戦による監督・コーチ・アドバイザーなど含む）。各都道府県事務局は本会に対して登録事務を済ませていない者を申し込まないこと。又、②の大会だけに出場する者であっても、加盟団体を通じて本会への登録が必要である。（但し、全国中学校大会、国民体育大会を除く。）

※要項中、「登録者」とは、本会加盟団体を通じて本会への平成29年度登録手続き済みの者をいう。

2. 段位取得について（平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段階制）規程改正に基づく）

- ① 全日本社会人選手権大会
- ② 全日本選手権大会（マスターズの部）
- ③ 全日本選手権大会（一般・ジュニア）
- ④ 全日本選手権大会（団体の部）
- ⑤ 全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規定要約（平成元年以降）

- | | | |
|----|------------------------------|----|
| ア） | 初出場者 | 初段 |
| イ） | 同一大会3回出場者 | 2段 |
| ウ） | 同一大会5回出場者 | 3段 |
| エ） | 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト16入り経験者 | 4段 |
| オ） | 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト4入り入賞経験者 | 5段 |
| カ） | 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者 | 6段 |

3. アンダーライン（———）

各大会要項中、アンダーライン（———）部分は、前年度より変更部分を示す。

但し、各大会の参加枠数については前年度と増減があってもアンダーラインを引いていないので、それぞれ確認すること。

4. 競技日程について 競技日程に関するお問い合わせは、各主管団体にお問い合わせください。
5. 申し込みについて 締切後の変更、参加料の返金は原則認められない
6. 組合せについて 組合せ結果は、本会ホームページにて掲載いたします。
7. 競技用シャツのJTТА公認マークについて

JTТАの公認マークがない競技用シャツ、シューズ（スコート）は、公認メーカーが販売したものであっても、本会および加盟団体が主催する試合で使用することはできません。

8. 申込書について 各大会の申込書は個別に各大会要項を添えて各加盟団体宛に送付します。
（大会申込システムにてお申込みもできます。）

9. 接着剤について

本会が公認した揮発性有機溶剤を含まない接着剤（平成28年6月1日現在：※以後の公認についてはホームページ参照）

★ジュウイック：アクアエフェクト、アクアエフェクト2、アクアスティック、PETシート、エコロマジックグルー、クイッククリーン、JUIC Quick&Easy Glue

★ヤマト卓球：ウォーターボンド、ウォーターグルー、TSP接着シート、ラテグルー、TSP接着シートコア

★タマス：ウォーター・チャック、ニュークイック、フィットチャック、チャックシート、フリー・チャック、フリー・チャックII

★日本卓球：のりキッド、のりシート、ファインジップ、のりシートプラス、E-ジップ、クイックジップ

★ヤサカ：水のりさん、のり助さん

★ヨーラ：グリーンパワー、エックスグルー、レックス

★アンドロ：フリーステッカー、フリーグルー、ターボフィックス

★XIOM：“XIOM” I-BOND、“XIOM” I-PSA

★DONIC：バリオクリーン、フォーミュラファースト、DONIC接着シート、bule contact

★STIGA：アタッチパワーグルー

10. ペンホルダー選手の特別推薦枠について

平成29年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）および平成29年度全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）において、ペンホルダー選手の特別推薦枠が設けられています。世界の強国である中国、韓国、中国香港、チャイニーズタイペイでは、ペンホルダー選手が世界のトップランキングあるいはそれに続く位置にあり、世界で活躍しています。アテネオリンピックの男子シングルス決勝がペンホルダー同士の熱戦であったことは、まだ記憶に新しいところです。

これらの現状を見て、また、世界選手権で数々の金メダルを獲得した歴史的な日本のペンホルダーを思い起こし、本会をあげて、躍動的なフットワーク、威力のあるフォアハンド攻撃、バックハンド攻撃ができる裏・表ソフトのペンホルダー選手を育成し、日本卓球を世界王座奪還に向けて復活させる方策の一つとして実施するのが、この制度の目的です。

従って、次の点を考慮して選手を推薦してください。

- ①予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められません。
- ②裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けてください。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ありません。
- ③裏面バックハンドによるショートや強打、ペンホルダーならではの強力なサーブを活用するような選手に目を向けください。
- ④推薦した選手のその後の成長度合いをフォローしてください。
- ⑤本会強化本部でもペンホルダー選手に対する留意を高めますが、加盟団体においても本会合宿などに推薦できるような選手となった場合はご連絡ください。

11. 個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は各大会の活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。（P72ページ参照）

V. 全国大会、国際大会、選考会開催および登録数により加盟団体に与えられる増員数

(1) 全国大会開催（国内）

- 1) 平成 28 年度の開催加盟団体に対し下記人員をプラスする（国際大会、選考会とは別枠）。ただし同一加盟団体が当年度中に2度以上開催した場合は、男女各2名まで加算できる。（最大男女各3名まで）
- 2) 加算種目は一般・ジュニア・カデット（14歳以下）・カデット（13歳以下）・ホープス・カブ・バンビのどの種目に加算してもよい。但し、シングルスのみ。

開催地	大会名	増員数
埼玉	全国ラージボール大会	2名
東京	全国ホープス大会	1名
大阪	全日本クラブ選手権大会	1名
長野	全日本実業団選手権大会	1名
静岡	全国レディース大会	1名
岡山	全国高校選手権大会	1名
富山	全国中学校大会	1名
北海道	全日本選手権大会（マスターズ）	1名
兵庫	全日本（ホープス・カブ・バンビ）	1名
青森	全日本社会人選手権大会	1名
岩手	国民体育大会	1名
愛媛	全日本選手権大会（団体）	1名
山梨	全日本選手権大会（カデット）	1名
東京	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会	1名
東京	会長杯ジャパントップ12	1名
大阪	全国高校選抜大会	1名
大阪	全国レディースフェスティバル	1名
宮城	日本リーグ前期大会	1名
大阪	日本リーグ後期大会	1名
京都	全日本大学総合（団体）	1名
長野	全日本大学総合（個人）	1名
山形	全国中学選抜大会	1名
大阪	国際クラス別肢体不自由者選手権大会	1名
北海道	全国教職員大会	1名
鳥取	全国ホープス選抜大会	1名
佐賀	日本リーグ・ビッグトーナメント	1名
東京	日本リーグ・ファイナル4	1名
加盟団体		2名
都道府県		11名
北海道		1名
青森		1名
岩手		1名
宮城		1名
秋田		1名
山形		1名
福島		1名
茨城		1名
栃木		1名
群馬		1名
埼玉県		1名
千葉県		1名
東京都		1名
神奈川県		1名
静岡県		1名
愛知県		1名
岐阜県		1名
富山県		1名
石川県		1名
福井県		1名
山梨県		1名
長野県		1名
新潟県		1名
東京都		1名
千葉県		1名
埼玉県		1名
茨城県		1名
栃木県		1名
群馬県		1名
静岡県		1名
愛知県		1名
岐阜県		1名
富山県		1名
石川県		1名
福井県		1名
山梨県		1名
長野県		1名
新潟県		1名
合計		24名

(2) 国際大会開催

- 平成 28 年度の開催加盟団体に対し下記人員をプラスする（国内大会、選考会とは別枠）。
- 加算種目は一般・ジュニア・カデット（14 歳以下）・カデット（13 歳以下）・ホープス・カブ・バンビのどの種目に加算してもよい。但し、シングルスのみ。

開催地				東京												都道府県加盟団体 東京 男女各 2 名
	8 名	4 名	4 名	2 名	2 名	3 名	1 名	2 名	1 名	2 名	4 名	2 名				計 男女各 2 名
国際大会	世界選手権大会	アジア競技大会	アジア選手権大会	荻村杯ジャパンオープン	オリンピック大陸予選会	アジアジュニア選手権大会	東アジアホープス選手権大会	カデットチャレンジ	アジアカップ	世界ジュニア選手権大会	世界ベテラン選手権大会	ワールドカップ				※大会名は平成 28 年度現在の名称

(3) 選考会開催（合宿を除く）

- 平成 28 年度の下記開催加盟団体は男子 1 名もしくは女子 1 名を推薦できる。（国内大会、国際大会とは別枠）。ただし、同一加盟団体が当年度中に 2 回以上開催した場合は男女各 1 名推薦でき、3 回以上でも男女各 1 名までとする。
- 加算種目は一般・ジュニア・カデット（14 歳以下）・カデット（13 歳以下）・ホープス・カブ・バンビのどの種目に加算してもよい。但し、シングルスのみ。

開催地	福島	広島	福井	千葉	東京	都道府県加盟団体名
選考会名	世界選手権男子選考会	世界選手権女子選考会	世界ジュニア女子選考会	世界ジュニア男子選考会	東アジアホープス選考会	福島 男女どちらか 1 名 千葉 男女どちらか 1 名 東京 男女どちらか 1 名 福井 男女どちらか 1 名 広島 男女どちらか 1 名

(4) 登録数

- 平成 28 年度の登録数（平成 29 年 1 月 31 日現在）が前年度比で 2 % 以上増加した下記加盟団体にフリー参加枠（男子 1 名もしくは女子 1 名）をプラスする。
- 加算種目は一般・ジュニア・カデット（14 歳以下）・カデット（13 歳以下）・ホープス・カブ・バンビ・社会人・マスターズ・レディースフェスティバルのどの種目に加算してもよい。但し、シングルスのみ。

対象加盟団体：宮城、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、富山、愛知、三重
滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、岡山、高知、大分、沖縄

※なお、前年度と比較し各カテゴリー登録者数が同数以上であるにも拘わらず、参加枠の算定により、参加枠数が減少した場合は、前年度と同様の枠数を与えるものとする。

第 30 回全国ラージボール卓球大会

- (1) 名 称 第 30 回全国ラージボール卓球大会
(2) 期 日 平成 29 年 6 月 29 日 (木) ～7 月 2 日 (日)
(3) 会 場 和歌山ビッグウエーブ・ビッグホエール
J R 「和歌山」 駅より徒歩約 15 分、J R 「宮前」 駅より徒歩約 7 分
〒640-8319 和歌山県和歌山市手平 2-1-1 TEL (073) 433-0035
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 和歌山県卓球協会
(6) 後 援 和歌山県、和歌山県教育委員会、(公社)和歌山県体育協会、和歌山市、
和歌山市教育委員会、和歌山市体育協会 (予定)
- (7) 競技種目

イ. シングルス : 各種目 A / B クラスに分けて実施する。但し、**⑧男子 80、⑨男子 85、⑰女子 80、⑱女子 85 の 4 種目については A / B の区別はしない。**

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス (年齢制限なし) | ⑩一般女子シングルス (年齢制限なし) |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |

ロ. ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とし、各種目 A / B クラスに分けて実施する。但し、**⑦男子ダブルス 150、⑧男子ダブルス 160、⑮女子ダブルス 150、⑯女子ダブルス 160 の種目については A / B の区別はしない。**

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ①一般男子ダブルス (年齢制限なし) | ⑨一般女子ダブルス (年齢制限なし) |
| ②男子ダブルス 80 (合計 80 歳以上) | ⑩女子ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③男子ダブルス 100 (合計 100 歳以上) | ⑪女子ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④男子ダブルス 120 (合計 120 歳以上) | ⑫女子ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤男子ダブルス 130 (合計 130 歳以上) | ⑬女子ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥男子ダブルス 140 (合計 140 歳以上) | ⑭女子ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦男子ダブルス 150 (合計 150 歳以上) | ⑮女子ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧男子ダブルス 160 (合計 160 歳以上) | ⑯女子ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |

ハ. 混合ダブルス : ダブルスは 2 名の合計年齢とし、①～⑥の種目については A / B クラスに分けて実施する。但し、**⑦混合ダブルス 150 と⑧混合ダブルス 160 の種目については A / B の区別はしない。**

- | |
|--------------------------|
| ①一般混合ダブルス (年齢制限なし) |
| ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上) |
| ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上) |
| ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上) |
| ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上) |
| ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上) |
| ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上) |
| ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上) |

※表彰は各種目 1～3 位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。ただし参加者が 8 名 (組) に満たない種目は 1、2 位のみでの表彰とする。

※男女シングルス 80・85、男女ダブルス 150・160、混合ダブルス 150・160 は A / B のクラス分けをしない。(A / B の区別については、(11) 参加資格④を参照のこと。)

- (8) 試合方法
- ①各種目とも 11 ポイント 3 ゲームマッチとする。
 - ②男女シングルスおよび混合ダブルスは、第 1 ステージは 3 名（組）によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位・2 位の者（組）によるトーナメント方式とする。但し、大会参加申込人数が大幅に増え、競技日程内にできないと主管地が協議し判断した場合は、全てトーナメント方式とする場合がある。
 - ③男女ダブルスはトーナメント方式とする。ただし、大会参加人数が少なく、進行に影響がないと主管地が判断した場合、シングルス、混合ダブルスと同じ試合方法とする。

(9) 競技日程（日程については参加申込数などにより大幅に変更することがあります。簡易日程につきましては確定次第本会ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。（6 月上中旬予定））

(予定)	6 月 28 日（水）	受付、練習	
	29 日（木）	開会式	(9:00～)
		混合ダブルス	(130～160 決勝まで)
		男女ダブルス	(130～160 一部決勝まで)
	30 日（金）	男女ダブルス	(130～160 決勝まで)
		混合ダブルス	(120 予選の一部)
		男女シングルス	(65～85 トーナメントの一部まで)
	7 月 1 日（土）	男女シングルス	(65～85 決勝まで)
		混合ダブルス	(一般～120 決勝まで)
		男女ダブルス	(一般～120 決勝まで)
		男女シングルス	(一般～60 予選リーグの一部)
	2 日（日）	男女シングルス	(一般～60 決勝まで)
		閉会式	(15:00～ 予定)

- (10) 競技ルール
- ①現行のラージボール卓球ルールによる。
 - ②使用球は、JTTA 公認プラスチック球 44 mm を使用する
 - ③表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
 - ④ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
 - ⑤審判は第 1 ステージ・第 2 ステージ（トーナメント）ともに選手の相互審判および敗者審判で行う。

- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 29 年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
 - ②年齢は、平成 30 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者であること。
（但し、一般に出場する選手の年齢制限はない）
（イ）40（40 歳以上）は昭和 53 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（ロ）50（50 歳以上）は昭和 43 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（ハ）60（60 歳以上）は昭和 33 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（ニ）65（65 歳以上）は昭和 28 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（ホ）70（70 歳以上）は昭和 23 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（ヘ）75（75 歳以上）は昭和 18 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（ト）80（80 歳以上）は昭和 13 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
（チ）85（85 歳以上）は昭和 8 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 - ③各選手は、3 種目のうち 2 種目まで出場できる。
* 2 種目出場する場合は必ずシングルスを含めて申込むこと。
（例：男子ダブルス、混合ダブルスの 2 種目では申込はできない）
* 同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
 - ④ A / B クラス分け
A クラス：全日本選手権大会（一般、マスターズ）、全日本社会人選手権大会出場者および過去の本大会 B クラス優勝者（ダブルス種目含む）および希望者
B クラス：A クラス以外の者
※上記クラス分けは、申込時において選手の自己申告とする。
 - ⑤ A クラスの者と B クラスの者と組むダブルスは A クラスに出場するものとし、ダブルスのパートナーは同一加盟団体の者に限る。

- ⑥各都道府県の各種目の代表選手数には制限を設けない。(但し、その年の主管団体都道府県のみ、事前に周知徹底したうえで参加人数を制限することができる。)
必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
- ⑦審判ができること。(できれば公認審判員の資格を有することが望ましい)
なお、帯同者が替わりに審判をしてもよい。

(12) 参加料 シングルス 1 名 3,000 円、ダブルス 1 組 4,000 円

(13) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒640-8155 和歌山県和歌山市九番丁 4-1 ラウム[®]和歌山九番丁 205 号室
和歌山県卓球協会 宛
TEL/FAX：(073) 432-6939

**注) 個人またはチームからの(公財)日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けない。
必ず各都道府県の加盟団体が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。**

(14) 申込締切 平成 29 年 4 月 13 日 (木) 必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず
(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(15) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (16) その他
- ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。
 - ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主場地及び本会宛書面にて連絡すること。
 - ③10 回出場表彰を行います。該当者は参加申込書(10 回表彰欄)に記入申請すること。
(10 回目の出場者が対象。一度表彰された方は該当しません。)
 - ④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事。
 - ⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応致します。
 - ⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。
 - ⑦平成 30 年度に大会要項変更いたします。各都道府県で枠を設けご参加頂きます。

平成 30 年度全日本ラージボール卓球選手権大会
競技種目：男・女シングルス、混合ダブルス (種別は従来どおり)
試合方法：第 1 ステージは 3 名 (組) (最大 4 名 (組)) からなり、上位 1 名 (組) によるトーナメント方式とする。
参加枠：各都道府県、参加総数枠の制限を設けております。
(本会決定したものを各都道府県で調整)

第 36 回全日本クラブ卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 36 回全日本クラブ卓球選手権大会
(2) 期 日 平成 29 年 7 月 14 日 (金) ～17 日 (月・祝)
(3) 会 場 広島県立総合体育館 (グリーンアリーナ)
〒730-0011 広島県広島市中区基町 4-1 TEL : 082-228-1111 FAX : 082-228-4992
JR「広島」駅より バス「紙屋町」もしくは路面電車「紙屋町西」下車 徒歩 5 分
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 広島県卓球協会、広島市卓球協会
(6) 後 援 広島県、広島県教育委員会、(公財)広島県体育協会、(公財)広島県スポーツ振興財団、広島市、
広島市スポーツ協会 (予定)

- (7) 競技種目 (団体戦) (イ) 男子：一般の部 1 部 (ロ) 女子：一般の部 1 部
(ハ) 男子：一般の部 2 部 (ニ) 女子：一般の部 2 部
(ホ) 男子：50 代の部 (ヘ) 女子：50 代の部
(ト) 男子：60 代の部 (チ) 女子：60 代の部
(リ) 男子：小・中学生の部 (ヌ) 女子：小・中学生の部

- (8) 試合方法 競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行う。

一般の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

50 代の部 : 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

60 代の部 : 選手は 60 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

小・中学生の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名 (小中学生のみ) を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス 1 ダブルスで編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

1	2	3	4	5
中学生以下	小学生	小・中学生 or 小学生同士	小学生	中学生以下

※小・中学生の部のみ年齢の低い者が年令の高い所への出場することを認める。

※シングルスとダブルスの 2 試合に出場できるが、シングルスのみ 2 試合出場することはできない

※第 1 ステージのリーグ戦は原則 3 チームリーグとする

※申込後、監督会議終了までの登録選手の変更は 2 名までとし、いずれも予選に出場していない者とする。

また、監督会議後の変更は受け付けない。

※両チーム整列時に、試合に出場する既定の 4 名以上のメンバーがその場に整列していなければならない。

(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)

※前年度のランキングチームであっても予選リーグより出場となる。

- (9) 競技日程 (日程については参加申込数により変更されます)

監督会議 各種目、競技日程初日前日の 16 : 00～ (於 : 広島県立総合体育館大会議室)

競 技	7 月 14 日 (金)	50 代の部、60 代の部
	15 日 (土)	一般 2 部、50 代の部、60 代の部、小・中学生の部
	16 日 (日)	一般 1 部、2 部、小中学生の部
	17 日 (月)	一般 1 部、2 部 (参加数により 2 部を 3 日制にする)

(10) 競技ルール

- ①現行の日本卓球ルールによる。
- ②全試合 11 ポイント 5 ゲームで行う。
- ③使用球は、J T T A公認プラスチック球；40 mmホワイトのみを使用する。
- ④ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを持参して使用すること。
- ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。

(11) 参加資格

- 1)参加者は平成 29 年度、（公財）日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の新規選手登録は認められない。また、日学連、高体連に加盟している者は出場することができない。
- 2)参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。ただし以下の条件を全て満たした者はそのチームより出場できるものとする。但し 1 チーム 1 名のみとする。（選手のみで監督コーチは除く）
 - ①隣接都道府県であり、同一クラブ名称で登録されていること。
 - ②当該（登録地および出場地）加盟団体長から承認されていること。※なお、登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め 2 年間は当該チーム以外からは出場できない。（出場する場合は 1 年間あけること）
(平成 30 年度より：隣接都道府県からの参加は認めない。今大会隣接都道府県より出場しても平成 30 年度に 1 年間あける必要はない。)
- 3)出場選手は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
- 4)卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
- 5)男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
- 6)予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは 2 名までとする。予選方法は加盟団体に一任する。
- 7)前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものと取り扱う。
- 8)前年度ランキングチームが『前年度一般の部から 50 代の部』、『前年度 50 代の部から 60 代の部』に出場する場合、選手が 4 名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
- 9)外国籍の選手（日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは引き続き 10 年以上日本に在住している者は除く）は 1 試合 1 名 1 ポイントに限って参加資格が得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。）
- 10)本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
- 11)本大会に出場した代表チームの選手は、第一三共ヘルスケアレディース 2017・第 40 回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。（但し、予選会を除く。）
- 12)一般の部 1, 2 部男・女は、第 67 回全日本実業団選手権大会（本大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
- 13)一般の部 2 部男・女
 - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去 3 年間、(' 14 ~ ' 16) 下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ②過去 3 年間(' 14 ~ ' 16) 下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去 3 年間に下記全国大会に出場した選手が 1 人でも含まれる場合には 1 部となる）
 - ③全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。
※下記大会に出場したことがあっても 40 歳以上の者は一般の部 2 部に出場できる。
- 全国大会 a) 全日本卓球選手権（一般・ジュニアの部）、b) 全日本選手権（団体の部）、c) 国民体育大会、d) 全日本社会人卓球選手権、e) 全国高等学校卓球選手権（シングルス・ダブルス）、f) 全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
- 14) 50 代の部男・女は、昭和 43 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50 才以上）

- 15) 60代の部男・女は、昭和33年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(60才以上)
- 16) 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年令の低い者だけで構成してもよい。
- 17) 前年度一般2部優勝チームのみが一般1部に推薦出場するものとしその他の一般2部のランキングチームは一般1部もしくは一般2部いずれかを選択し推薦出場できる。
- 18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績(ランキング)を剥奪し、当該チームは翌年度の本大会に出場することはできない。
- 19) 2)、9)を適用するチームが出場する加盟団体は申込書にその旨を明記すること。
(隣接は登録都道府県、外国籍選手は※と備考に記載)

(12) 参加数 一般1部、一般2部、50代の部、60代の部

区分	都道府県名	出場枠
1	広島(開催県)、北海道、東京、愛知、福岡	4
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	3
3	大阪、岡山、長崎	2
4	その他の府県	1

小・中学生の部

区分	都道府県名	出場枠
1	広島(開催県)、北海道、千葉、神奈川、静岡	4
2	福島、茨城、愛知、兵庫	3
3	栃木、埼玉、新潟、岐阜	2
4	その他の府県	1

区分1：開催県及び平成28年度日卓協該当選手登録人口上位4加盟団体

区分2：平成28年度日卓協該当選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成28年度日卓協該当選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3に該当しない加盟団体

*予選会の出場数による追加枠は平成26年度より廃止されました。

- (13) 参加料 団体戦 一般の部1,2部、50,60代の部 1チーム 30,000円
小・中学生の部 // 20,000円

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団团长捺印の上、推薦チームを含め下記宛申し込むこと。

尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて(公財)日本卓球協会宛送金のこと。

(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会)

(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて送金してください。)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛

TEL：(03)3481-2371、FAX：(03)3481-2373

コピーを 〒732-0066 広島県広島市東区牛田本町4-6-14-201
広島県卓球協会 宛

TEL：(082)228-7020 FAX：(082)228-7022

申込先メール：hiroshima-jimukyoku@car.ocn.ne.jp

(主管地へはできる限り、Eメールでお申込み下さい。)

なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容を郵送またはFAXで送付。

- (15) 申込締切 平成29年5月29日(月)必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (16) 宿泊申込 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他 1)やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- 2)10年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。
- 3)男女一般1部より各1名最優秀選手を表彰する。
- 4)第51回全日本社会人選手権大会への推薦出場選手は、本大会の成績によりクラブ委員会が推薦する。
- 5)病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- 6)大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- 7)個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

(18) 第36回全日本クラブ卓球選手権大会推薦出場チーム

第35回全日本クラブ卓球選手権大会ランキング

男子一般の部1部 1 TTC浦和・土合B (埼玉) 2 流山アストロズ (千葉) 3 リトルキングスA (神奈川) 4 MD相模 (神奈川) 5 T. O. M&卓球三昧 (東京) 6 町田びいばる (東京) 7 カヴァヌーラ (神奈川) 8 シップス神戸TC (兵庫)	女子一般の部1部 1 MILFLUR (東京) 2 ROSE (東京) 3 Lili (東京) 4 九十九 (東京) 5 T. O. M (東京) 6 フレッシュ (奈良) 7 フォーネット (愛媛) 8 フェニックス卓球クラブ (福井)
男子一般の部2部 1 GROUND ZERO (東京) 2 ウエダTTC (兵庫) 3 T&Tクラブ (東京) 4 みつのきTTC (愛知) 5 久御山明伸館 (京都) 6 蝶友クラブ (埼玉) 7 スピリッツ (愛知) 8 SPC (茨城)	女子一般の部2部 1 ー (ー) 2 亀田クラブ (新潟) 3 長吉卓球センター (大阪) 4 S a n i t y (新潟) 5 翠嵐クラブ (京都) 6 チームDREAM (東京) 7 蝶友クラブ (埼玉) 8 卓精会 (東京)
男子50代の部 1 東京KINGKONG (東京) 2 福卓会 (福島) 3 龍卓会 (兵庫) 4 ゼフィルス大河原 (宮城) 5 日産追浜 (神奈川) 6 ゴルベテA (東京) 7 九十九 (東京) 8 秋山卓球 (福岡)	女子50代の部 1 COLOR (神奈川) 2 千代田クラブ (東京) 3 みらくる (大阪) 4 ウィズサニー (大阪) 5 浜松卓研 (東京) 6 九十九 (東京) 7 大田クラブ (東京) 8 豊中卓球クラブ (大阪)
男子60代の部 1 清友クラブ (大阪) 2 卓精会 (東京) 3 PING-PONG矢掛 (岡山) 4 代々木クラブ (東京) 5 サザンクロス (東京) 6 TMクラブ (宮城) 7 わかくさクラブ (奈良) 8 グリーンクラブ (大阪)	女子60代の部 1 千代田クラブ (東京) 2 甲子園クラブ (兵庫) 3 四季高の原クラブ (奈良) 4 あすか (兵庫) 5 武蔵野クラブ (東京) 6 淑友クラブ (東京) 7 楓クラブ (東京) 8 こあら〜ず (大阪)
男子小・中学生の部 1 フェニックス卓球クラブA (福井) 2 ミナミラボ (福井) 3 ねや卓球クラブA (岡山) 4 川嶋ジュニア (大阪) 5 マイダス (千葉) 6 T. Cマルカワ (岡山) 7 新発田ジュニアA (新潟) 8 江卓会 (北海道)	女子小・中学生の部 1 フェニックス卓球クラブA (福井) 2 ピンポンカベ (広島) 3 玖珂SC Jr A (山口) 4 玖珂SC Jr B (山口) 5 K&Mジュニア (埼玉) 6 喜多方卓球ランド (福島) 7 Shochi Jr. 瀬高 (福岡) 8 ねや卓球クラブ (岡山)

第 67 回全日本実業団卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名称 第 67 回全日本実業団卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 29 年 7 月 20 日 (木) ～23 日 (日)
- (3) 会 場 スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)
名鉄豊田線「豊田市」駅より 徒歩約 15 分
「豊田市」駅から名鉄バス 古瀬間行き、五ヶ丘ニュータウン行き、中垣内行き「豊田本町」下車 5 分
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町 1-20 TEL (0565) 31-0451
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会、日本卓球リーグ実業団連盟
- (5) 主 管 愛知県卓球協会、豊田市卓球協会
- (6) 後 援 厚生労働省、愛知県、愛知県教育委員会、(公財)愛知県体育協会、豊田市、(公財)豊田市体育協会
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①チームは監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名～6 名を登録し、(監督のみでコーチがいないチーム編成を認める)、4 シングルス・1 ダブルスで編成し、3 番目にダブルスをおき、3 点先取法により行う。又、各選手は単複に重複して出場することができるが、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- ②外国籍の選手は全種目とも、各試合で単・複いずれか 1 回のみの出場とする。
- ③競技は、第 1 ステージはリーグ戦(原則 3 チームリーグとする)、第 2 ステージはトーナメントで行われる。但し、男子は推薦出場の上位 16 チームをシードチームとし、そのうち上位 8 チームがスーパーシードとなり、第 2 ステージのベスト 8 決定戦から、他の 8 チームがベスト 16 決定戦から出場する。また、女子は推薦出場の上位 8 チームをシードとし、同様に第 2 ステージから出場する。
- ④第 2 ステージの準々決勝～決勝を「チャンピオントーナメント」とし、ベスト 8 決定戦で敗れた 8 チームで行なうトーナメントを「G1 トーナメント」、ベスト 16 決定戦で敗れた 8 チームで行なうトーナメントを「G2 トーナメント」とするコンソレーションマッチを行なう。但し、G1、G2 トーナメントにおいて、総参加数により 8 チームに満たない場合は、本会で対象チームを選出する(女子においては G2 トーナメントに第 1 ステージのリーグ戦 2 位のチームが該当する可能性がある)。
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|--------|--|
| 7 月 20 日 (木) | 10:00～ | 監督会議 |
| | 11:00～ | 開会式 |
| | 12:30～ | 男子：第 1 ステージ |
| 21 日 (金) | 9:00～ | 女子：第 1 ステージ、第 2 ステージ 1 回戦
男子：第 1 ステージの一部、第 2 ステージ 1～2 回戦 |
| 22 日 (土) | 9:00～ | 男子：第 2 ステージ 3 回戦～準々決勝
G1 トーナメント 1 回戦、G2 トーナメント 1～2 回戦
女子：第 2 ステージ 2 回戦～準々決勝まで
G1 トーナメント 1 回戦、G2 トーナメント 1、2 回戦 |
| 23 日 (日) | 9:00～ | 男女準決勝～決勝 G1 トーナメント準決勝・決勝、G2 トーナメント決勝 |
| | 15:00～ | 表彰式、閉会式 |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
- ②テーブルはグリーン又はブルーを使用する。
- ③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみとする。
- ④ゼッケンは平成 29 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①各都道府県の子選を勝ち抜いたチームならびに推薦出場チームを構成する選手は平成 29 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは当該年度 (公財) 日本卓球協会役員登録をする。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。選手は段級制規程(注 1 参照)に定められた有段者とする。尚、申し込み後の選手変更は監督会議で承認された場合に限る。監督会議後の変更は認められない。

- ②チーム編成は、原則として同一都道府県内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校（以下団体という）単位とし、平成29年4月30日以前から引続き当該団体に正社員、正職員、契約社員（1年以上の契約）または嘱託（1年以上の契約）として勤務（所属）している加盟会員とする。（学校の場合、学生、生徒を除く）
- ③②の条件でチーム編成ができない場合、同一都道府県内および他都道府県にある同一名称のつく支局・支社及び各工場等とチームを統合してもよい（チーム名にA、B、などを冠したものは同一チームと見なす）。その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場（予選会を含む）している場合、関連他チームへ加わることはできない。また、予選会で敗れたチームからの補充はできない。
- ④③を適用する団体は、各都道府県の予選会および本大会への申込書にその旨を明記すること。なお、チーム編成に不正とみなされることがあった場合は失格とすることがある。
- ⑤推薦出場チーム
男・女共、日本リーグ1部・2部の全チームおよび、前回大会の男子ベスト32のチーム及び女子ベスト16のチームとする。
- ⑥参加資格等に疑義があるときは、本会が調査審議の上、その可否を決定する。

(12) 参加数 前記の推薦出場のチームを除いて、各加盟団体の代表チーム数を下記の通りとする。

		都 道 府 県	代表チーム数
男 子	愛知（開催地）、埼玉、東京、神奈川、大阪		5
	上記以外の道府県		3
女 子	愛知（開催地）、東京		5
	上記以外の道府県		3

※直近3年間で代表枠を1回でも満たした下記加盟団体は上記枠以外に1枠増枠する。

男子：北海道、秋田、宮城、茨城、群馬、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、富山、石川、静岡、愛知、岐阜、三重、大阪、兵庫、広島、岡山、山口、大分、鹿児島
女子：なし

(13) 参加料 1チーム 50,000円

(14) 申込方法 推薦出場チームを含めて、出場チームは別紙参加申込書に必要事項を明記し、参加料を添えて、チームが所属する各都道府県加盟団体に提出する。提出を受けた加盟団体は申込書に団体長印を捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。（チームから直接本会へ申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03) 3481-2371、FAX：(03) 3481-2373

コピーを 〒464-8540 愛知県名古屋市千種区若水3-2-12 愛知工業大学名電高校内

愛知県卓球協会 宛

TEL：(052) 722-3355 FAX：(052) 722-3788

(15) 申込締切 平成29年5月30日（火）必着のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) その他 ①監督会議 日時：平成29年7月20日（木）10:00～ / 会場：大会議室
②練習会場：(A)スカイホール豊田サブホール/ (B)スカイホール豊田メインホール/
(C)豊田市運動公園体育館

日 時： 7月19日（水）(A)(B)(C)13:00～17:00

（予定） 20日（木）(A)8:15～10:00、12:00～19:00/ (B)8:15～10:00/ (C)9:00～17:00

21日（金）(A)8:15～19:00/ (B)8:15～8:45/ (C)9:00～17:00

22日（土）(A)8:15～19:00/ (B)8:15～8:45/ (C)9:00～15:00

23日（日）(A)8:15～13:00/ (C)8:15～8:45

- ③やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- ④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑥個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

第 67 回（平成 29 年度）全日本実業団卓球選手権大会推薦出場チーム

※ 下表の他、日本リーグ 1 部・2 部に所属するチームは推薦出場となる。

男 子			女 子		
1	協和発酵キリン	(東 京)	1	十六銀行	(岐 阜)
2	シチズン	(東 京)	2	日本生命	(大 阪)
3	ファースト	(千 葉)	3	中国電力	(広 島)
4	東京アート	(東 京)	4	サンリツ	(東 京)
5	日鉄住金物流	(和歌山)	5	エクセディ	(三 重)
6	日野自動車	(東 京)	6	日立化成	(茨 城)
7	リコー	(東 京)	7	広島日野自動車(株)	(広 島)
8	原田鋼業	(広 島)	8	J R北海道	(北海道)
ベ ス ト 16	岡谷市役所	(長 野)	ベ ス ト 16	アスモ	(静 岡)
	信号器材	(神奈川)		東芝メテikalシステム株式会社	(東 京)
	NTT東日本東京	(東 京)		愛媛銀行	(愛 媛)
	鹿児島相互信用金庫	(鹿児島)		豊田自動織機	(愛 知)
	東京ガス株式会社	(東 京)		オークワ	(和歌山)
	J R北海道	(北海道)			
ベ ス ト 24	豊田自動織機	(愛 知)			
	新日鐵住金名古屋	(愛 知)			
	トヨタ自動車	(愛 知)			
	東京ガス千葉	(千 葉)			
	藤ミレニアム	(大 阪)			
	松戸市役所	(千 葉)			
	新日鐵住金大分	(大 分)			
ベ ス ト 32	日製日立	(茨 城)			
	岐阜信用金庫	(岐 阜)			
	株式会社旺文社	(東 京)			
	伊達病院	(鹿児島)			
	富士通テン株式会社	(兵 庫)			
	(株)三五	(愛 知)			
ベ ス ト 32	株式会社フジ	(愛 媛)			
	高松機械工業(株)	(石 川)			
	J R東日本高崎	(群 馬)			
	(株)栃木銀行	(栃 木)			
	青木信用金庫	(埼 玉)			

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）③全日本選手権大会（一般・ジュニア）
④全日本選手権大会（団体の部）⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者	6 段

全農杯 平成 29 年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部) 実施要項

- (1) 名 称 全農杯 平成 29 年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)
- (2) 期 日 平成 29 年 7 月 28 日(金)～30 日(日)
- (3) 会 場 神戸総合運動公園内体育館(グリーンアリーナ神戸)
神戸市営地下鉄「西神中央」行き乗車、「総合運動公園駅」下車：徒歩 3 分
〒654-0163 神戸市須磨区緑台
TEL (078) 796-1155 FAX (078) 796-1125
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 兵庫県卓球協会、神戸市卓球協会
- (6) 特別協賛 全国農業協同組合連合会(予定)
- (7) 協 賛 日本生命保険相互会社(予定)
- (8) 後 援 兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県体育協会、神戸市、神戸市教育委員会、
(公財)神戸市スポーツ教育協会、(公財)神戸市公園緑化協会、兵庫県生涯スポーツ連合、
スポーツニッポン新聞社、報知新聞社、(株)神戸新聞社
- (9) 競技種目 ①ホープス男子シングルス(小学 6 年生以下)
②ホープス女子シングルス(小学 6 年生以下)
③カブ男子シングルス(小学 4 年生以下)
④カブ女子シングルス(小学 4 年生以下)
⑤バンビ男子シングルス(小学 2 年生以下)
⑥バンビ女子シングルス(小学 2 年生以下)
- (10) 試合方法 ①各種目とも全試合 1 ゲーム 11 ポイント、5 ゲームマッチで行う。
②各種目とも、第 1 ステージは各グループ 3～4 名によるリーグ戦とし、各グループ 1 位の者が第 2 ステージ(決勝トーナメント)に進む。
③前年度ランキング選手であっても、第 1 ステージから出場するものとする。
- (11) 競技日程 7 月 28 日(金) 10:00 開会式(於:グリーンアリーナ神戸)
男女各種目第 1 ステージ
29 日(土) 9:00 男女各種目第 1 ステージと第 2 ステージ 1～2 回戦(一部 3 回戦)
30 日(日) 9:00 男女各種目第 2 ステージ 3 および 4 回戦～決勝まで
14:00 閉会式
- (12) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーン又はブルーを使用する。卓球台の高さは、バンビのみ 66 cmを使用する。
③使用球はホープス・カブ・バンビとも、J T T A公認プラスチック球; 40 mmホワイトのみとする。
④粒高ラバーとアンチ系ラバーの使用制限はない。
⑤ゼッケンは平成 29 年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑦ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T Aが公認した接着剤のみを使用すること。
- (13) 参加資格 ①参加者は平成 29 年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。
②ホープスは小学 6 年生以下で平成 17 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
カブは小学 4 年生以下で平成 19 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
バンビは小学 2 年生以下で平成 21 年 4 月 2 日以降生まれたものであること。
③選手は登録されている当該都道府県より、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
④本大会は該当年齢より上の種目にも予選会に出場して代表権を得た場合参加できる。ただしバンビ、カブ、ホープスのうちの 1 種目にのみ出場できる。

⑤平成 28 年度のランキング保持者は、割当人数以外に予選会を経ないで、次の種目に参加することができる。

- (イ) バンビのランキング保持者で現在 2 年生以下のものはバンビまたはカブ。
- (ロ) バンビのランキング保持者で現在 3 年生のものはカブ。
- (ハ) カブのランキング保持者で現在 4 年生以下のものはカブまたはホープス。
- (ニ) カブのランキング保持者で現在 5 年生のものはホープス。
- (ホ) ホープスのランキング保持者で現在 6 年生以下のものはホープス。

※但し、これらの選手も必ず都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。

(14) 参加数 ①下表の通り

都 道 府 県 名	ホープス・カブ・バンビ 男 女 各
兵庫(開催地)、青森	10名
北海道、福島、愛知	7名
山形、鳥取	6名
秋田、新潟、岐阜、広島	5名
東京、長野、福井、静岡、大阪、岡山、福岡、熊本	4名
岩手、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、富山、石川、島根、大分	3名
宮城、山梨、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄	2名

②特別推薦枠：前記の人数以外に各都道府県に、次のとおり推薦枠を設ける。

但し、ペンホルダー選手※に限る。

(イ) 競技種目①または②のどちらかの種目に 1 名

(ロ) 競技種目③または④のどちらかの種目に 1 名

(ハ) 競技種目⑤または⑥のどちらかの種目に 1 名

なお、申込書備考欄に「特別枠」と明記すること。

※特別推薦枠の対象となるペンホルダー選手について

- 1) 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 2) 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。

③ランキングによる加算：平成 28 年度本大会の各種目のランキング 8 名の内に 2 名以上のランキング者を持つ加盟団体（別紙ランキング表に太字で表示）は、当該種目に限り 2 名につき 1 名追加して申し込むことができる。

(15) 参加料 1 人 3,000 円

(16) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団团长捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03) 3481-2371、FAX：(03) 3481-2373

コピーを 〒665-0024 兵庫県宝塚市逆瀬台 5-15-8 武内 昇 気付

兵庫県卓球協会 宛

TEL・FAX：(079) 771-7919

- (17) 申込締切 平成 29 年 6 月 12 日 (月) 必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず (公財) 日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (18) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (19) そ の 他
- ①一旦申し込まれた選手の締切後の変更は原則として認めない。
 - ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
 - ③開会式には原則として全員参加すること。
 - ④大会期間中『フェアプレー』をした選手に対し、全種目を通して男女各 1 名をフェアプレー賞として表彰する。但し、該当者なしとすることもある。
 - ⑤病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑥大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑦個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

平成 28 年度全日本卓球選手権大会 (ホープス・カブ・バンビの部) ランキング

ホープス男子		ホープス女子	
1	鈴木 颯 (山 形) 鈴木卓球	1	木原 美悠 (兵 庫) ALL STAR
2	吉山 僚一 (埼 玉) TC中原	2	大藤 沙月 (福 井) フェニックス卓球クラブ
3	飯村 悠太 (広 島) ヒロタクススポーツ	3	上澤 茉央 (栃 木) 卓桜会栃木卓球センター
4	高橋航太郎 (福 島) 二本松卓研	4	由本 楓羽 (岡 山) ねや卓球クラブ
5	竹谷 義信 (福 岡) 初喜TTC	5	横井 咲桜 (岐 阜) O. T. T. C
6	玉井 嵩大 (北海道) 江卓会	6	小塩 遥菜 (岐 阜) 卓研ジュニアクラブ
7	杉浦 大和 (広 島) ピンポンカベ	7	山崎 唯愛 (広 島) ピンポンカベ
8	徳田 幹太 (愛 媛) 伊予つばさJr.	8	原 芽衣 (栃 木) 卓桜会栃木卓球センター
カブ男子		カブ女子	
1	松島 輝空 (京 都) 田阪卓研	1	篠原 夢空 (愛 媛) 松山卓球教室
2	吉山 和希 (埼 玉) TC中原	2	堀江 うた (兵 庫) SC21峰相
3	小野 泰和 (京 都) グリーンネット	3	姚 梓旋 (愛 知) 卓伸クラブ
4	三宅 寿隆 (大 分) 豊和卓球	4	栗山 優菜 (福 岡) 高森卓球クラブ
5	石山 浩貴 (大 阪) 川嶋ジュニア	5	佐久間芽生 (栃 木) 卓桜会栃木卓球センター
6	金丸 貴哉 (大 阪) AKクラブ	6	岩木 仁香 (神奈川) MDジュニア
7	菅沼 翔太 (山 形) やくわクラブ	7	中田 花歌 (東 京) マイダス
8	丸川 智弘 (岡 山) T.Cマルカワ	8	山岸 唯菜 (新 潟) 上越ジュニア
バンビ男子		バンビ女子	
1	岩井田駿斗 (鹿児島) 誠卓球CL.	1	小塩 悠菜 (岐 阜) 卓研ジュニアクラブ
2	渡部 民人 (東 京) 偉関TTL	2	張本 美和 (宮 城) 仙台ジュニアクラブ
3	持田 陽向 (岐 阜) 卓研ジュニアクラブ	3	植田 杏 (埼 玉) T. T. C平屋
4	太田 理貴 (愛 知) seiwa	4	高森 愛央 (岡 山) T. Cマルカワ
5	吹原 大芽 (岐 阜) 安井卓球少年団	5	立川 釉菜 (広 島) ピンポンカベ
6	永井 悟志 (愛 知) 卓伸クラブ	6	竹谷 美涼 (福 岡) 初喜TTC
7	中田賢志郎 (宮 城) 仙台ジュニアクラブ	7	倉嶋 杏奈 (東 京) 東六クラブ
8	村田 大樹 (群 馬) TIT	8	佐藤 希未 (埼 玉) マイダス

平成 29 年度全国高等学校総合体育大会

第 86 回全国高等学校卓球選手権大会 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。(1月現在)

- 主催 (公財)全国高等学校体育連盟・(公財)日本卓球協会
 福島県・福島県教育委員会・郡山市・郡山市教育委員会
 共催 読売新聞社
 後援 スポーツ庁・(公財)日本体育協会・日本放送協会・(公財)福島県体育協会・郡山市体育協会
 主管 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部・福島県高等学校体育連盟・福島県卓球協会
 特別協賛 大塚製薬
 協賛 JTB・ナイナビ

- (1) 期 日 平成 29 年 7 月 27 日 (木) ～ 8 月 2 日 (水)
 (2) 会 場 公開抽選会 (7/27) 16:00～ : 郡山総合体育館
 開会式 (7/28) 15:30～ : 同上
 競技 (7/29～8/2) : 同上
 閉会式 (8/2 競技終了後) : 同上
 (3) 競技種目 ①男子学校対抗 (団体戦) ②女子学校対抗 (団体戦)
 ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤男子シングルス ⑥女子シングルス

(4) 競技日程

期日	時間	内容 (種目)	会 場
7月29日 (土)	9:00～18:00	男女学校対抗 (団体戦) 1・2回戦	郡山総合体育館
7月30日 (日)	9:00～18:00	男女学校対抗 (団体戦) 3・4回戦 男女ダブルス 1～3回戦	
7月31日 (月)	9:00～18:00	男女学校対抗 (団体戦) 準決勝 男女ダブルス 4回戦～決勝 男女シングルス 1回戦	
8月 1日 (火)	9:00～18:00	男女学校対抗 (団体戦) 決勝 男女シングルス 2～5回戦	
8月 2日 (水)	9:00～13:00	男女シングルス 準々決勝～決勝	

- (5) 競技規定 ①当年 4 月 1 日現在の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
 (ア)選手は (公財) 日本卓球協会発行のゼッケンを背中につけること。
 (イ)部旗の掲示は 200 cm×150 cm以内のものを 1 校 1 枚とする。
 ②個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
 (ア)アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた監督・選手に限る。
 (イ)アドバイザー (1 名) は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。ただし、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合途中でもベンチに入ることができる。試合途中にコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
 ③日本卓球ルールで、特に留意すること。
 (ア)ラケット・正規のサービス・促進ルールについて正しく理解しておくこと。
 (イ)競技用ユニフォームは (公財) 日本卓球協会公認マークの付いたものとし、明らかに異なった色のものを 2 着以上持参すること。
 (ウ)競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が 24cm² 以下のウェアを着用すること。それ以上の大きさのメーカー商標は広告になるので本大会では着用できない。
 (エ)ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、(公財) 日本卓球協会が公認した接着剤のみとし、必ず指定された場所で使用すること。

(6) 競技方法

- ①全種目 11 本 5 ゲームスマッチ (ただし、シングルスのみ 5 回戦より 7 ゲームスマッチ) のトーナメント方式とする。
 ②学校対抗は次の方法で行う。
 (ア)登録選手は 4～7 名とする。
 (イ)試合順序は次のとおりとする。

順序	1	2	3	4	5
	S	S	D	S	S

3 番の D (ダブルス) は、1 番・2 番の S (シングルス) に出場した選手同士で組むことはできない。なお、シングルスは全て異なる選手とする。

- (ウ)勝敗は 3 試合先取で決する。
 (エ)試合は 2 コートを使用する場合もある。

(7) 使用用具

- ①使用球は、(公財) 日本卓球協会公認プラスチック球 : 40 mm ホワイトのみとする。
 ②使用卓球台は、(公財) 日本卓球協会公認で、色はブルーとする。

(8) 引率・監督

- ①引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
 ②監督は、校長の認める指導者とし、当該年度に (公財) 日本卓球協会に役員登録された者であること。また、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険等) に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申込時に (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部事務局に提出することを条件とする。

(9) 参加資格

- ①選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校 (中等教育学校後期課程を含む) に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。

- ②選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会参加の資格を得たものに限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- ③選手は、当該年度（公財）日本卓球協会に登録されたものに限る。
- ④年齢は、平成10（1998）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- ⑤チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- ⑥統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- ⑦転校後6か月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- ⑧出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- ⑨学校対抗の選手変更については、以下の条件で認めることができる。
 ア、病気等によりやむを得ない場合は、学校長名・印をもって、所定の用紙に必要事項を記入し、診断書を添え、当該大会監督会議までに競技運営委員長へ届け出て、承認を得るものとする。
 イ、シングルス又はダブルスにエントリーされている選手を、新たに学校対抗のメンバーに加えることはできない。
- ⑩参加資格の特例
 ア、上記①②に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い、大会参加を認める。
 イ、上記④の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
 ※大会参加資格の別途に定める規定に関しては、正式な大会要項にて参照のこと

(10) 参加制限 ①各種目の都道府県別参加数は、次の表の通りとする。

都道府県名	学校対抗（団体戦）		ダブルス		シングルス	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
北海道	2	2	3	3	6	5
宮城	1	1	2	2	4	5
福島	1	1	2	2	4	5
茨城	1	1	2	2	4	5
埼玉	2	2	3	3	6	6
千葉	2	2	3	3	6	5
東京	2	2	4	3	8	7
神奈川	2	2	3	3	6	5
静岡	1	1	3	3	5	6
愛知	2	2	4	4	8	8
大阪	2	1	3	2	6	4
兵庫	1	2	3	4	6	7
福岡	1	2	2	3	5	5
上記以外の府県	1	1	2	2	4	4
開催県増加分	1	1	2	2	4	4
合計	55	55	107	107	214	214

- ②（公財）日本卓球協会より国際大会の代表として認められ、予選会に出場できなかった者は上記の表以外とする。
 外国人留学生の参加については、（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部規定第1条2. 大会運営規定〔5〕外国籍選手の大会出場制限による。

(11) 参加申込（※詳細につきましてはホームページにてご確認下さい。）

※個人情報の取扱に関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

①申込書類 ア、出場校提出書類（各都道府県専門部委員長へ提出）

イ、都道府県専門部委員長提出書類（下記③の へ提出）

②申込方法 ア、各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部ならびに各参加校の申込責任者は、「はばたけ世界へ南東北総体2017」のホームページから参加申込書・選手一覧表の様式をダウンロード、申込書類を作成し、各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部でまとめ、下記③申込先2ヶ所（宛1枚、宛2枚）へ簡易書留郵便で申し込むこと。
 また、補助データとして、各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部は、選手一覧表のデータを、宛に電子メールにて送信する。

③申込先 〒501-6083 岐阜県羽島郡笠松町常磐町1700 岐阜工業高等学校内
 （公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部 事務局長 簗島尚信 宛
 TEL: (058) 387-4141 FAX: (058) 387-4019

〒963-8601 福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市役所本庁舎5階
 平成29年度全国高等学校総合体育大会
 郡山市実行委員会事務局 卓球競技担当 武田 和久 宛
 TEL: 024-924-2266 FAX: 024-924-0059

E-mail: 2017ih-takkyu@city.koriyama.fukushima

④申込期日 平成29年6月26日（月）必着

- (12) 参加料 ①参加料 ア、学校対抗（団体戦） 1チーム 40,000円
 イ、個人戦 1名 4,000円（単・複両方に出場する場合も1名4,000円）
 ②参加料納入方法
 ア、各都道府県高等学校体育連盟卓球専門部で取りまとめ、所定の銀行振込用紙を用いて下記の口座に振り込むこと。
 イ、振込先

金融機関	●●銀行 ●●支店 (未定)
口座番号	普通 ●●●● (未定)
口座名義	平成29年度全国高等学校総合体育大会 郡山市実行委員会 卓球競技 ●●●● (未定)

- ③参加取消に伴う納入金の取扱い
 ア、参加申込期限日までの取消については返金する。但し、振込手数料を差引いた額とする。
 イ、参加申込期限日後の取消については、返金しない。

- (13) 表彰 ①学校対抗（団体戦）
 ア、第1位から第5位（ベスト8）までを表彰する。
 イ、優勝校（男・女）には（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部優勝旗、（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、読売新聞社杯、文部科学大臣杯、NHK杯を授与する。準優勝校（男・女）には準優勝杯を授与する。
 ②シングルス及びダブルス
 ア、第1位から第5位（ベスト8）まで表彰する。
 イ、優勝者には（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部優勝杯を授与する。
 ③（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部表彰規定により、殊勲賞及び敢闘賞を授与する。
 ④前年度優勝校、準優勝校、優勝者にレプリカを贈呈する。

(14) 宿泊 未定

- (15) 組合せ 1. 学校対抗（団体戦）
 ①方法 参加校監督・主将による公開抽選において行う。
 ②日時 平成29年7月27日（木）16:00～（受付開始15:30）
 ③会場 郡山総合体育館
 2. シングルスおよびダブルス
 ①方法 （公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部によるプログラム編成会議において行う。
 ②日時 平成29年7月6日（木）～8日（土）3日間
 ③会場 郡山市民プラザ会議室
 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 ビックアイ7階
 TEL: 024-922-5544（市民部市民サービスセンター）

(16) 諸会議

会議名	日 時	会 場
全国理事会	7月 28日（金） 8時30分	ミューカルがくと館
全国評議員会	7月 28日（金） 12時30分	ミューカルがくと館
監督会議	7月 28日（金） 14時30分	ミューカルがくと館

- (17) 連絡事項 ①プログラムの配布について
 参加者に対する競技種目別プログラム無償配布は、（公財）全国高等学校総合体育大会開催基準要項による。
 ②競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側の負担とするが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
 ③引率責任者は選手の行動に対してすべての責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。
 ④競技開会式当日の服装は、選手はユニフォームを着用し、ゼッケンをつけること。
 ⑤練習会場は、大会本部で割り当て、事前に通知する。
 ⑥宿舎及び練習会場から競技会場までのシャトルバス等の準備は行わないので、参加校ごとに対応すること。
 ⑦競技会場の専用駐車場には限りがあるので、できるだけ公共の交通機関を利用すること。
 ⑧申込不備による問合わせの諸経費は、当該都道府県の負担とする。

* 問合せ先

〒963-8601 福島県郡山市朝日1-23-7 郡山市役所本庁舎5階 文化スポーツ局スポーツ振興課内
 平成29年度全国高等学校総合体育大会
 郡山市実行委員会事務局 卓球競技担当 武田和久
 TEL: 024-924-2266 FAX: 024-924-0059
 E-mail: takeda.kazuhisa@fcs.ed.jp

第一三共ヘルスケア・レディース 2017・第40回全国レディース卓球大会 実施要項

- (1) 名称 第一三共ヘルスケア・レディース 2017・第40回全国レディース卓球大会
 (2) 期日 平成29年7月28日(金)～30日(日)
 (3) 会場 高松市総合体育館
 ことடன்志度線「沖松島」駅より徒歩3分 (JR高松駅→ことடன்高松築港駅→瓦町→沖松島駅)
 JR「高松」駅よりタクシーで約10分
 〒760-0066 香川県高松市福岡町4-36-1 TEL: 087-822-0211

- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主管 香川県卓球協会
 (6) 後援 香川県、香川県教育委員会、(公財)香川県体育協会、高松市、高松市教育委員会、高松市体育協会、
 (公財)高松観光コンベンション・ビューロー、四国新聞社

- (7) 協賛 第一三共ヘルスケア株式会社(予定)
 (8) 競技種目 ①団体戦(4単1複) ②個人戦ダブルス(合計年齢別)
 (9) 試合方法 ①団体戦

(イ) チーム編成

各チーム共、監督1名、コーチ1名、選手6～9名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。競技は6名による1ダブルス4シングルスで行う。なお、選手が監督、コーチを兼ねることは差し支えないが、必ず役員登録をすること。

(ロ) オーダー順序

1	2	3	4	5
60歳以上	50歳以上	ダブルス	40歳以上	30歳以上

- 1) 出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
- 2) 年齢条件を満たす場合、選手は試合毎に出場年代を変更して出場する事が出来る。
- 3) ダブルスには、年齢条件はない。

(ハ) 試合方法

- 1) 原則として3チームによる第1ステージ(リーグ戦)を行い、各ブロックの同一順位同士による第2ステージ(トーナメント)を行う。
- 2) 第1ステージ(リーグ戦)は、勝敗に関係なく全試合(5番まで)行うものとする。(例:A対Bの試合で3-0の後、Bが2点とった場合3-2と記録される。)なお、その記録結果は、リーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
- 3) 第2ステージ(トーナメント)は3点先取で行う。

(ニ) 第1ステージ(リーグ戦)の順位決定について

- 1) 第1ステージ(リーグ戦)の順位はそのグループ内での勝者を2点、敗者を1点、不戦敗を0点とした試合得点を与えるものとし、試合得点の多い順に順位を決定する。
- 2) 同一グループ内で3チームの試合得点と同じ場合は、行われた全マッチの比率計算(勝÷負)による。
- 3) 2)が同率の場合、行われた全ゲームの比率計算による。
- 4) 全ゲームが同率の場合、行われた全試合のポイントの比率計算によるものとする。

(ホ) 表彰

- 1) 第2ステージ(1位トーナメント)の1～3位(ベスト4)を表彰する。

②個人戦(ダブルス)

(イ) 試合方法

2名の合計年齢で下記4種目とし、各種目毎に3～4組で第1ステージ(リーグ戦)を行い、各リーグ1位の組による第2ステージ(トーナメント)を行う。(尚、参加数によってはリーグ2・3(4)位による第2ステージ(トーナメント)を行う場合がある。)

- A. 合計年齢 60～109歳
- B. 合計年齢 110～125歳
- C. 合計年齢 126歳以上
- D. 合計年齢 140歳以上(各々の年齢が70歳以上であること)

※年齢は、平成30年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。

※合計年齢の多いペアが合計年齢の少ない種目への出場を認め、予選方法については各都道府県に一任する。

(ロ) 表彰

第2ステージ(1位トーナメント)の1~3位(ベスト4)を表彰する。

(10) 競技日程

7月28日(金)	14:00~	監督会議
	15:00~	開会式
29日(土)	9:00~	団体第1ステージ(リーグ戦)
		第2ステージ(トーナメント) 1・2回戦
		個人第1ステージ(リーグ戦)
		第2ステージ(トーナメント) 1・2回戦
30日(日)	9:00~	団体・個人、第2ステージ
	14:30~	閉会式(試合進行により前後あり)

(11) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② 卓球台はブルーを使用する。
- ③ 同色のユニホームによる対戦をさけるため2種類以上の色の違うユニホームを持参すること。
- ④ 使用球は、J T T A公認プラスチック球; 40 mmホワイトのみとする。
- ⑤ ゼッケンは本会が交付したものを使用すること。

(12) 参加資格

① 団体戦

- (イ) 平成29年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。監督・コーチは役員登録、選手は選手登録をする。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
- (ロ) 編成チームのメンバーは原則として同一クラブに所属していること。但し、同一クラブで年齢制限等により編成ができない場合に限り、当該加盟団体長の承認があれば同一都道府県内において混成クラブでのチーム編成ができる。(隣接都道府県での編成は認めない)
- (ハ) 同一クラブで、A/B/C…などに区分して予選に出場することができる。但し、代表決定後A/B/Cのチーム間で選手交換することはできない。
- (ニ) 参加年齢は30歳以上の女性とする。(監督、コーチはこの限りではない。)
年齢は、平成30年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。
30歳以上 昭和63年4月1日以前に生まれた者であること。
40歳以上 昭和53年4月1日以前に生まれた者であること。
50歳以上 昭和43年4月1日以前に生まれた者であること。
60歳以上 昭和33年4月1日以前に生まれた者であること。
- (ホ) 参加チームは各都道府県加盟団体主催の予選会を通過したチームとし、各都道府県の代表として参加すること。予選会の方法は加盟団体に一任する。
- (ヘ) チーム内に第36回全日本クラブ卓球選手権大会(平成29年度)と本大会に重複出場することはできない。(但し、予選会は除く)
- (ト) 監督会議での選手変更は2名までとする。但し、予選会で敗れたチームからの交換補充はできない。
- (チ) 前年度ベスト8のチームは、チーム構成に前年度出場選手4名を含めることを条件に推薦出場できる。(表1)

② 個人戦

- (イ) 上記団体戦資格に準ずる。但し、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
- (ロ) 団体戦参加者(登録者)は出場できない。
- (ハ) 第36回全日本クラブ卓球選手権大会と本大会に重複しての出場はできない。(但し、予選会は除く)
- (ニ) 前年度各種目のベスト4のペア(表1)は該当する合計年齢の種目に無条件出場することができる。

(13) 参加数

都道府県名	団体戦	個人戦 (ダブルスA)	個人戦 (ダブルスB)	個人戦 (ダブルスC)	個人戦 (ダブルスD)
香川(開催地), 東京, 愛知, 福岡	4	4	4	4	2
北海道, 埼玉, 神奈川, 静岡, 京都	3	3	3	3	
千葉, 大阪, 兵庫, 岡山, 広島, 山口, 長崎, 大分, 鹿児島	2	2	2	2	1
その他の県	1	1	1	1	

※主管地は、総出場数が参加枠を満たさず運営規模に余力があると判断したときは、独自の判断で参加数を増やすことができる。なお、そのチーム選出については、本会と主管団体で別途協議する。

- (14) 参加料 団体戦 1チーム 20,000円
個人戦(ダブルス) 1組 4,000円
- (15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。
尚、参加料は現金書留郵便または振込にて(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先:みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会)
(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL:03-3481-2371、FAX:03-3481-2373
コピーを 〒765-0053 香川県善通寺市生野町 855-1 尽誠学園高等学校内 金崎正久 気付
香川県卓球協会 宛
TEL:0877-62-1515 FAX:0877-62-0586
- (16) 申込締切 平成29年6月6日(火)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (17) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18) その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②開会式には原則として全員参加すること。
③監督会議: 日時 7月28日(金)14:00~
場所 高松市総合体育館 サブアリーナ
④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受けることが望ましいです。
⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

表1

〔団体の部〕 ◎1位トーナメント	
1位. HPC (大阪)	5位. ベリーズ (愛知)
2位. 花野井クラブ (千葉)	5位. 所沢レディース (埼玉)
3位. チャイム (神奈川)	5位. すばる (東京)
3位. 狭山フレンズ (埼玉)	5位. 八尾ひまわり (大阪)
〔ダブルスの部〕 a. 合計年齢60~109歳	
1位. 矢島真樹子 (ワイワイ卓球・東京)	3位. 草野由美子 (オオヤクラブ・千葉)
藤原 佳子 (FLEX・東京)	荒川 裕子 (オオヤクラブ・千葉)
2位. 藤澤 幸子 (奥州クラブ・岩手)	3位. 渡辺 佳恵 (安城エムクラブ・愛知)
佐藤亜由美 (奥州クラブ・岩手)	古館 圭江 (安城エムクラブ・愛知)
〔ダブルスの部〕 b. 合計年齢110~125歳	
1位. 天野 久子 (さくらクラブ・宮城)	3位. 壺枝 康子 (のぎく・宮崎)
宍戸 若菜 (中央クラブ・宮城)	谷口 夏子 (のぎく・宮崎)
2位. 高島みつ枝 (TKOクラブ・埼玉)	3位. 菊地 裕子 (秋田卓球会館・秋田)
田中 裕子 (TKOクラブ・埼玉)	吉岡 今子 (秋田卓球会館・秋田)
〔ダブルスの部〕 c. 合計年齢126歳以上	
1位. 持田 恵子 (サクセス・愛知)	3位. 加瀬 和子 (サザンスターズ・東京)
船ヶ山昌子 (サクセス・愛知)	須田 深雪 (サザンスターズ・東京)
2位. 鳥居 恭子 (あすなろクラブ・愛知)	3位. 岡田 茂美 (あみん・兵庫)
黒坂 初枝 (あすなろクラブ・愛知)	堀口 淑子 (あみん・兵庫)
〔ダブルスの部〕 d. 合計年齢140歳以上 (各々が70歳以上)	
1位. 浜田 キエ (エムクラブ・愛知)	3位. 川原 信子 (竹の子枚方クラブ・大阪)
高塚多美子 (エムクラブ・愛知)	伊勢美弥子 (パステル・大阪)
2位. 池本けい子 (イーグルス・千葉)	3位. 中村 洋子 (パワフル・福岡)
片岡 照子 (卓志・千葉)	吉柳美代子 (パワフル・福岡)

第 35 回全国ホープス卓球大会 実施要項

- (1) 名 称 第 35 回全国ホープス卓球大会
- (2) 期 日 平成 29 年 8 月 14 日 (月) ~ 16 日 (水)
- (3) 会 場 東京体育館 (JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅 下車 1 分)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL: (03) 5474-2111
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 東京都卓球連盟
- (6) 後 援 東京都教育委員会、(公財) 東京都体育協会、全国新聞社事業協議会 (予定)
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①チームはクラブ単位とし、監督 (引率者) 1 名、コーチ 1 名、選手 3~4 名で編成する。
但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。
②4 シングルス・1 ダブルス (3 番にダブルス) の 3 点先取で勝敗を決める。
③ABC か XYZ をトスで決め、3 名か 4 名の選手で次のオーダー順序によって試合を行う。
(3 名の場合) 1 2 3 4 5 (4 名の場合) 1 2 3 4 5
ABC チーム A B BC A C ABC チーム A B CD A C
XYZ チーム X Y XZ Y Z XYZ チーム X Y WZ Y Z
④4 チームによる第 1 次リーグとその 1 位・2 位チームによる決勝トーナメントを行う。
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|---------|------------------------------|
| 8 月 14 日 (月) | 10:40 ~ | 監督会議 |
| | 12:30 ~ | 開会式 |
| | 13:30 ~ | 男女第 1 次リーグ |
| 15 日 (火) | 9:30 ~ | 男女第 1 次リーグと決勝トーナメント (1・2 回戦) |
| 16 日 (水) | 9:30 ~ | 決勝トーナメント (準々決勝 ~ 決勝) |
| | 14:00 ~ | 閉会式 (予定) |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
④ゼッケンは平成 29 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤同じユニホームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①選手・監督・コーチは平成 29 年度 (公財) 日本卓球協会に登録したものであること。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する都道府県の出場チームにおいて登録をしていること。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
②選手は平成 17 年 4 月 2 日以降に生まれたものであること。
③登録の単位はクラブとし、同一クラブから複数のチームが出場できる。なお、クラブと他クラブの混成チームは認めない。
④1 つのクラブの選手は全て同じ都道府県の選手登録者であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できるものとする。
⑤監督 (引率者) は協会に役員登録されているチームの代表者で責任のもてる人であること。
⑥予選会で敗れたチームのメンバーになっていた選手が、同一クラブのチームが代表となったからといって、その選手を代表チームメンバーへと変更することはできない。
⑦監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議の時に変更届を提出すればそれを認める。それ以降については認めない。
- (12) 表 彰 ①一次リーグ各ブロックの 1 位チームを表彰する。
②決勝トーナメント 1~3 位 (ベスト 4) まで表彰する。

(13) 参加数 次表の通り。

都道府県名	チーム数
東京（開催地）、青森、愛知	男女各3
北海道、秋田、山形、福島、新潟、静岡、岐阜、鳥取、広島、福岡、熊本	〃 2
その他の府県	〃 1

{参加枠算出基準} 平成 28 年度小学生競技者登録者数 上位 2 都道府県 : 3 チーム
〃 上位 3~14 都道府県 : 2 チーム (開催地+1)
〃 その他 : 1 チーム

代表チームの選出は各都道府県予選を原則とし、都道府県選抜チームは認めない。定数に満たない場合の補充は (公財) 日本卓球協会が別途考慮する。開催地は男女各 1 チームプラスして参加できる。

(14) 参加料 1 チーム 10,000 円

(15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は書留郵便又は振込にて (公財) 日本卓球協会宛送金のこと。

(振込先: みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会)

(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

(公財) 日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-18-5 中央第 7 西新宿ビル 402 号室

東京都卓球連盟 宛

TEL (03) 5389-2965、FAX (03) 5389-2987

(16) 申込締切 平成 29 年 6 月 27 日 (火)

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず (公財) 日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(17) 宿 泊 後日、東京都卓球連盟ホームページにて案内する。

(18) その他 ①監督会議 (イ) 日時: 8 月 14 日 (月) 10:40~

(ロ) 場所: 東京体育館 第 1 会議室

②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

③病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。

④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

※10 年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。

※ブロック大会については、開催ブロックに要項を一任する。

平成 29 年度全国中学校体育大会 第 48 回全国中学校卓球大会 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。(2月15日付)

- (1) 名 称 平成 29 年度全国中学校体育大会
第 48 回全国中学校卓球大会
- (2) 期 日 平成 29 年 8 月 22 日 (火) ~ 25 日 (金)
- (3) 会 場 別府市総合体育館 ベっぷアリーナ
〒874-0902 大分県別府市青山町 8-37 TEL : 0977-21-2323
- (4) 主 催 (公財) 日本中学校体育連盟、(公財) 日本卓球協会、大分県教育委員会、別府市教育委員会
- (5) 主 管 九州中学校体育連盟、大分県中学校体育連盟、別府市中学校体育連盟、大分県卓球連盟
- (6) 後 援 スポーツ庁、全日本中学校長会、全国都道府県教育長協議会、全国市町村教育委員会連合会、
(公社) 日本 PTA 全国協議会、日本私立中学高等学校連合会、九州卓球連盟、大分県、
大分県市町村教育委員会協議会、大分県中学校長会、(公財) 大分県体育協会、大分県 PTA 連合会、別府市、
NHK、全国新聞社事業協議会、読売新聞社、毎日新聞社、大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、
OAB 大分朝日放送
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦 ③男子個人戦 ④女子個人戦
- (8) 試合方法 ①男・女団体戦
(イ) 1 チームの編成は、同一校選手 6~8 名、監督 1 名、アドバイザー 1 名とする。ただし、
アドバイザーは出場校の教職員もしくは学校長の承認を得た成人の外部指導者とする。
(ロ) 4 シングルス、1 ダブルスの 6 人制で行う。
(シンダブルス・ダブルスともに重複して出場することはできない)
(ハ) 第 1 ステージ(予選リーグ)・第 2 ステージ(決勝トーナメント)方式で行う。
・第 1 ステージは、5 試合全てを行い、勝敗を決める。
・第 2 ステージは、3 点先取法で行う。
(ニ) 第 1 ステージは、1 グループ 3 チーム計 13 グループを編成する。
(ホ) 第 2 ステージは、各グループ 1 位の決勝トーナメントにより優勝を決定する。
- ②男・女個人戦
(イ) 男女ともシングルスのみとし、トーナメント方式による。
(ロ) アドバイザーとして、選手 1 名につき 1 名のベンチ入りを認める。ただし、監督(校長
または教員)・アドバイザー(成人外部指導者等)または生徒のいずれかとする。試合中の
アドバイザーの変更は認められない。
※団体戦、個人戦ともに 3 位決定戦は行わない。
- (9) 競技日程 平成 29 年 8 月 22 日 (火) 16 : 00 ~ 開会式
23 日 (水) 9 : 00 ~ 団体戦第 1 ステージ(予選リーグ戦)
優秀 13 校表彰式
24 日 (木) 9 : 00 ~ 団体戦第 2 ステージ(決勝トーナメント)
個人戦(1~2 回戦)
25 日 (金) 9 : 00 ~ 個人戦(決勝まで)
14 : 00 ~ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②テーブルはブルーを使用する。
③使用球は(公財)日本卓球協会公認ホワイト球(プラスチック)を使用する。
④競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が 24cm² 以下のウェアを着
用すること。それ以上の大きさのメーカー商標は広告になるので本大会では着用できない。
- (11) 参加資格 ①参加選手は、都道府県中学校体育連盟の中学校に在籍する生徒で、校長及び都道府県中学校体育
連盟会長が参加を認めた者とする。
②年齢は、平成 14 年(2002 年)4 月 2 日以降に生まれた者に限る。
③前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の 6 月 30 日までに、各都道府県中学校体育連
盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
④各ブロック大会で選抜された代表チーム及び代表選手ならびに(公財)日本卓球協会の推薦を受け
た選手とする。
(イ) 開催ブロックは、団体戦男女各 1 チームを推薦できるものとする。
(ロ) 開催地は、ブロック大会の成績に関係なく、団体戦男女各 1 チーム、個人戦男女各 2 名出場
できるものとする。(※以上、別表のブロック別参加数を参照のこと。)
- ⑤参加資格の特例
(イ) 学校教育法 134 条の各種学校(1 条項以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に
参加を認められた生徒であること。
(ロ) 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
1) 全国大会の参加を認める条件
・(公財)日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重す
ること。
・生徒の年齢及び修業年限がわが国の中学校と一致している単独の学校で構成されて
いること。
・参加を希望する学校においては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的
に当該校顧問教師の指導のもと適切に行われていること。

2) 全国大会に参加した場合に守るべき条件

- ・全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ・全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ・大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

⑥個人情報の取り扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟個人情報保護法方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編集及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用することに同意すること。

(12) 引率者及び監督

- ①参加生徒の引率者・監督は、出場校の校長・教員（非常勤講師は除く）とする。
- ②大会ではアドバイザーをおくことができる。ただし、アドバイザーが外部指導者の場合は出場校の校長が認めた成人とし、所定の「アドバイザー確認書」に必要な事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出すること。ただし、当該校以外の中学校教職員はアドバイザーになれない。
- ③引率者の特例として、全国中学校体育大会の個人種目への参加について、校長・教員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者の引率を認める。

(13) 参加数 ブロック割当数（男女とも同数とする）

ブロック	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催都道府県	開催ブロック	日本卓球協会推薦	計
団体	3	4	7	3	4	4	4	3	5	1	1	0	39校
個人	10	12	16	10	12	12	10	10	12	2	0	8	114人

※（公財）日本卓球協会推薦選手

- 男子シングルス： (. 中学) 、 (. 中学) 、
- 女子シングルス： (. 中学) 、 (. 中学) 、

(14) 参加料

- ①参加選手1人につき3,000円とする。*団体戦と個人戦の両方に登録されても3,000円
- ②参加料は大会実行委員会指定口座へ事前に納入する。参加料納付書は必ず学校名、団体戦・個人戦の種別を記入し、FAXで送付する。

豊和銀行 明野支店 店番 033
口座番号 普通 1135709
口座名義 全国中学校体育大会 大分県実行委員会
会長 櫻井 康弘

③振込期限 平成29年8月11日（金）

(15) 申込方法

- ①所定の申込書「団体申込書・個人申込書・アドバイザー確認書」に必要な事項を記入し、校長が出場承認印を押したものを1部作成し、大会事務局にFAXし、すぐに正式な書類を速達郵送すること。

申込先

〒870-0163 大分県大分市明野南3-7-1 大分市立明野中学校内
 平成29年度全国中学校体育大会 大分県実行委員会
 第48回全国中学校卓球大会実行委員会 事務局 担当：徳丸 裕
 TEL：097-553-2827 FAX：097-553-2940
 E-mail：oita-ctr@agate.plala.or.jp

- ②選手・監督・アドバイザーの変更があるチーム(個人)は、所定の「選手・監督・アドバイザー変更用紙」に記入の上、監督会議終了後、直ちに審判長に提出する。ただし、個人戦の選手変更は認めない。個人戦の監督・アドバイザーの変更については、選手が最初の試合を行う30分前までに、審判長へ提出すること。
- ③ブロック出場チーム(個人)一覧表の送付
 ブロック競技部長は、ブロック出場チーム(個人)一覧表を1部作成し、ブロック大会終了後、ただちに大会事務局(申込先)へE-mailすること。

④プログラムの送付

ブロック競技部長は、ブロック大会のプログラムと記録を(公財)日本中学校体育連盟卓球競技部会に1部持参すること。

(16) 申込締切 平成29年8月11日(金)

(ブロック大会の期日がこれより遅い場合は、ブロック大会が終了次第すぐに申込むこと)

(17) 宿泊 別紙「宿泊要項」により斡旋するので、必ず実行委員会指定の宿舎を利用すること。申込み、お問い合わせ等は直接下記取扱業者へ行うこと。

申込締切日：平成29年8月11日(金)

[宿泊取扱業者]

〒870-0026 大分県大分市金池町1-7-17

(株)JTB九州 大分支店

担当者：緒方・江上

TEL：097-553-1020

FAX：097-534-9197

E-mail ogata957@kys.jtb.jp

(18) 表彰 1) 団体戦

①優勝校には、賞状、優勝旗、優勝杯及び優勝トロフィー、記念品を授与する。

②準優勝校及び3位校(2チーム)には、賞状、記念品を授与する。

③第1ステージ(予選リーグ)の各グループ1位のチームは、第1ステージ終了後、団体戦決勝トーナメントに進出した栄光をたたえ、賞状を授与する。(優秀13校表彰)その後、その場で第2ステージ(決勝トーナメント)の組合せ抽選会を行う。入賞チーム(個人)及びランキング証の受賞者は、必ず閉会式に出席すること。*表彰式には、進出チーム全員が参加すること。

2) 個人戦

①第1位～第3位までの4名に賞状、記念品を授与する。

②第1位～第8位までの各人にランキング証を授与する。

3) 本大会登録選手(団体・個人)に参加章を授与する。

4) 入賞チーム(個人)及びランキング証の受賞者は、必ず閉会式に出席すること。

(19) その他 ①監督会議

平成29年8月22日(火) 14:00～15:00

豊泉荘 会議室

*受付後、監督会議に出席してください。

②(公財)日本中学校体育連盟卓球競技部会(ブロック代表者)

平成29年8月24日(木) 13:00～14:00

べっぷアリーナ第2ミーティング室

③プログラムは団体戦出場チームには3部、個人戦出場者には1部を配布する。

④出場校(個人)は、所属する都道府県競技団体に出場報告をすること。

⑤開会式について

(ア) 集合場所：べっぷアリーナ サブアリーナ

(イ) 集合時間：15:30

(ウ) 服装：ユニフォーム・ゼッケン着用・シューズ

(エ) 参加人数：登録された選手

⑥組み合わせ抽選会 平成29年8月12日(土) 9:00～

前年度大会、全日本卓球選手権大会等の結果を考慮し、開催地にて行う。

⑦大会期間中の負傷、疾病については応急処置のみ行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

⑧練習会場：8月21日(月)午後から25日(金) べっぷアリーナ サブアリーナ

詳細は正式な大会要項等でお確かめ下さい。

以上

第 72 回国民体育大会（卓球競技） 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。

(1) 期日 平成 29 年 9 月 30 日（土）～10 月 4 日（水）まで（5 日間）

種 別	9月30日(土)	10月1日(日)	10月2日(月)	10月3日(火)	10月4日(水)
成年男子	—	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準決勝・決勝
成年女子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ/準々決勝	準決勝・決勝
少年男子	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝・決勝
少年女子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準決勝・決勝

(2) 会場 「宇和島市総合体育館」 〒798-0006 愛媛県宇和島市弁天町二丁目 1 番 27 号 TEL : 0895-25-0063

(3) 種別及び参加人員

種 別	監督	選手	参加都道府県	小計	合計
成年男子	1	3	16	64	460
成年女子	1	3	32	128	
少年男子	1	3	47	188	
少年女子	1	3	20	80	

※成年男子および成年女子の監督は選手を兼ねることができる。

(4) 競技上の規定及び方法

①競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。

②試合方法

(ア)少年男子はトーナメント方式によって勝敗を決め、成年男子、成年女子及び少年女子は、1次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。なお、1次リーグ戦は、成年男子は各4チーム4グループ、成年女子は各4チーム8グループ、少年女子は各5チーム4グループに分け、各グループ1位チームが決勝トーナメントに進む。

(イ)各種別とも3名の選手からなる。5シングルスで試合を行う。ただし、外国籍の選手はC又はZのみの出場とする。

	1	2	3	4	5
ABCチームは	1、A	2、B	3、C	4、A	5、B
XYZチームは	1、X	2、Y	3、Z	4、Y	5、X

(ウ)使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球：40mmホワイトのみとする。

(5) 予選方法

①都道府県大会

(ア)都道府県大会は、(公財)日本卓球協会加盟の各都道府県協会が主管して実施し、期日、実施方法については当該都道府県体育協会と協議して決定する。

(イ)期日は、7月下旬までに終了すること。

②ブロック大会

(ア)ブロック大会を実施する種別は、成年男子、成年女子及び少年女子の3種別とする。少年男子は、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

(イ)ブロック大会区分及び都道府県数は下表のとおりとし、当番県を定めて実施する。当番県はブロック大会の結果にプログラムを添えて、実施後速やかに(公財)日本卓球協会宛連絡する。

(ウ)ブロック大会の開催地については、各ブロックに一任する。

③都道府県代表選手の選考について

都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。但し、事情により都道府県大会を実施できない場合、あるいは都道府県大会に参加できない場合には、下記(ア)、(イ)の選考方法が認められる。なお、やむを得ない事情により都道府県大会等を実施できない場合は、事前にその事情について(公財)日本卓球協会と協議し、了承を得ておくこと。(ここで、都道府県大会等とは、国体予選会、都道府県選手権、その他の予め指定した競技会、都道府県内ランキングなどを指す。)また、選手が都道府県大会等に参加できない場合とは具体的にどのような場合のことを指すのか事前に(公財)日本卓球協会の了承を得た上で、周知することとする。(ここで「参加できない場合」とは具体的に、全国大会出場、日本リーグ出場、学生リーグ出場、海外遠征、ナショナルチーム強化合宿参加などをいう。)

(ア)選出基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は都道府県に任される。

(イ)ブロック大会を実施する種別で、当該都道府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際に参加した者に代えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合、その者が当該都道府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。なお、ここでいう「参加」には、「当該都道府県が予め(公財)日本卓球協会に対して了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。

(ウ)トップアスリートの特例処置を別記1のように定める。

※予選会免除対象大会（予定：日体協の4月承認により）

2017年夏季ユニバーシアード競技大会

2017世界卓球選手権大会

2017アジアジュニア卓球選手権大会

④ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	2	4	2
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	2	5	3
北信越	新潟・長野・富山・石川・福井	2	3	2
東海	静岡・愛知・三重・岐阜	1	3	2
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	2	4	2
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	2	3	2
四国	香川・徳島・高知	1	3	2
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	2	5	3
開催地	愛媛	1	1	1
	計	16	32	20

(6)参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

①参加資格

(ア)日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。

(1)出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者

(2)学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒。ただし、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生（主に高校生）及び家族滞在（中学3年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に一年以上在籍していること。また、留学生（主に大学生）については、参加できない。

(3)参加しようとする当該年以前に前号(2)の規定に該当していた者。

(イ)各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

(ウ)第70回大会又は第71回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き第70回大会又は第71回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(1)平成28年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

(2)結婚及び離婚に係る者

(3)ふるさと選手制度を活用する者（成年種別）：「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

（注）別記2「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

(4)一家転住に係る者（少年種別）：「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。

(5)JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記2「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」による。（少年種別））

(エ)選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

(オ)前記のほか、選手については次のとおりとする。

(1)参加選手は冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

(2)回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(3)健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(4)ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査をうけなければならない。

(カ)監督は以下の何れかを満たす者とする。また同時に、公認審判員以上の審判員資格を有していること。

(1)日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球上級コーチ資格を有する者

(2)日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ資格を有する者

(3)日本体育協会及び日本卓球協会認定・公認卓球上級指導員資格を有する者

②所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

〈成年種別〉

(ア)居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）

(イ)勤務地

(ウ)ふるさと（国民体育大会ふるさと選手制度による）

（注）別記2「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

※大学生の場合にあつては、居住地を示す現住所またはふるさとのいずれかを選ぶことができる。ただし、

ふるさとの場合、「国民体育大会ふるさと選手制度」による。

<少年種別>

(ア)居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す。）

(イ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地

(ウ)勤務地

(エ)「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」（別記2）に定める小学校の所在地

※上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成29年4月30日以前から本大会終了時まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、勤務又は通学していなければならない。但し、次の者はこの限りではない。

- ・<成年種別> a: 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例処置」の適用を受ける場合
b: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合
- ・<少年種別> a: 「一家転住」した場合
b: 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受ける場合
c: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合

③選手の年齢基準

(ア)成年種別に参加する者は、平成11年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ)少年種別に参加する者は、平成11年4月2日から平成15年4月1日までの間に生まれた者とする。

(中学3年生を含む)

④前記の各事項に疑義のあるときは、（公財）日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、（公財）日本体育協会がその可否を決定する。

(7)総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。但し、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

①競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子	成年女子 少年女子	各種別とも1位24点、 2位21点、 3位（2チーム）各16.5点、 5位（4チーム）各7.5点、の競技得点を与える
成年女子		
少年男子		
少年女子		

②参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(8)表彰

①男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。

②男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

③各種別の第1位から第5位（4チーム）までに賞状を授与する。なお、成年男子及び少年女子の種別については、1次リーグ各グループの2位チームを5位入賞とし、成年女子及び少年男子については、準々決勝で敗退したチームを5位入賞とする。

(9)参加申込み方法

①所定のWebページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要事項を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成29年9月6日（水）までに申込手続きを完了すること。

②締切期限以降は所定のWebページ（国民体育大会参加申込窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

③参加申込選手が、不可抗力以外で無断で本大会の出場を棄権した場合は、その後の本大会出場を停止する。

④申込締切り後の変更は認めない。ただし、疾病、事故等特別の場合には、所定の文書による申し出を受け、審査のうえ決定する。申し出は、監督会議前までとし、参加申込書に記載された予備登録選手に限る。

所定の交代（変更）届の送付先は下記宛とする。

ア、〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 TEL：03-3481-2371 FAX：03-3481-2373

イ、〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番2号

笑顔をつなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会事務局

（愛媛県えひめ国体推進局国体競技式典競技グループ）

TEL：089-947-5622 FAX：089-947-5721

ウ、〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地

笑顔をつなぐえひめ国体宇和島市実行委員会事務局

TEL：0895-49-7087 FAX：0895-49-7088

なお、（公財）日本体育協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

(10)その他 ①組合せ抽選会

日時 平成 29 年 9 月 9 日 (土) 午後 2 時
場所 岸記念体育会館
〒150-8050 東京都渋谷区神南 1 丁目 1 番 1 号
TEL:03-3481-2371 FAX:03-3481-2373

②監督会議

日時 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 午後 4 時
場所 宇和島市役所 2 階大会議室
〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町 1 番地
TEL:0895-49-7087 FAX:0895-49-7088

③表彰式

成年男女・少年男女 5 位表彰式

日時 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 午後 5 時
場所 宇和島市総合体育館
〒798-0006 愛媛県宇和島市弁天町二丁目 1 番 27 号
TEL:0895-25-0063 FAX:0895-25-0106

成年男女・少年男女・総合表彰式

日時 平成 29 年 10 月 4 日 (水) 午後 3 時 30 分
場所 宇和島市総合体育館
〒798-0006 愛媛県宇和島市弁天町二丁目 1 番 27 号
TEL:0895-25-0063 FAX:0895-25-0106

別記 1 【トップアスリートの大会参加資格の特例処置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例処置」を定める。

(1) 対象者

ア 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会に参加した者。

イ 大会開催年の 4 月 30 日時点で、本特例の対象として認めた者。

JOC アスリートプログラム強化指定選手

国内ランキング上位 10 位以内

強化指定選手

*対象者につきましては今後、公益財団法人日本体育協会と調整、決定させていただきます。

(2) 内容

特例の対象となる選手は、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

別記 2 【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記 (1) に該当するものについては、開催基準要項細則第 3 項及び「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、下記 (2) ~ (4) の特例を適用する。

(1) 対象者

ア 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

イ 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2) 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1) アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「(7) 居住地を示す現住所」、「(イ) 学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地」、「(ウ) 勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3) 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1) イに定める成年種別年齢域の選手は、「国民体育大会ふるさと選手制度」(2) に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4) 国内移動選手の制限に係る例外適用

(1) アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第 3 項-(1)-(1)-(3)(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

(注) (1) イに定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則開催基準要項細則第 3 項-(1)-(1)-(3)(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

平成 29 年度全日本卓球選手権大会（団体の部） 実施要項

- (1) 名 称 平成 29 年度全日本卓球選手権大会（団体の部）
- (2) 期 日 平成 29 年 10 月 13 日（金）～15 日（日）
- (3) 会 場 敦賀市総合運動公園体育館 （JR 敦賀駅からコミュニティバス「市街循環線」「中央線」で
運動公園東口または西口下約下車 徒歩 3 分）
〒914-0823 福井県敦賀市沓見 149-1 TEL：0770-23-6638
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会、敦賀市、敦賀市教育委員会、
福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会敦賀市実行委員会
- (5) 主 管 福井県卓球協会、敦賀市卓球協会
- (6) 後 援 福井県、福井県教育委員会、「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会
公益財団法人福井県体育協会、敦賀市体育協会 （予定）
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 ①監督 1 名、コーチ 1 名、選手 3～5 名をもって編成する。
(3 名で試合を行う。コーチがいない編成も認める)
②監督・コーチが選手を兼ねることができるが、必ず選手登録をすること。
③男女とも世界選手権の団体戦方式を採用し、3 点先取で勝敗を決める。
ただし、外国籍選手は C 又は Z のみに出場することができる。
- | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (A B C) | A | B | C | A | B |
| (X Y Z) | X | Y | Z | Y | X |
- ④第 1 ステージ：1 グループ 3 チームで編成してリーグ戦を行う。
⑤第 2 ステージ：第 1 ステージ各グループの上位 2 位の 8 チームによりトーナメント方式にて準々決勝から決勝までを行う。（グループ 1、2 位は決勝まで対戦しない）
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|-------------------|-------------|
| 10 月 13 日（金） | 監督会議 | 9:30～10:30 |
| | 開会式 | 11:00～11:30 |
| | 第 1 ステージ | 12:30～18:00 |
| 14 日（土） | 第 1 ステージ、決勝トーナメント | 9:00～15:00 |
| 15 日（日） | 決勝トーナメント（準決勝・決勝） | 9:00～14:00 |
| | 閉会式 | 競技終了後 |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。ただし、全試合 5 ゲームで行う。
②テーブルはブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみを使用する。
④ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。ただし県選抜、JNT については本会でゼッケンを用意する。
⑤ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①チームを構成する選手は当該年度の（公財）日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは（公財）日本卓球協会役員登録をしていること。監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。選手は段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者とする。
②平成 29 年度下記大会の成績から終了後に決定、選抜されるが、その大会に出場したメンバーを必ず 2 名以上試合に出場させることを条件とする。また、外国籍選手の出場は、1 試合に 1 名までとする。なお、選手は段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
- 推薦内訳 ※（ ）内は推薦対象とする大会
- | | |
|-------------------------|------------|
| (ア) 実業団（全日本実業団選手権大会） | 男・女各 4 チーム |
| (イ) 日本リーグ（日本リーグ） | 男・女各 2 チーム |
| (ウ) 日学連（全日本大学総合選手権団体） | 男・女各 2 チーム |
| (エ) 高体連（全国高校選手権大会） | 男・女各 2 チーム |
| (オ) 福井県選抜チーム | 男・女各 1 チーム |
| (カ) J N T（ジュニアナショナルチーム） | 男・女各 1 チーム |
- ③実業団・大学・高等学校の代表チームと同一チームに所属する選手は、選抜チーム又はジュニアナショナルチームの一員として出場することはできない。
④開催地選抜チームのメンバーについては、平成 29 年度の本会登録者であり、同年度に行なわれる国民体育大会の当該地代表選手（予選も含む）又は、翌年度国民体育大会の当該地代表候補になっている選手であれば、当該加盟団体よりその旨の申請をし出場を認める。
⑤申し込み後の選手変更は監督会議終了までに変更する。監督会議後の変更は認められない。
- (12) 参加数 男子・女子各 12 チーム（上記推薦内訳参照） ※定数に満たない場合の補充は本会で別途考慮する。
- (13) 参加料 1 チーム 50,000 円
- (14) 申込方法 この大会に限り、推薦チームに直接申込書を送付する。推薦されたチームは、別紙参加申込書に必要事項を明記し、1 部を下記①宛（公財）日本卓球協会に直接郵送すると同時に、参加料を現金書留郵便又は振込（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会）にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。なお、送付に係る手数料は推薦チームで負担すること。また、申込書のコピーを下記②、③へそれぞれ郵送すること。

申込書の送付先： ①原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

②コピーを〒910-0016 福井県福井市大宮6-8-9 玉崎真理子 気付
福井県卓球協会 宛

TEL・FAX: (0776) 25-1605

③コピーを所属する加盟団体【(都道府県)と(高体連・日学連・日本リーグ)】の両方へ。
締切日迄に申込み及び参加料の納入がない場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、
必ず(公財)日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(15) 申込締切 平成29年9月5日(火)必着のこと。

(16) 宿 泊 宿泊案内は申込締切後、旅行会社より発送します。

(17) そ の 他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は必ず本会宛速やかに連絡すること。

②開会式には原則として全員参加すること。

③病气、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。

④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

※昨年度優勝チーム(男子：東京アート、女子：中国電力)は、必ず優勝旗を開会式会場に持参して下さい。

⑥本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

推薦チーム一覧表

実 業 団			
男 子		女 子	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
1	()	1	()
2	()	2	()
大 学			
男 子		女 子	
1	大学 ()	1	大学 ()
2	大学 ()	2	大学 ()
高 校			
男 子		女 子	
1	高等学校 ()	1	高等学校 ()
2	高等学校 ()	2	高等学校 ()
開 催 地			
男 子		女 子	
1	福井県選抜	1	福井県選抜
ジュニアナショナルチーム			
男 子		女 子	
1	ジュニアナショナルチーム (JNT)	1	ジュニアナショナルチーム (JNT)

注1) 段級制規程要約

段位取得について(平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)

③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約(平成元年以降)

- (ア) 初出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・初段
- (イ) 同一大会3回目出場者・・・・・・・・・・2段
- (ウ) 同一大会5回目出場者・・・・・・・・・・3段
- (エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者・・・・4段
- (オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者・・・・5段
- (カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者・・・・6段

平成 29 年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部） 実施要項

- (1) 名称 平成 29 年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）
- (2) 期日 平成 29 年 10 月 27 日（金）～29 日（日）
- (3) 会場 リージョンプラザ上越
 (JR「直江津」駅 からリージョンプラザ経由高田駅行き「リージョンプラザ」下車（約 20 分）)
 〒942-0063 新潟県上越市下門前 446-2
 TEL：025-544-2122 FAX：025-544-0441
 上越市教育プラザ体育館
 (JR「直江津」駅 からリージョンプラザ経由高田駅行き「教育プラザ前」下車（約 20 分）)
 〒942-8563 新潟県上越市下門前 1770 番地
 TEL：025-545-9246 FAX：025-545-9273
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 新潟県卓球連盟、上越卓球連盟
- (6) 後援 新潟県、新潟県教育委員会、（公財）新潟県体育協会、新潟県観光コンベンションセンター、
 上越市、上越市教育委員会、上越市体育協会、上越市観光コンベンション協会（予定）
- (7) 競技種目
- | | | | |
|-------------|----------|-------------|----------|
| ①男子サーティ | (30 歳以上) | ②女子サーティ | (30 歳以上) |
| ③男子フォーティ | (40 歳以上) | ④女子フォーティ | (40 歳以上) |
| ⑤男子フィフティ | (50 歳以上) | ⑥女子フィフティ | (50 歳以上) |
| ⑦男子ローシックスティ | (60 歳以上) | ⑧女子ローシックスティ | (60 歳以上) |
| ⑨男子ハイシックスティ | (65 歳以上) | ⑩女子ハイシックスティ | (65 歳以上) |
| ⑪男子ローセブントィ | (70 歳以上) | ⑫女子ローセブントィ | (70 歳以上) |
| ⑬男子ハイセブントィ | (75 歳以上) | ⑭女子ハイセブントィ | (75 歳以上) |
| ⑮男子ローエイティ | (80 歳以上) | ⑯女子ローエイティ | (80 歳以上) |
| ⑰男子ハイエイティ | (85 歳以上) | ⑱女子ハイエイティ | (85 歳以上) |
- (8) 試合方法 各種目ともすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチとし、第 1 ステージは 3～4 名によるリーグ戦、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者によるトーナメント方式とする。
 前年度ランキング選手であっても、第 1 ステージ・リーグ戦から出場するものとする。
- (9) 競技日程
- | | | |
|---------|--------------|--|
| 開会式 | 10 月 27 日（金） | 9:00～ |
| （予定） 競技 | 27 日（金） | 60 代、65 代、70 代、75 代、80 代、85 代 |
| | 28 日（土） | 30 代、40 代、50 代、60 代、65 代、70 代、75 代、80 代、85 代 |
| | 29 日（日） | 30 代、40 代、50 代 決勝まで |
| 閉会式 | 29 日（日） | 16:00～（予定） |

※競技日程はあくまでも予定ですので組合せ決定後変更になる場合があります。

- (10) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
 - ②粒高、アンチ（系）ラバーの使用制限はない。
 - ③卓球台はブルーもしくはグリーンを使用する。
 - ④使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40mm ホワイトのみとする。
 - ⑤同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
 - ⑥ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
 - ⑦ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 29 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。但し、70 歳以上の種目に出場する者は有段者でなければならないが、その段位は問わない。
 - ②年齢は、平成 30 年 4 月 1 日迄に当該年齢に達している者である事。

(イ)サーティ (30 歳以上)	昭和 63 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ロ)フォーティ (40 歳以上)	昭和 53 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ハ)フィフティ (50 歳以上)	昭和 43 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ニ)ローシックスティ (60 歳以上)	昭和 33 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ホ)ハイシックスティ (65 歳以上)	昭和 28 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ヘ)ローセブントィ (70 歳以上)	昭和 23 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(ト)ハイセブントィ (75 歳以上)	昭和 18 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(チ)ローエイティ (80 歳以上)	昭和 13 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
(リ)ハイエイティ (85 歳以上)	昭和 8 年 4 月 1 日以前に生まれた者。
 - ③全日本社会人卓球選手権大会出場者の本大会への重複出場は禁止する。但し、ダブルスのみ全日本社会人選手権大会への重複出場を認める。
 - ④各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
 - ⑤外国籍選手は出場できない。但し、日本で出生し、引続き 3 年以上日本に在住している者、または引続き日本に 10 年以上在住している者はこの限りではない。
 - ⑥各シングルス種目への参加は一人一種目とする。

⑦無条件参加選手（別表参照）

平成 28 年度全日本社会人卓球選手権大会の男女シングルスベスト 16 の者で満 30 歳に達した者および年齢別種目のランキング保持者は当該年齢種目または下の年代の種目の 1 つに出場できるものとする。

(12) 参加人員：

区 分	種 目 都道府県名	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
		サー ティ	サー ティ	フォー ティ	フォー ティ	ファイ フティ	ファイ フティ	ロッシ ックス ステイ	ロッシ ックス ステイ	ハイシ ックス ステイ	ハイシ ックス ステイ	ローセ ブンテ イ	ローセ ブンテ イ	ハイセ ブンテ イ	ハイセ ブンテ イ	ローエ イテイ	ローエ イテイ	ハイエ イテイ
1	新潟（開催地）、北海道、東京、愛知、福岡	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	無制限
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
3	大阪、岡山、広島、長崎	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、長野、富山、石川、三重、岐阜、滋賀、兵庫、奈良、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
5	青森、宮城、福井、和歌山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

区分 1：開催県及び平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員上位 4 加盟団体

区分 2：平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員 5～8 位加盟団体

区分 3：平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員 9～12 位加盟団体

区分 4：区分 1・2・3・5 に該当しない加盟団体

区分 5：平成 28 年度日卓協一般男女選手登録人員が 1 位加盟団体の 1 割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの選手登録人員を含む

※上記の無条件参加資格をもつ選手が、本大会の都道府県予選会に申し込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものと取り扱う。

(13) 参加料 1名 3,000 円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03)3481-2371、FAX：(03)3481-2373

コピーを 〒950-1122 新潟県新潟市西区木場 1775

（予定）新潟県卓球連盟 宛

TEL/FAX：(025)377-7373

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。

(15) 申込締切 平成 29 年 9 月 4 日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) そ の 他 ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。

②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

③開会式には原則として全員参加すること。

④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受ける事が望ましいです。

⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。

⑥個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦当該年度に 100 歳に達した選手を特別表彰する。

【別表1】平成28年度全日本選手権大会（マスターズの部）ランキング

男子サーティ				女子サーティ			
1	荻原 典和	(北海道)	JR北海道	1	安部 香織	(大阪)	長吉卓球センター
2	田野邊 雄	(群馬)	鶴谷病院	2	玉木 杏子	(東京)	Lili
3	松山 満	(岡山)	TEAM HAGITAKU	3	長谷川綾子	(神奈川)	湘南信用金庫
4	田中 雄仁	(兵庫)	育英高校職員	4	坂本 直子	(長野)	岡谷スワンクラブ
5	佐藤 信彦	(埼玉)	埼玉縣信用金庫	5	渡邊夕紀子	(新潟)	亀田クラブ
6	難波 章	(広島)	呉夢TTC	6	平澤 優加	(東京)	TEAM ZERO
7	伊藤 政克	(愛知)	三菱重工名古屋	7	安本 実穂	(静岡)	スズキ
8	笹木 直人	(岐阜)	TENRYU	8	継 亜矢子	(東京)	チームDREAM
男子フォーティ				女子フォーティ			
1	岡野 康幸	(岐阜)	太平洋工業(株)	1	信田 真美	(北海道)	札幌unity
2	緒方 昭範	(兵庫)	ウエダTTC	2	渡辺由希子	(東京)	美鷹クラブENJOY
3	加藤 祐介	(埼玉)	鳩ヶ谷クラブ	3	山下 陽子	(東京)	美鷹クラブENJOY
4	渡部 将史	(沖縄)	琉球アスティータ	4	小野 千代	(東京)	卓精会
5	大貫 譲司	(栃木)	卓心会	5	斉藤 友子	(岡山)	team就実
6	笹岡 光央	(新潟)	Rising Niigata	6	山崎 玲奈	(青森)	日専連クラブ
7	中村 宏	(千葉)	卓修会	7	藤原 佳子	(東京)	FLEX
8	枝広 一志	(岡山)	関西クラブ	8	島村 美恵	(神奈川)	MD相模
男子フィフティ				女子フィフティ			
1	坂本 憲一	(福岡)	豊前JTC	1	大津絵美子	(香川)	丸亀SC
2	山田 昭仁	(静岡)	青嵐クラブ	2	後藤真理子	(京都)	都クラブ
3	江浜 勲	(神奈川)	日産追浜	3	山内 博美	(愛知)	サクセス
4	大島 淳	(兵庫)	KSTC	4	廣瀬 孝子	(大阪)	HPC
5	小野 守	(神奈川)	梅屋敷卓球クラブ	5	大羽さとみ	(福岡)	ビギン
6	花木 友明	(沖縄)	琉球卓球クラブ	6	大嶋 由美	(大阪)	八尾ひまわり
7	中山 隆志	(徳島)	鳴門クラブ	7	新田由紀子	(北海道)	札幌unity
8	金村 功作	(兵庫)	アプロディール	8	南澤 重子	(長野)	須坂卓翔会
男子ローシックスティ				女子ローシックスティ			
1	大畑 正	(島根)	球心会	1	船ヶ山昌子	(愛知)	サクセス
2	佐伯 孝司	(広島)	ヨシダTTS	2	片岡 年子	(大阪)	みらくる
3	佐野 秀雄	(神奈川)	梅屋敷卓球クラブ	3	稲川 佳代	(東京)	COLOR
4	具志堅 一	(東京)	双葉苦楽部	4	日下部鈴子	(神奈川)	チャイム
5	小松 繁	(兵庫)	アトムズ	5	渡邊みち子	(兵庫)	兵庫卓研
6	旅田 和彦	(香川)	坂出卓研	6	有田 廣美	(大阪)	竹の子枚方クラブ
7	平野 泰幸	(滋賀)	甲賀卓友会	7	十川 早苗	(徳島)	徳島市観光協会
8	横田 貞義	(山口)	スリースター	8	舟山かつえ	(埼玉)	駒場クラブ
男子ハイシックスティ				女子ハイシックスティ			
1	三田村則明	(東京)	卓楓会	1	板谷 典子	(大阪)	HPC
2	甚野 道雄	(福島)	県北卓友会	2	吉垣 美保	(神奈川)	茶の実
3	長尾 正之	(北海道)	ナガオスポーツクラブ	3	片山登志子	(埼玉)	レインボー
4	吉田 雄三	(高知)	ヨシダスポーツ	4	山口 晴美	(愛知)	クローバー
5	勝 英雄	(大阪)	清友クラブ	5	高橋 邦子	(千葉)	千代田クラブ
6	井津 雅治	(東京)	友卓会	6	井上 君代	(奈良)	スカイブルー
7	広浜 泰久	(東京)	神馬クラブ	7	井置 節子	(神奈川)	藤沢レディース
8	新田 耕造	(兵庫)	兵庫ベテラン会	8	原田かづ子	(東京)	武蔵野クラブ
男子ローセブントィ				女子ローセブントィ			
1	鈴木 和久	(神奈川)	逗子クラブ	1	長澤 征代	(東京)	武蔵野クラブ
2	原田 正	(福岡)	博多ベテラン会	2	堀木 雪子	(千葉)	市川市レディース
3	中沢 信介	(東京)	平沼クラブ	3	武居 和子	(神奈川)	浜卓会
4	富金原 修	(東京)	チームDREAM	4	井上 順子	(大阪)	甲子園クラブ大阪
5	金田 勉	(新潟)	新潟如水会	5	山野目澄代	(東京)	個人
6	坂田 正義	(奈良)	わかくさクラブ	6	水谷 強子	(三重)	MIKKY
7	中村 提見	(埼玉)	サザンクロス	7	佐久間初子	(大分)	クローバー
8	宮本 煌	(福岡)	博多ベテラン会	8	福島 正子	(埼玉)	所沢レディース

男子ハイセブンティ				女子ハイセブンティ			
1	岩永 忠幸	(愛知)	扇卓球パーク	1	池田 章子	(大阪)	翡翠
2	玉山 昌右	(福井)	福井ベテラン会	2	大掛まさ美	(東京)	イーグルス
3	和田 紘一	(神奈川)	球楽会	3	新谷美恵子	(大阪)	こあら〜ず
4	黒田 幸彦	(宮城)	仙台萩クラブ	4	河路 悦子	(愛知)	AFクラブ
5	小浜 豊喜	(兵庫)	小浜クラブ	5	廣井 恵子	(埼玉)	T.くまがや
6	原田 武	(広島)	ヒロタクススポーツ	6	吉村美智子	(福岡)	COSMOS
7	佐々木秀男	(北海道)	室蘭ベテラン会	7	柴田 紀子	(東京)	サザンスターズ
8	楠木 敏孝	(広島)	広島県庁	8	太田 昭子	(石川)	大宗クラブ
男子ローエイティ				女子ローエイティ			
1	小川 晋	(東京)	卓翠会	1	安藤 節子	(東京)	武蔵野クラブ
2	秋田 勝	(大阪)	浜寺クラブ	2	池田 和子	(兵庫)	川西グリーン
3	正野 素行	(大阪)	大阪卓球ベテラン会	3	長瀬ちづ子	(愛知)	明誠クラブ
4	杉本 泰成	(富山)	ドンペリ	4	崔 花子	(東京)	練馬茜
5	内田 薫雄	(兵庫)	まるくらぶ	5	篠塚 弘子	(埼玉)	KTC
6	池内 祥治	(熊本)	SEIZANクラブ	6	原田 哲子	(山口)	柳友クラブ
7	奥原 靖夫	(山口)	下関卓協	7	白石 静子	(香川)	懇友会
8	唐橋 博	(東京)	代々木クラブ	8	古茂田正子	(東京)	飛鳥クラブ
男子ハイエイティ				女子ハイエイティ			
1	小林 昇	(岡山)	総社カルチャーセンター	1	梅林 千勢	(兵庫)	兵庫ベテラン会
2	永井 昭爾	(神奈川)	川崎ラージ	2	鈴木ハツ子	(福島)	福島サンクラブ
3	福見 章	(北海道)	大麻卓球クラブ	3	吉末 澄子	(山口)	防府アタッカーズ
4	植村 泰	(兵庫)	川西もくれん	4	服部 修子	(三重)	ケロヨン
5	渡瀬一三生	(静岡)	浜松ベテラン会	5	山崎季久子	(神奈川)	相模原レディース
6	犬塚 力	(愛知)	ロイヤルクラブ	6	井上 幸子	(滋賀)	八日市クラブ
7	神崎 榮蔵	(宮城)	栢江卓球同好会	7	村上 侑子	(北海道)	個人
8	仁尾 正康	(徳島)	眉山クラブ	8	竹本 良子	(広島)	アミーゴ

平成 28 年度 全日本社会人卓球選手権大会 男女ベスト 16
(30 歳以上の者が対象:昭和 62 年 4 月 1 日以前に生まれた者)

男子シングルス				女子シングルス			
1	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	1	森蘭 美月	(東京)	サンリツ
2	高木和 卓	(東京)	東京アート	2	永尾 堯子	(静岡)	アスモ
3	村松 雄斗	(東京)	東京アート	3	加藤 杏華	(岐阜)	十六銀行
4	平野 友樹	(東京)	協和発酵キリン	4	前田 美優	(大阪)	日本生命
5	加藤 由行	(愛媛)	(株)フジ	5	田代 早紀	(大阪)	日本生命
6	森田 侑樹	(東京)	シチズン	6	森 さくら	(大阪)	日本生命
7	横山 輝	(広島)	原田工業	7	平野 容子	(愛知)	豊田自動織機
8	伊関 健太	(長野)	岡谷市役所	8	森蘭 美咲	(東京)	日立化成
	張 一博	(東京)	東京アート		牛嶋 星羅	(茨城)	日立化成
	高岡諒太郎	(東京)	リコー		土田 美佳	(広島)	中国電力
バ	御内健太郎	(東京)	シチズン	バ	阿部 恵	(東京)	サンリツ
ス	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン	ス	大矢未早希	(東京)	サンリツ
ト	森 聡詩	(東京)	東京ガス(株)	ト	久野 理世	(岐阜)	十六銀行
16	軽部 隆介	(東京)	シチズン	16	平 侑里香	(東京)	サンリツ
	藤本 海統	(和歌山)	日鉄住金物流		松本 優希	(東京)	サンリツ
	森本 耕平	(東京)	協和発酵キリン		三宅菜津美	(広島)	中国電力

※全日本社会人選手権大会に出場する場合は、マスターズの部には出場できない。また、マスターズの部に出場する場合は、全日本社会人選手権大会には出場できない。

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)
③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約 (平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト16入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト4入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者	6 段

第 51 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 51 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）～5 日（日）
- (3) 会 場 ジップアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館）
JR「岡山」駅西口（運動公園口）よりバス 岡電バス岡山理科大学行 約 10 分
「スポーツセンター前」下車
〒700-0012 岡山県岡山市北区いずみ町 2-1-3
TEL：086-253-3944
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 岡山県卓球協会、岡山市卓球協会
- (6) 後 援 岡山県、岡山県教育委員会、（公財）岡山県体育協会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山市体育協会、
（予定）岡山県レディース卓球連盟、山陽新聞社、OHK 岡山放送
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。
（ダブルスのスーパーシードは設けない）
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 11 月 3 日（金） 9:00～ 開会式
9:30～ 男女ダブルス（1～5 回戦）
男女シングルス（1 回戦の一部）
4 日（土） 9:00～ 男女シングルス（1～5 回戦）
男女ダブルス（準決勝・決勝）
5 日（日） 9:00～ 男女シングルス（6 回戦～決勝）
15:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球；40 mm ホワイトのみとする。
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
⑤ゼッケンは平成 29 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成 29 年度（公財）日本卓球協会選手登録者
でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
③学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生及び生徒（大学院生は除く）は出場できない。ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部
に在籍、または、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものはこの限りではない。
④本年度の全日本卓球選手権大会（マスターズの部）への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
⑤各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
⑥外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き 10 年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑦無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルス部

(イ) 平成28年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女シングルスベスト16の者。

(ロ) 平成28年度全日本卓球選手権大会（一般の部）
男・女シングルスベスト16の者。

(ハ) クラブ委員会からの推薦者男・女各2名
平成29年度全日本クラブ選手権大会終了後に決定する。

◎ダブルス部

(イ) 平成28年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組。

(ロ) 平成28年度全日本卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組

(12) 参加人員 表1

区 分	種 目 都 道 府 県 名	男 子	女 子	男 子	女 子
		シ ン グ ル ス	シ ン グ ル ス	ダ ブ ル ス	ダ ブ ル ス
1	岡山(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡	10	10	5	5
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	8	8	4	4
3	大阪、広島、長崎	6	6	3	3
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、 富山、石川、三重、岐阜、滋賀、兵庫、奈良、鳥取、島根、山口、香川、 徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	2	2
5	青森、宮城、福井、和歌山	2	2	1	1

区分1：開催県及び平成28年度日卓協一般男女選手登録人員上位4加盟団体

区分2：平成28年度日卓協一般男女選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成28年度日卓協一般男女選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成28年度日卓協一般男女選手登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料 シングルス 1名 3,000円

ダブルス 1組 4,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめるものとする。）

原本を〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

コピーを〒710-1102 岡山県倉敷市茶屋町早沖548-3 河本 充昭 気付

岡山県卓球協会 宛

TEL: (086) 420-2121 FAX: (086) 420-2122

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

(15) 申込締切 平成29年9月11日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) その他 ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。

- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- ③ 開会式には原則として全員参加すること。
- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑥ 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

別表1

第50回（平成28年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス		女子シングルス	
1	上田 仁 (東 京) 協和発酵キリン	1	森菌 美月 (東 京) サンリツ
2	高木和 卓 (東 京) 東京アート	2	永尾 堯子 (静 岡) アスモ
3	村松 雄斗 (東 京) 東京アート	3	加藤 杏華 (岐 阜) 十六銀行
4	平野 友樹 (東 京) 協和発酵キリン	4	前田 美優 (大 阪) 日本生命
5	加藤 由行 (愛 媛) (株) フジ	5	田代 早紀 (大 阪) 日本生命
6	森田 侑樹 (東 京) シチズン	6	森 さくら (大 阪) 日本生命
7	横山 輝 (広 島) 原田工業	7	平野 容子 (愛 知) 豊田自動織機
8	伊関 健太 (長 野) 岡谷市役所	8	森菌 美咲 (東 京) 日立化成
	張 一博 (東 京) 東京アート		牛嶋 星羅 (茨 城) 日立化成
	高岡諒太郎 (東 京) リコー		土田 美佳 (広 島) 中国電力
ハ	御内健太郎 (東 京) シチズン	ハ	阿部 恵 (東 京) サンリツ
ス	笠原 弘光 (東 京) 協和発酵キリン	ス	大矢未早希 (東 京) サンリツ
ト	森 聡詩 (東 京) 東京ガス (株)	ト	久野 理世 (岐 阜) 十六銀行
16	軽部 隆介 (東 京) シチズン	16	平 侑里香 (東 京) サンリツ
	藤本 海統 (和歌山) 日鉄住金物流		松本 優希 (東 京) サンリツ
	森本 耕平 (東 京) 協和発酵キリン		三宅菜津美 (広 島) 中国電力
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	{ 松平 賢二 (東 京) 協和発酵キリン 上田 仁 (東 京) 協和発酵キリン	1	{ 平 侑里香 (東 京) サンリツ 松本 優希 (東 京) サンリツ
2	{ 久保田隆三 (東 京) シチズン 軽部 隆介 (東 京) シチズン	2	{ 土田 美佳 (広 島) 中国電力 宋 恵佳 (広 島) 中国電力
3	{ 濱川 明史 (和歌山) 日鉄住金物流 松下 海輝 (和歌山) 日鉄住金物流	3	{ 田代 早紀 (大 阪) 日本生命 前田 美優 (大 阪) 日本生命
4	{ 塩野 真人 (東 京) 東京アート 村松 雄斗 (東 京) 東京アート	4	{ 土井みなみ (広 島) 中国電力 土田 美紀 (広 島) 中国電力
5	{ 笠原 弘光 (東 京) 協和発酵キリン 森本 耕平 (東 京) 協和発酵キリン	5	{ 阿部 恵 (東 京) サンリツ 森菌 美月 (東 京) サンリツ
6	{ 松生 直明 (東 京) リコー 鹿屋 良平 (東 京) リコー	6	{ 若宮三紗子 (大 阪) 日本生命 森 さくら (大 阪) 日本生命
7	{ 森田 侑樹 (東 京) シチズン 神 巧也 (東 京) シチズン	7	{ 久野 理世 (岐 阜) 十六銀行 大森 玲奈 (岐 阜) 十六銀行
8	{ 張 一博 (東 京) 東京アート 高木和 卓 (東 京) 東京アート	8	{ 松澤茉里奈 (岐 阜) 十六銀行 高橋真梨子 (岐 阜) 十六銀行

平成 28 年度全日本卓球選手権大会ツキグによる推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東京)	beacon. LAB	1	平野 美宇	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
2	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学	2	石川 佳純	(山口)	全農
3	吉田 海偉	(埼玉)	Global Athlete Project	3	橋本帆乃香	(大阪)	四天王寺高校
4	平野 友樹	(東京)	協和発酵キリン	4	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
5	神 巧也	(東京)	シチズン時計	5	鈴木 李茄	(東京)	専修大学
6	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	6	松澤茉里奈	(岐阜)	十六銀行
7	龍崎 東寅	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	7	石垣 優香	(東京)	日本生命
8	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校	8	三宅菜津美	(広島)	中国電力
9	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	9	永尾 堯子	(静岡)	アスモ
10	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	10	安藤みなみ	(東京)	専修大学
11	吉村 真晴	(茨城)	名古屋ダイハツ	11	小道野 結	(静岡)	アスモ
12	坪井 勇磨	(茨城)	筑波大学	12	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
13	碓塚 将人	(東京)	早稲田大学	13	森蘭 美月	(東京)	サンリツ
14	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン	14	加藤 杏華	(岐阜)	十六銀行
15	御内健太郎	(東京)	シチズン時計	15	森蘭 美咲	(東京)	日立化成
16	緒方遼太郎	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	16	前田 美優	(大阪)	日本生命
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	1	平田 有貴	(静岡)	アスモ
	酒井明日翔	(東京)	明治大学		永尾 堯子	(静岡)	アスモ
2	藤村 友也	(愛知)	愛知工業大学	2	土田 美佳	(広島)	中国電力
	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学		宋 恵佳	(広島)	中国電力
3	水谷 隼	(東京)	beacon. LAB	3	若宮三紗子	(大阪)	日本生命
	吉田 雅己	(愛知)	愛知工業大学		森 さくら	(大阪)	日本生命
4	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校	4	山本 怜	(東京)	中央大学
	松山 祐季	(愛知)	愛工大名電高校		明神 佑実	(東京)	中央大学
5	張 一博	(東京)	東京アート	5	政本ひかり	(京都)	同志社大学
	高木和 卓	(東京)	東京アート		朝田 茉依	(京都)	同志社大学
6	松生 直明	(東京)	リコー	6	田代 早紀	(大阪)	日本生命
	鹿屋 良平	(東京)	リコー		前田 美優	(大阪)	日本生命
7	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー	7	阿部 愛莉	(東京)	早稲田大学
	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー		徳永 美子	(東京)	早稲田大学
8	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	8	平 侑里香	(東京)	サンリツ
	渡辺 裕介	(東京)	明治大学		松本 優希	(東京)	サンリツ

クラブ委員会推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 ()	1 ()
2 ()	2 ()

全国教職員連盟推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 ()	1 ()
男子ダブルス	女子ダブルス
1 {	1 {

注 1) 段級制規程要約

段位取得について (平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)
 ③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約 (平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者	2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者	3 段
(エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 16 入り経験者	4 段
(オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト 4 入賞経験者	5 段
(カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者	6 段

JOCジュニアオリンピックカップ2017

平成29年度全日本卓球選手権大会(カデットの部) 実施要項

- (1) 名称 JOCジュニアオリンピックカップ 2017 平成29年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)
- (2) 期日 平成29年11月10日(金)～12日(日)
- (3) 会場 熊本県立総合体育館 JR鹿児島本線「上熊本」駅より徒歩5分
〒860-0079 熊本県熊本市西区上熊本1-9-28
TEL:096-356-1233 FAX:096-356-1262
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 熊本県卓球協会
- (6) 後援 (公財)日本オリンピック委員会〔JOC〕、熊本県、熊本県教育委員会、
(公財)熊本県体育協会、熊本市、熊本市教育委員会、NHK熊本放送局、RKK熊本放送、
TKUテレビ熊本、KKT熊本県民テレビ、KAB熊本朝日放送、熊本日日新聞社 (予定)
- (7) 競技種目
①13歳(中学1年生)以下男子シングルス
②13歳(中学1年生)以下女子シングルス
③14歳(中学2年生)以下男子シングルス
④14歳(中学2年生)以下女子シングルス
⑤男子ダブルス
⑥女子ダブルス
- (8) 試合方法 全試合、11ポイント、5ゲームマッチのトーナメント方式で行う。
- (9) 競技日程
- | | | | |
|--|-----------|---------------|------------|
| | 11月10日(金) | 9:15～ 開会式 | |
| | | 10:00～ 男女ダブルス | 1回戦～5回戦まで |
| | | 男女シングルス | 1回戦(13歳以下) |
| | | 女子シングルス | 1回戦(14歳以下) |
| | 11日(土) | 9:00～ 男女ダブルス | 準決勝～決勝まで |
| | | 男女シングルス | 1～3・4回戦 |
| | 12日(日) | 9:00～ 男女シングルス | 決勝まで |
| | | 13:45～ 閉会式 | |
- (10) 競技ルール
①現行の日本卓球ルールによる。
②テーブルはグリーン又はブルーを使用する。
③使用球は、JTТА公認プラスチック球；40mm ホワイトのみとする。
④ゼッケンは平成29年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2種類以上のユニホームを持参すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАが公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
①参加者は平成29年度(公財)日本卓球協会選手登録したものであること。
②13歳以下の部は中学1年生以下で平成16年4月2日以降生まれたものであること。
14歳以下の部は中学2年生以下で平成15年4月2日以降生まれたものであること。
該当年齢より下のものも予選会に出場し代表権を得れば出場できるが、シングルスは13歳以下または、14歳以下どちらか1種目に限る。
ダブルスは同一都道府県で平成15年4月2日以降生まれたものであれば誰とでも組むことができる。
③選手は登録されている当該都道府県より、各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
④次に該当するものは割当人数以外に予選会を経ないで、()内の種目に参加することができる。
(ア)平成28年度全日本カデットのランキング保持者または平成29年度全国中学校卓球大会ランキング保持者で現在2年生の者。(14歳以下の部に)
(イ)平成28年度全日本カデットのランキング保持者または平成29年度全国中学校卓球大会のランキング保持者で現在1年生以下の者。
(13歳以下または14歳以下の部に)
(ウ)平成29年度全日本ホープスランキング保持者の者。
(13歳以下の部に)
(エ)平成28年度ダブルスランキングを保持している組で現在中学2年生以下の組。
(ダブルスに)
(オ)ナショナルチーム(ジュニア、ホープス含む)に所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。また、強化本部の要請などにより(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。
※カプランキングの選手は対象にならない。又、ジュニアナショナルチームに所属する選手が国際試合、海外遠征等で予選会に出場できない場合は、(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。ただし、これらの選手も必ず都道府県卓球協会(連盟)を通じて申し込むこと。

(12) 参加数 ①下表のとおり

13歳以下及び14歳以下シングルス男女各		ダブルス男女各	
都道府県名	人数	都道府県名	組数
熊本（開催地）、千葉、神奈川、静岡	7名	熊本（開催地）、千葉、神奈川、静岡	6組
北海道、兵庫	6名	北海道、茨城、兵庫	5組
茨城	5名	福島、埼玉、新潟、愛知	4組
福島、栃木、埼玉、新潟、愛知、岐阜	4名	宮城、栃木、群馬、東京、長野、岐阜、福岡	3組
宮城、群馬、東京、長野、大阪、山口、福岡	3名	青森、岩手、秋田、山形、石川、三重、京都	2組
青森、岩手、秋田、山形、山梨、富山、石川、福井、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2名	大阪、奈良、岡山、山口、徳島、愛媛、佐賀、長崎、大分、鹿児島	1組
		山梨、富山、福井、滋賀、和歌山、鳥取、島根、広島、香川、高知、宮崎、沖縄	

②特別推薦枠 前記の人数以外に各都道府県に競技種目①～④のうちいずれか1種目に限り1名の推薦枠を設ける。但し、ペンホルダー選手※に限る。尚、申込書備考欄に「特別枠」と明記すること。

※特別推薦枠の対象となるペンホルダー選手について

- 予選大会でシェークハンドであった選手をペンホルダーに変えて推薦するようなことは認められない。
- 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は避けること。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ないものとする。
- ③ランキングによる加算：平成28年度本大会の各種目のランキング8名（組）の内に2名（組）以上のランキング者（組）を持つ加盟団体（別紙ランキング表に太字で表示）は、当該種目に限り2名（組）につき1名（組）追加して申し込むことができる。申込書備考欄に「加算枠」と明記すること。但し、エリートアカデミー所属のランキング者（組）は対象としない。

(13) 参加料 シングルス 1人 3,000円
ダブルス 1組 4,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛に申し込むこと。
尚、参加料は書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会）
（個人またはチームからの申込および参加料の送金ははしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛
TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373
コピーを 〒862-0950 熊本県熊本市水前寺1-15-4 ダイコー水前寺駅通り3 (1F)
熊本県卓球協会
TEL : (096) 387-2299 FAX : 096-387-2301
申込先メール : tta-kumamoto@bz01.plala.or.jp
主管地へはできる限り、Eメールでお申込み下さい。
なお、大会申込システムを使用の場合は、通常通りシステム内容を郵送またはFAXで送付。

(15) 申込締切 平成29年9月26日（火）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

(16) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
旅行代理店 生協法人ユニオントラベル 担当 吉田・唐田
TEL : 096-371-2022 FAX : 096-363-2866

(17) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切後の変更は原則として認めない。
②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
③病气、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
⑤個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

平成 28 年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）ランキング

13歳以下男子シングルス				13歳以下女子シングルス			
1	濱田 一輝	(高知)	高知大学附属中学校	1	木原 美悠	(兵庫)	ALL STAR
2	鈴木 颯	(山形)	鈴木卓球	2	中森 帆南	(大阪)	ミキハウスJSC
3	田原 翔太	(大分)	明豊中学校	3	菅澤柚花里	(大阪)	ミキハウスJSC
4	徳田 幹太	(愛媛)	伊予つばさjr	4	横井 咲桜	(岐阜)	O. T. T. C
5	安江 光博	(高知)	明德義塾中・高校	5	東川 陽菜	(広島)	尾道向東小学校
6	原田 春樹	(福岡)	石田卓球クラブ	6	伊藤 百華	(香川)	ヴィスポことひら
7	篠塚 大登	(愛知)	愛工大附属中学校	7	由本 楓羽	(岡山)	ねや卓球クラブ
8	前出 陸社	(三重)	松生TTC	8	泉田 和抄	(埼玉)	協和発酵キリンTTS
14歳以下男子シングルス				14歳以下女子シングルス			
1	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー	1	長崎 美柚	(東京)	JOCエリートアカデミー
2	曾根 翔	(愛知)	愛工大附属中学校	2	相馬 夢乃	(新潟)	新発田ジュニア
3	小林 広夢	(愛知)	愛工大附属中学校	3	本井 明梨	(京都)	YHGアスリートクラブ
4	松田 歩真	(山口)	野田学園中学校	4	門阪彩愛奈	(静岡)	浜松修学舎中学校
5	横谷 晟	(愛知)	愛工大附属中学校	5	小畑 美月	(神奈川)	横浜隼人中学校
6	手塚 峻馬	(高知)	明德義塾中・高校	6	山本 愛織	(滋賀)	平ジュニア
7	荒井 和也	(福岡)	石田卓球クラブ	7	森 愛美	(愛知)	美崎クラブ
8	渡辺 凱	(新潟)	糸魚川ジュニア	8	大川 真実	(大阪)	ミキハウスJSC
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	横谷 晟	(愛知)	愛工大附属中学校	1	大川 真実	(大阪)	ミキハウスJSC
	篠塚 大登	(愛知)	愛工大附属中学校		中森 帆南	(大阪)	ミキハウスJSC
2	曾根 翔	(愛知)	愛工大附属中学校	2	津隈 愛佳	(兵庫)	ALL STAR
	小林 広夢	(愛知)	愛工大附属中学校		木原 美悠	(兵庫)	ALL STAR
3	大島 史也	(愛知)	愛工大附属中学校	3	森廣 伽衣	(福井)	フェニックス卓球クラブ
	岡野 俊介	(愛知)	愛工大附属中学校		大藤 沙月	(福井)	フェニックス卓球クラブ
4	白山 遼	(愛知)	愛工大附属中学校	4	麻生 麗名	(大阪)	昇陽中学校
	谷垣 佑真	(愛知)	愛工大附属中学校		杉田 陽南	(大阪)	昇陽中学校
5	中村 和覇	(大分)	明豊中学校	5	高橋あかり	(大阪)	ミキハウスJSC
	岩間 充晃	(大分)	明豊中学校		萩井菜津子	(大阪)	ミキハウスJSC
6	荒井 和也	(福岡)	石田卓球クラブ	6	川本菜乃花	(岡山)	山陽女子中学校
	米倉 勝	(福岡)	石田卓球クラブ		末貞 陽和	(岡山)	山陽女子中学校
7	内田 柗平	(山口)	野田学園中学校	7	原田 夏鈴	(京都)	黄檗中学校
	松田 歩真	(山口)	野田学園中学校		大槻 琴音	(京都)	綾部紫遊クラブ
8	山道 和貴	(大阪)	真価TTC	8	金本 茉実	(山口)	玖珂中学校
	川村 康人	(大阪)	真価TTC		日浦 愛佳	(山口)	玖珂中学校

平成 29 年度全日本卓球選手権大会（ホープスの部）ランキング

ホープス男子		ホープス女子	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

平成 29 年度 全国中学校卓球大会 ランキング

男子		女子	
1	() 中学校	1	() 中学校
2	() 中学校	2	() 中学校
3	() 中学校	3	() 中学校
4	() 中学校	4	() 中学校
5	() 中学校	5	() 中学校
6	() 中学校	6	() 中学校
7	() 中学校	7	() 中学校
8	() 中学校	8	() 中学校

天皇杯・皇后杯
平成 29 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部） 実施要項

- (1) 名 称 天皇杯・皇后杯 平成 29 年度全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 平成 30 年 1 月 15 日（月）～21 日（日） 7 日間
 (3) 会 場 東京体育館（JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅、都営大江戸線「国立競技場」駅 下車徒歩 1 分）
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL: (03) 5474-2111
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 東京都卓球連盟
 (6) 協 賛 未定
 (7) スポーツ振興助成 一般財団法人上月財団
 (8) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルス
 (9) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男女シングルスは第 1 ステージは 11 ポイント 5 ゲームマッチ、第 2 ステージ（ベスト 32 決定戦以降）
 は 11 ポイント 7 ゲームマッチ、他の種目はすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチで行なう。
 (10) 競技日程 後日主管団体より連絡する。
 (11) 参加人員 下記表のとおり

表－ (1)

加盟団体	男子 単	女子 単	男子 複	女子 複	混 合 複
東京（開催地）、愛知	10	10	5	5	5
北海道	8	8	4	4	4
静岡、福岡	7	7	4	4	4
埼玉、神奈川	6	6	3	3	3
京都、大阪	5	5	3	3	3
千葉、兵庫、岡山、広島	4	4	2	2	2
山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、長野、山口、長崎、熊本、大分、鹿児島	3	3	2	2	2
青森、岩手、宮城、秋田、山梨、富山、石川、福井、三重、岐阜、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、宮崎、沖縄	2	2	1	1	1

表－ (2)

加盟団体名	ジュニア男子	ジュニア女子
東京（開催地）、千葉、神奈川、愛知	8	8
北海道、静岡、兵庫	7	7
茨城、埼玉	6	6
福島	5	5
宮城、栃木、群馬、新潟、長野、岐阜、大阪、福岡	4	4
岩手、山形、三重、京都、岡山、広島、山口、愛媛	3	3
青森、秋田、山梨、富山、石川、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、香川、徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2

表－ (3) ブロック推薦数（男女シングルスまたはジュニア男女いずれか 1 種目）

	北海道	東 北	関 東	北信越	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州
男 子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女 子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

- (12) 参加資格 ①参加者は、平成 29 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
- ②男女シングルス、ジュニア男女、男女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。但し、ジュニア男女、男女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の 1 つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
- (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。
- (ロ) 日本で生まれたもので引き続き 3 年以上、日本に住所又は居所を有するもの。又はその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
- (ハ) 引き続き 10 年以上日本に居所を有する者。
- (ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から 3 年を経過し、かつ引き続き 1 年以上日本に住所を有する者。
- ③各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
- ④日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の 2 ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙を FAX する事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。
- ⑤ジュニアは、平成 12 年 4 月 2 日以降に生まれた者であること。（高校 2 年生以下）
- ⑥本年度の全日本選手権大会（カデット以下の部）に出場した者でも、都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
- ⑦同一人の同一種目について予選会出場は 1 ヶ所限りとする。
- ※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
- ⑧無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	平成28年度全日本選手権大会ランキング	男女シングルス・男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生は・・・一般に
2		平成28年度総合ランキング	男女シングルスランキング各16位まで・・・男女各シングルスに
3		*平成29年度全日本社会人選手権大会ランキング	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
4		平成28年度全日本（カデット）ランキング	14歳（中学2年）以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳（中学1年）以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
5		平成29年度全国中学校	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
6	日本リーグ	*平成29年度日本リーグ	男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に
7	日学連	*平成29年度全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで、男女ダブルスランキング各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
8	高体連	*平成29年度全国高校選手権大会	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各4組まで・・・男女ダブルスに
1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。 2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。			

- (13) 競技ルール
- ① 現行の日本卓球ルールによる。
 - ② 組合せ全体を通して、所属チームに関する均等配分を優先する原則と、都道府県の均等配分の原則が適用される。但し、ランキング選手（一般シングルス種目の上位 16 シード、ダブルス種目の上位 8 シード、ジュニア種目の上位 8 シード）はフリー抽選とする。
 - ③ 一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルのランキング推薦選手はベスト 32 決定戦より、ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト 16 決定戦よりスーパーシードとして出場する。但し、推薦選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
 - ④ 一般男女シングルスでは、ベスト 32 決定戦からを第 2 ステージ扱いとする。
 - ⑤ テーブルはグリーンもしくはブルーを使用する。
 - ⑥ 使用球は、本会が指定した統一球を使用する。
 - ⑦ ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
 - ⑧ 同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを 2 種類以上持参すること。
 - ⑨ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
 - ⑩ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
※フロアマットを使用することがある。
- (14) 参加料
- | | | |
|-------|-----|---------|
| シングルス | 1 名 | 3,000 円 |
| ダブルス | 1 組 | 4,000 円 |
- (15) 申込方法
- 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団团长捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
（公財）日本卓球協会 宛
TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373
コピーを 〒160-0023 新宿区西新宿 7-18-5 中央第 7 西新宿ビル 402 号室
東京都卓球連盟 宛
TEL: (03) 5389-2965、FAX: (03) 5389-2987
- ① 推薦出場の選手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
 - ② 卒業高等学校所在地から予選会を経て獲得したものについては、その都道府県から申込み、ランキング推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをする事。
 - ③ ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう十分に注意すること。
- (16) 申込締切
- 平成 29 年 11 月 14 日（火）必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。
- (17) 宿 泊
- 東京都卓球連盟ホームページをご覧ください。
- (18) そ の 他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は原則として認めない。又、組み合わせ抽選決定後は一切認めない。
 - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛連絡すること。
棄権する場合は、理由を付して当該加盟団团长あて文書を持って届け出ること。そして、加盟団团长は、その旨をただちに本会あて通知すること。
 - ③ 開会式には原則として全員参加すること。
 - ④ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑤ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急承知はしますが、各自の責任に帰することとします。
 - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

⑦ 本競技大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。また、未成年である本競技会（一般の部）参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者の同意書を提出する必要がある。同意書の提出なく本競技会に参加することは出来ない。尚、以前に親権者の同意書を提出した参加者は、本年再度提出する必要はない

本競技会 参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合は、日本ドーピング防止規則に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

① 平成28年度 全日本選手権大会ランキング (申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東京)	beacon.LAB	1	平野 美宇	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
2	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学	2	石川 佳純	(山口)	全農
3	吉田 海偉	(埼玉)	Global Athlete Project	3	橋本帆乃香	(大阪)	四天王寺高校
4	平野 友樹	(東京)	協和発酵キリン	4	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
5	神 巧也	(東京)	シチズン時計	5	鈴木 李茄	(東京)	専修大学
6	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン	6	松澤茉里奈	(岐阜)	十六銀行
7	龍崎 東寅	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	7	石垣 優香	(東京)	日本生命
8	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校	8	三宅菜津美	(広島)	中国電力
9	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	9	永尾 堯子	(静岡)	アスモ
10	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	10	安藤みなみ	(東京)	専修大学
11	吉村 真晴	(茨城)	名古屋ダイハツ	11	小道野 結	(静岡)	アスモ
12	坪井 勇磨	(茨城)	筑波大学	12	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
13	礒塚 将人	(東京)	早稲田大学	13	森蘭 美月	(東京)	サンリツ
14	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン	14	加藤 杏華	(岐阜)	十六銀行
15	御内健太郎	(東京)	シチズン時計	15	森蘭 美咲	(東京)	日立化成
16	緒方遼太郎	(東京)	JOCエリートアカデミー/帝京	16	前田 美優	(大阪)	日本生命
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	丹羽 孝希	(東京)	明治大学	1	平田 有貴	(静岡)	アスモ
	酒井明日翔	(東京)	明治大学		永尾 堯子	(静岡)	アスモ
2	藤村 友也	(愛知)	愛知工業大学	2	土田 美佳	(広島)	中国電力
	吉村 和弘	(愛知)	愛知工業大学		宋 恵佳	(広島)	中国電力
3	水谷 隼	(東京)	beacon.LAB	3	若宮三紗子	(大阪)	日本生命
	吉田 雅己	(愛知)	愛知工業大学		森 さくら	(大阪)	日本生命
4	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校	4	山本 怜	(東京)	中央大学
	松山 祐季	(愛知)	愛工大名電高校		明神 佑実	(東京)	中央大学
5	張 一博	(東京)	東京アート	5	政本ひかり	(京都)	同志社大学
	高木和 卓	(東京)	東京アート		朝田 茉依	(京都)	同志社大学
6	松生 直明	(東京)	リコー	6	田代 早紀	(大阪)	日本生命
	鹿屋 良平	(東京)	リコー		前田 美優	(大阪)	日本生命
7	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー	7	阿部 愛莉	(東京)	早稲田大学
	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー		徳永 美子	(東京)	早稲田大学
8	森蘭 政崇	(東京)	明治大学	8	平 侑里香	(東京)	サンリツ
	渡辺 裕介	(東京)	明治大学		松本 優希	(東京)	サンリツ
	笠原 弘光	(東京)	協和発酵キリン		佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
	森本 耕平	(東京)	協和発酵キリン		橋本帆乃香	(大阪)	四天王寺高校
	濱川 明史	(和歌山)	日鉄住金物流		松澤茉里奈	(岐阜)	十六銀行
	松下 海輝	(和歌山)	日鉄住金物流		高橋真梨子	(岐阜)	十六銀行
ベ	松浦 佑紀	(広島)	原田鋼業	ベ	阿部 恵	(東京)	サンリツ
	中林 滉貴	(広島)	原田鋼業		森蘭 美月	(東京)	サンリツ
ス	上江洲光志	(愛知)	愛知工業大学	ス	梅村 優香	(大阪)	四天王寺高校
	松下 大星	(愛知)	愛知工業大学		塩見 真希	(大阪)	四天王寺高校
ト	松平 賢二	(東京)	協和発酵キリン	ト	鳥居 夕華	(愛媛)	愛媛銀行
	上田 仁	(東京)	協和発酵キリン		藤井 優子	(愛媛)	愛媛銀行
16	塩野 真人	(東京)	東京アート	16	堀 優美	(熊本)	専修大学
	村松 雄斗	(東京)	東京アート		松岡 優香	(熊本)	慶誠高校
	久保田隆三	(東京)	シチズン時計		楠川 愛子	(愛知)	愛知工業大学
	軽部 隆介	(東京)	シチズン時計		石田 葵	(愛知)	愛知工業大学
	英田 理志	(神奈川)	信号器材		鈴木 李茄	(東京)	専修大学
	厚谷 武志	(神奈川)	信号器材		安藤みなみ	(東京)	専修大学
混合ダブルス				ジュニア男子			
1	田添 健汰	(東京)	専修大学	1	木造 勇人	(愛知)	愛工大名電高校
	前田 美優	(大阪)	日本生命	2	宮本 春樹	(愛知)	愛工大名電高校
2	吉村 真晴	(茨城)	名古屋ダイハツ	3	高見 真己	(愛知)	愛工大名電高校
	石川 佳純	(山口)	全農	4	沼村 齊弥	(山口)	野田学園高校
3	時吉 佑一	(愛媛)	ZEOS	5	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー
	藤井 優子	(愛媛)	愛媛銀行	6	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー
4	横山 輝	(広島)	原田鋼業	7	五十嵐史弥	(石川)	遊学館高校
	土田 美佳	(広島)	中国電力	8	柏 友貴	(岡山)	関西高校
5	及川 瑞基	(東京)	専修大学				
	安藤みなみ	(東京)	専修大学				
6	中林 滉貴	(広島)	原田鋼業				
	宋 恵佳	(広島)	中国電力				
7	田中 佑汰	(愛知)	愛工大名電高校				
	田中 千秋	(愛知)	早稲田大学				
8	岡田 峻	(長野)	岡谷市役所				
	古川 聖	(長野)	東京富士大学				
				ジュニア女子			
				1	笹尾明日香	(神奈川)	横浜隼人高校
				2	長崎 美柚	(東京)	JOCエリートアカデミー
				3	加藤 美優	(東京)	吉祥寺卓球倶楽部
				4	早田 ひな	(福岡)	希望が丘高校
				5	梅村 優香	(大阪)	四天王寺高校
				6	塩見 真希	(大阪)	四天王寺高校
				7	木村 光歩	(岡山)	山陽女子高校
				8	伊藤佑希子	(北海道)	札幌大谷高校

② 平成 28 年度 全日本卓球総合ランキング

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東 京)	beacon. LAB	1	森薊 美月	(東 京)	サンリツ
2	木造 勇人	(愛 知)	愛工大名電高校	2	平野 美宇	(東 京)	JOCエリートアカデミー/大原学園
3	高木和 卓	(東 京)	東京アート	3	宋 恵佳	(広 島)	中国電力
4	平野 友樹	(東 京)	協和発酵キリン	4	森薊 美咲	(東 京)	日立化成
5	吉村 和弘	(愛 知)	愛知工業大学	5	土田 美佳	(広 島)	中国電力
6	上田 仁	(東 京)	協和発酵キリン	6	永尾 堯子	(静 岡)	アスモ
7	張 一博	(東 京)	東京アート	7	加藤 杏華	(岐 阜)	十六銀行
8	丹羽 孝希	(東 京)	明治大学	7	鈴木 李茄	(東 京)	専修大学
9	神 巧也	(東 京)	シチズン時計	9	石川 佳純	(山 口)	全農
10	松下 海輝	(和歌山)	日鉄住金物流	9	成木 綾海	(京 都)	同志社大学
11	宇田 幸矢	(東 京)	JOCエリートアカデミー	11	土井みなみ	(広 島)	中国電力
12	大矢 英俊	(東 京)	東京アート	12	橋本帆乃香	(大 阪)	四天王寺高校
12	吉田 雅己	(愛 知)	愛知工業大学	13	松澤茉里奈	(岐 阜)	十六銀行
14	高見 真己	(愛 知)	愛工大名電高校	14	安藤みなみ	(東 京)	専修大学
15	吉田 海偉	(埼 玉)	Global Athlete Project	14	早田 ひな	(福 岡)	希望が丘高校
16	緒方遼太郎	(東 京)	JOCエリートアカデミー/帝京	14	前田 美優	(大 阪)	日本生命
16	坪井 勇磨	(茨 城)	筑波大学				
16	御内健太郎	(東 京)	シチズン時計				

③ 平成 29 年度 第 51 回全日本社会人卓球選手権大会ベスト 8 (男女ダブルスベスト 4) (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

④ 平成 28 年度 全日本 (カデット 14 歳以下の部) ランキングよりジュニアへの推薦
(申込みは都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス				14歳以下女子シングルス			
1	張本 智和	(東 京)	JOCエリートアカデミー	1	長崎 美柚	(東 京)	JOCエリートアカデミー
2	曾根 翔	(愛 知)	愛工大附属中学校	2	相馬 夢乃	(新 潟)	新発田ジュニア
3	小林 広夢	(愛 知)	愛工大附属中学校	3	本井 明梨	(京 都)	YHGアスリートクラブ
4	松田 歩真	(山 口)	野田学園中学校	4	門阪彩愛奈	(静 岡)	浜松修学舎中学校
5	横谷 晟	(愛 知)	愛工大附属中学校	5	小畑 美月	(神奈川)	横浜隼人中学校
6	手塚 峻馬	(高 知)	明德義塾中・高校	6	山本 愛織	(滋 賀)	平ジュニア
7	荒井 和也	(福 岡)	石田卓球クラブ	7	森 愛美	(愛 知)	美崎クラブ
8	渡辺 凱	(新 潟)	糸魚川ジュニア	8	大川 真実	(大 阪)	ミキハウスJSC

⑤ 平成 29 年度 第 48 回全国中学校卓球大会 ランキング (申し込みは都道府県から)

男 子		女 子	
1	() 中学校	1	() 中学校
2	() 中学校	2	() 中学校
3	() 中学校	3	() 中学校
4	() 中学校	4	() 中学校
5	() 中学校	5	() 中学校
6	() 中学校	6	() 中学校
7	() 中学校	7	() 中学校
8	() 中学校	8	() 中学校

⑥ 平成 29 年度 日本リーグ実業団連盟からの推薦 (申し込みは都道府県から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑦ 平成 29 年度 第 84 回全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部) よりの推薦 (申し込みは都道府県から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
~		~	
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑧平成 29 年度 第 85 回全国高等学校選手権大会よりの推薦（申込みは都道府県卓から）

（注） J：ジュニアに推薦

★：一般・ジュニア共推薦対象にならない選手

男子シングルス		女子シングルス	
J 1	() 高校	J 1	() 高校
J 2	() 高校	J 2	() 高校
3	() 高校	3	() 高校
J 4	() 高校	J 4	() 高校
5	() 高校	5	() 高校
6	() 高校	6	() 高校
7	() 高校	7	() 高校
8	() 高校	8	() 高校
J 9	() 高校	J 9	() 高校
J 10	() 高校	J 10	() 高校
J 11	() 高校	J 11	() 高校
★12	() 高校	★12	() 高校
J 13	() 高校	J 13	() 高校
J 14	() 高校	J 14	() 高校
J 15	() 高校	J 15	() 高校
J 16	() 高校	J 16	() 高校
ベスト32 (2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで)		ベスト32 (2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで)	
Jベ	() 高校	Jベ	() 高校
Jス	() 高校	Jス	() 高校
Jト	() 高校	Jト	() 高校
J 32	() 高校	J 32	() 高校
J	() 高校	J	() 高校
J	() 高校	J	() 高校
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() 高校 () 高校	1 {	() 高校 () 高校
2 {	() 高校 () 高校	2 {	() 高校 () 高校
3 {	() 高校 () 高校	3 {	() 高校 () 高校
4 {	() 高校 () 高校	4 {	() 高校 () 高校

注 1) 段級制規程要約

段位取得について（平成 4 年 3 月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）
③全日本選手権大会（一般・ジュニア） ④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会

上記 5 大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の 70 歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
(ア) 初出場者 初段
(イ) 同一大会 3 回目出場者 2 段
(ウ) 同一大会 5 回目出場者 3 段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 16 入り経験者 4 段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト 4 入賞経験者 5 段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者 6 段

※段位の申請につきましては、その年度に登録されている都道府県協会（連盟）を通じてお申込みいただきますようお願いいたします。

第 20 回全国レディース卓球フェスティバル 実施要項

- (1) 名称 第 20 回全国レディース卓球フェスティバル
 (2) 期 日 平成 30 年 2 月 27 日（火）～28 日（水）
 (3) 会 場 大阪市中央体育館（朝潮橋駅下車徒歩 5 分）
 〒552-0005 大阪市港区田中 3 丁目 1 番 40 号 TEL：（06）6576-0800
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 NPO 法人大阪卓球協会・大阪レディース卓球連盟
 (6) 競技種目 ①団体戦（2 単 1 複）

- （かんな）選手 4 名の合計年齢が 220 歳までのチーム
 （ききょう）選手 4 名の合計年齢が 221 歳～240 歳までのチーム
 （くちなし）選手 4 名の合計年齢が 241 歳～260 歳までのチーム
 （けいとう）選手 4 名の合計年齢が 261 歳～280 歳までのチーム
 （こすもす）選手 4 名の合計年齢が 281 歳以上のチーム

※但し、合計年齢が多いチームの合計年齢の少ない種目への出場を認める。

②個人戦

- （1 部）30～44 歳 昭和 49 年 4 月 2 日～昭和 63 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （2 部）45～49 歳 昭和 43 年 4 月 2 日～昭和 48 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （3 部）50～54 歳 昭和 38 年 4 月 2 日～昭和 43 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （4 部）55～59 歳 昭和 33 年 4 月 2 日～昭和 38 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （5 部）60～64 歳 昭和 28 年 4 月 2 日～昭和 33 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （6 部）65～69 歳 昭和 23 年 4 月 2 日～昭和 28 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （7 部）70～74 歳 昭和 18 年 4 月 2 日～昭和 23 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （8 部）75～79 歳 昭和 13 年 4 月 2 日～昭和 18 年 4 月 1 日の間に生まれた者
 （9 部）80 歳～ 昭和 13 年 4 月 1 日以前に生まれた者

の 9 つの部に分かれ、各都道府県の卓球協会（連盟）より選出または推薦された選手で試合を行う。年齢の低い種目への出場を認める。年齢は平成 30 年 4 月 1 日現在の年齢で各種目の年齢に該当するもの。

(7) 参加数

①団体戦

各都道府県における参加チーム数に制限はない。
 同一都道府県内の選手なら、特別チームを編成して参加することができる。
 レディース委員会が認めた韓国、中国の招待チームが参加することができる。

②個人戦（シングルス）

団体戦、個人戦の両方に重複して出場することはできない。
 参加数により本会および主管団体が人数の調整をすることがある。
 レディース委員会が認めた韓国の招待選手が参加することができる。

都道府県名	種 目	1部・2部 ・8部・9部	6部 7部	3部・4部 5部
北海道・埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡		2名	4名	4名
その他の県		2名	3名	2名

(8) 試合方法

①団体戦

(イ) チーム編成

選手 4～5 名を登録し、競技は 2 シングルス 1 ダブルスで行う。出場選手 4 名は各種目の合計年齢の範囲内でオーダーを組むこととする。

(ロ) オーダー順序

1 2 3
 シングルス ダブルス シングルス

出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできないが、試合ごとに変更することは自由である。

(ハ) 試合方法

各部とも第 1 次ステージ（リーグ戦）を行い、その後順位別決勝リーグあるいは第 2 次ステージ（トーナメント）を行う。
 ※第 1 次ステージ（リーグ戦）においては勝敗が決定しても最後の試合まで行い、最終結果の記録により順位を決定する。

②個人戦（シングルス）

各部ごとにトーナメント戦、あるいは参加数によっては第 1 次ステージ（リーグ戦）を行った後、第 2 次ステージ（トーナメント）あるいはリーグ戦により順位を決定する。

- (9)表彰 団体、個人とも1位トーナメントのベスト4を表彰する。但し参加数により変更する場合があります。
個人戦の部の各部優勝者をもってさらにトーナメントを行い、その優勝者に「オーレ大賞」を授与する。
- (10)競技日程 2月27日(火) 団体戦・個人戦 第1次ステージ(リーグ戦)
28日(水) 団体戦・個人戦 各部決勝までと「オーレ大賞」決定まで
- (11)競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
各試合は、11ポイント5ゲームで行う。
②卓球台はグリーン又はブルーを使用する。
③同色のユニホームによる対戦をさけるため2種類以上の色の違うユニホームを持参すること。
④使用球は、JTТА公認プラスチック球;40mmホワイトのみとする。
⑤ゼッケンは平成29年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАが公認した接着剤のみを使用すること。
- (12)参加資格 (イ)参加年齢は30歳以上の女性とする。(昭和63年4月1日以前に生まれた者)
(ロ)参加者は、平成29年度(公財)日本卓球協会選手登録者であること。
(ハ)団体戦のチーム編成は、各都道府県の卓球協会(連盟)に所属する単独チームであること。ただし、各都道府県卓球協会(連盟)が認めた同一都道府県内の選手で編成したチームについてはこの限りではない。
(ニ)レディース委員会が認めた招待された韓国選手。
- (13)参加料 団体戦 1チーム15,000円
個人戦 1名 3,000円
- (14)申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便または振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先:みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人 日本卓球協会)
- 原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL:(03)3481-2371、FAX:(03)3481-2373
- コピーを 〒560-0046 大阪府豊中市千里園3-7-16 杉山 万智子 気付
大阪レディース卓球連盟事務局 宛
TEL/FAX:(06)6849-0073
- (15)申込締切 平成29年12月25日(月)必着のこと。
- (16)宿泊 後日、NPO法人大阪卓球協会ホームページにて案内する。(12月上旬掲載予定)
- (17)その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。健康診断などを事前に受けることが望ましいです。
③大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
④個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

第 15 回全国ホープス選抜卓球大会 実施要項

- (1) 名称 第 15 回全国ホープス選抜卓球大会
- (2) 期 日 平成 30 年 3 月 23 日(金)～25 日(日)
- (3) 会 場 小田原市総合文化体育館小田原アリーナ
〒250-0866 神奈川県小田原市中曽根263 TEL 0465-38-1144
小田急線「富水」もしくは「蛸田」駅下車 徒歩約15分、
小田原駅東口「1番」乗車から箱根登山バス栢山駅行
飯田岡入口・菖蒲田下車徒歩約8分
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 神奈川県卓球協会、小田原市卓球協会
- (6) 後 援 神奈川県、神奈川県教育委員会、(公財)神奈川県体育協会、神奈川県中学校体育連盟、
小田原市、小田原市教育委員会、(公財)小田原市体育協会 (予定)
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 (イ) チームは都道府県単位とし、選手 5 名、監督(引率者) 1 名、コーチ 1 名で編成する。
但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。
(ロ) 5 シングルス
1 番 2 番 3 番 4 番 5 番
3 年生以下 6 年生以下 5 年生以下 4 年生以下 6 年生以下
(ハ) 第 1 ステージ・第 2 ステージ方式で行う。台は 2 台進行で行う。
①第 1 ステージは、1 グループ 3 チーム計 16 グループを編成し総当たり戦を行う。
また、勝敗に関係なく全試合(5 番まで)行うものとする。(例:A 対 B の試合で 3-0 の後、B が 2 点とった場合 3-2 と記録される。)なお、その記録結果はリーグ
内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
②第 2 ステージは、各グループ 1 位による決勝トーナメントにより優勝を決定する。
また、各グループ 2 位による 2 位トーナメント、各グループ 3 位による 3 位トーナ
メントを行う。なお、第 2 ステージは 3 点先取で行い、3 位決定戦は行わない。
- (9) 競技日程 平成 30 年 3 月 23 日(金) 監督会議 15:00～16:00
開会式 16:30～17:30
24 日(土) 第 1 ステージ(リーグ戦) 9:00～
第 2 ステージ(2,3 位トーナメント 1 回戦)
25 日(日) 第 2 ステージ(1 位、2 位、3 位トーナメント)
閉会式 15:00～
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②選手は、平成 29 年度(公財)日本卓球協会指定のゼッケンを使用すること。
③ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
④粒高・アンチラバーの使用制限はしない。
- (11) 参加資格 ①選手・監督・コーチは、平成 29 年度(公財)日本卓球協会に登録されたものである
こと。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する都道府県において登録を
していること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
②全国各都道府県の平成 17 年 4 月 2 日以降に生まれたもので編成する男女各 1 チーム。
但し、申込単位は学校・クラブの混成も可とする。また、主管都道府県は男女各 2 チ
ーム参加できる。なお、参加チーム数が 48 チームに満たない場合の補充は本会が別
途考慮する。
③低学年の選手の高学年のカテゴリーへのエントリーは認める。ただし、その逆につ
いては認めない。監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議の時に変更届を提出
すればそれを認める。それ以降の変更については認めない。
④代表選手の選抜方法は、各都道府県に一任する。

- (12) 参加料 1 チーム 10,000 円
- (13) 表彰 ①第1ステージ各ブロックの1位チームを表彰する。
②決勝トーナメント1～3位(ベスト4)まで表彰する。
- (14) 使用球 使用球は、J T T A公認プラスチック球；40 mmホワイトのみとする。
- (15) 申込方法 各都道府県卓球協会(連盟)は、別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便または振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 公益財団法人日本卓球協会)
(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。)
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛
TEL：(03) 3481-2371、FAX：(03) 3481-2373
コピーを 〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東1-19-7 松本 益雄 気付
神奈川県卓球協会 宛
TEL：(090) 6306-2033 FAX：(0466) 25-0690
- (16) 申込締切 平成30年2月5日(月)必着のこと。
- (17) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。
- (18) その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
③大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
④個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

第19回全国中学選抜卓球大会 実施要項

- (1) 名称 第19回全国中学選抜卓球大会
- (2) 期 日 平成30年3月24日(土)～25日(日)
- (3) 会 場 島津アリーナ京都
JR「円町」駅より徒歩約8分
〒603-8334 京都府京都市北区大將軍鷹司町 TEL:075-462-9191
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 京都卓球協会
- (6) 後 援 京都府、京都府教育委員会、(公財)京都府体育協会、京都府中学校体育連盟、京都市、京都市教育委員会、(公財)京都市体育協会、KBS 京都、京都新聞 (以上予定)
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法 全国中学校卓球大会方式
(イ) 選手6～8名、監督1名を登録する。また、アドバイザー1名を別途登録することができる。
(ロ) 4シングルス1ダブルスの6人制で行う。単複に重複して出場することはできない。
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
S ・ S ・ D ・ S ・ S
(ハ) 第1ステージ・第2ステージ方式で行う。第1ステージは、1グループ3チーム計16グループ(男女で32グループ)によるリーグ戦を行う。第2ステージは、各グループ1位による1位トーナメントにより優勝を決定する。また、各グループ2位による2位トーナメント、各グループ3位による3位トーナメントを行う。3位決定戦は行わない。
(ニ) 第1ステージは5試合すべてを行い、全試合を得失点に加算して勝敗を決める。第2ステージは3点先取法で行う。
- (9) 競技日程 平成30年3月24日(土) 9:00～ 開会式
9:30～ 第1ステージ(リーグ戦)
16:00～ 第2ステージ(2位、3位トーナメント1回戦)
3月25日(日) 9:00～ 第2ステージ(1位、2位、3位トーナメント)
16:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②選手は、平成29年度(公財)日本卓球協会指定のゼッケンを使用すること。
③監督・アドバイザーは、平成29年度(公財)日本卓球協会指定の役員章を左袖につけること。
④同じユニホームによる対戦をさけるため、2種類以上のユニホームを持参すること。
⑤競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が24cm²以下のウェアを着用すること。それ以上の大きさのメーカー商標は広告になるので本大会では着用できない。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして、JTTAが公認した接着剤のみ使用すること。
- (11) 使用球 使用球は、JTTA公認プラスチック球：40mmホワイトのみとする。
- (12) 参加資格 ①選手・監督・アドバイザーは、当該年度、(公財)日本卓球協会に登録されたものであること。出場する中学校において選手は選手登録、監督・アドバイザーは役員登録をしていること。但し、アドバイザーについては高校生以下の生徒は認めない。
②全国各都道府県の、同一中学校の平成15年4月2日以降に生まれた1・2年生で編成する男女各1チーム。但し、本人の本大会への出場回数は今大会を含めて通算2回までとする。また、主管都道府県は男女各2チームが参加できる。なお、参加チーム数が男女各48チームに満たない場合の補充は本会が別途考慮する。
③代表チームの選抜方法は、各都道府県に一任する。

(13)表彰 ①第1ステージ各ブロックの1位チームを表彰する。(第1ステージ終了後順次表彰します。)
②第2ステージ1位、2位、3位トーナメント各1～3位(ベスト4)を表彰する。

(14)参加料 1チーム 15,000円

(15)申込方法 各都道府県卓球協会・連盟は、別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛に申し込むこと。参加料は現金書留郵便または振込にて、(公財)日本卓球協会宛に送金のこと。尚、必ず都道府県がとりまとめるものとし、チームまたは個人からの申し込み及び送金はしないこと。

原本 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本卓球協会 宛

TEL : (03) 3481-2371 FAX : (03) 3481-2373

コピー 〒615-0926 京都府京都市右京区梅津鞆原町52-42 今西法子 気付
京都卓球協会事務局 宛

TEL/FAX : (075) 862-6551

(以上予定)

参加料振込先 みずほ銀行 渋谷支店 当座預金 口座No.5337 公益財団法人 日本卓球協会

(16)申込締切 平成30年2月5日(月)必着のこと。

(17)宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(18)その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
②本大会期間中にケガ・疾病が発生した場合は、応急手当のみ行い必要に応じて近くの病院を案内する。参加者は保険証を持参すること。なお、本会規程により「お見舞金」が支給される。
③監督会議は行わない。必要事項は大会諸連絡で後日送付いたします。なお、監督・選手・アドバイザーの変更は、原則として開会式開始時までとする。
④開会式当日は、8時50分に第1競技場に集合すること。開会式の入場行進は行わない。
⑤ベンチに入れるのは登録された監督・選手・アドバイザーのみとする。
⑥審判は両校から1名ずつ(2台進行の場合は各台に両校から1名ずつ)の相互審判とする。
⑦大会参加に際して提供される個人情報(本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはない。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。

(19)問い合わせ

準備期間中 〒615-0926 京都府京都市右京区梅津鞆原町52-42
京都卓球協会事務局 今西 法子 宛

TEL/FAX : (075) 862-6551

Eメール : 未定

(以上予定)

平成 29 年度 第 45 回全国高等学校選抜卓球大会 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。
(2017/2/2 現在)

主催 公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人全国高等学校体育連盟
 後援 スポーツ庁、福井県、福井県教育委員会、(公財)福井県体育協会、福井市、
 福井市教育委員会、福井市体育協会
 主管 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部、福井県卓球協会、福井市卓球協会、
 福井県高等学校体育連盟卓球専門部

- (1) 期 日 ①開会式 平成 30 年 3 月 25 日 (日) 16:30～
 ②競 技 平成 30 年 3 月 26 日 (月)～28 日 (水)
 ③閉会式 平成 30 年 3 月 28 日 (水) 競技終了後
- (2) 会 場 福井運動公園福井県営体育館
 〒918-8027 福井県福井市福町 3-20 TEL:0776-36-1542
- (3) 競技種目 ①男子学校対抗 ②女子学校対抗
 ③男子シングルス (2 部) ④女子シングルス (2 部)
- (4) 競技規則 (1) 現行の日本卓球ルールを適用する。
 (2) 選手は、(公財)日本卓球協会発行の平成 29 年度ゼッケンを背中につけること。
 監督は、役員章 ((公財)日本卓球協会発行の平成 29 年度役員章ワッペン) をつけること。
 (3) 競技用ユニホームは、(公財)日本卓球協会公認マークのついたものとし、明らかに異なった色のものを 2 着以上持参すること。
 (4) 競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が 24cm²以下のウェアを着用すること。それ以上の大きさのメーカー商標は広告になるので本大会では着用できない。
 (5) 男女シングルス (2 部) のアドバイザーのベンチ入りを以下の条件で認める。
 ①アドバイザーは、1 名とする。
 ②アドバイザーの資格は大会申込時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。
 ③アドバイザー (1 名) は試合開始時またはゲーム間にベンチに入ることができる。試合途中にコートを離れてもよいが、以後そのコートには復帰できない。
 (6) 部旗の掲示は、200cm(ヨ)×150(ケ)cm以内のものを 1 校 1 枚とする。
 (7) 接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。なお、ラケットの検査を実施することがある。
- (5) 競技方法 (1) 全種目 11 本 5 ゲームスマッチで、予選リーグ・決勝トーナメント方式とする。
 (2) 学校対抗 (団体戦) について
 ① 3～4 チームによる予選リーグを行い、各リーグ 1 位校が決勝トーナメントに進出する。
 ② 試合順序は次の通りとする。
- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 順 序 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 対 戦 | S | S | D | S | S |
- 3 番の D (ダブルス) は、1 番・2 番の S (シングルス) に出場した選手同士で組むことはできない。なお、S (シングルス) はすべて異なる選手とする。
 ③ 選手登録人数は 4 名以上 7 名以内とし、補欠は認めない。ただし、外国籍留学生は 2 名以内とする。外国籍留学生は、1 試合につき 1 名が 1 度のみ (S・D を問わず) 出場できる。
 ④ 勝敗は 3 試合先取で決する。決勝トーナメントより 2 台を使用する。
 (3) シングルス (2 部) について
 ① 3 名による予選リーグを行い、各リーグ 1 位の選手が決勝トーナメントに進出する。
 (4) 審判について
 ① 学校対抗については、双方のチームの帯同審判員が副審を行う。
 ② シングルス (2 部) の予選リーグにおいて試合のない選手が副審を行う。

(6) 使用球および使用卓球台

- ①使用球は、(公財)日本卓球協会公認の40mm白球(プラスチック)とする。
- ②使用卓球台は(公財)日本卓球協会公認で色はブルーとする。

(7) 参加資格

- (1)選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2)選手は、各都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。
- (3)学校対抗は、最高学年を除いてチーム編成をしなければならない。すなわち平成11年(1999)4月2日に生まれた2年生以下の者とする。ただし、学校対抗の部においては、2回までとし、同一学年での出場は1回とする。
- (4)チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6)転校後6か月未満の者は参加を認めない。(外国籍留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各ブロック高等学校体育連盟会長・各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- (7)外国籍留学生の出場については、(公財)全国高等学校体育連盟の規定による。(シングルス(2部)には出場できない。)
- (8)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の学校長の承認を必要とする。
- (9)選手は当該年度に公益財団法人日本卓球協会に登録された者であること。
- (10)学校対抗の選手変更については以下の条件で認めることがある。
病気等によりやむを得ない場合は、所定の用紙に必要事項を記入し(学校長印、顧問印が必要)診断書を添え、監督会議までに競技運営委員長へ届け出て、承認を得るものとする。
- (11)参加資格の特例
 - ①上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が認めた生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ②上記(3)については、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、学校対抗においては2回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72、115、124、134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1)大会参加を認める条件
 - ①(公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ②参加を希望している専修学校および各種学校にあたっては、年齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - ④各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間が高等学校に比べ著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
 - (2)大会参加に際して守るべき条件
 - ①全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目・大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - ②大会参加に際しては、当該校の教職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて損害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ③大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- (8) 引率・監督 (1)引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
(2)監督は、校長の認める指導者とし、当該年度に（公財）日本卓球協会に登録されたものであること。それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申込時に提出することを条件とする。
- (9) 参加制限 (1)学校対抗（団体戦） 男女各 56 チーム
北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州
開催県（男 1・女 1）
前年度優勝校・準優勝校は推薦出場（男女各 1）。希望枠（男 3・女 3）
(2)シングルス（2部）男女各 48 名（各都道府県男女各 1 名、開催県男女各 1 名）
①各都道府県予選会の学校対抗で 1・2 位になった学校及び本大会への出場権を有する学校からは出場できない。
②過去において、下記の大会に出場したり、エントリーした者は出場できない。
ア 全国高等学校選抜卓球大会（学校対抗・シングルス）
イ 全国高等学校総合体育大会卓球競技（学校対抗・個人戦）
ウ 国民体育大会（ブロック大会も含む）
エ 全日本卓球選手権大会（一般・ジュニア・ダブルス）
- (10) 申込方法 ①全国高体連卓球専門部ホームページより「申し込み用紙（Excel）」をダウンロードし、必要事項を入力する。入力後、印刷された申込用紙に押印し、下記申し込み先にそれぞれ書留郵便で送付すること。1 部は、必ず該当の学校に保管すること。また、下記申し込み先【B】のメールアドレスに申し込みデータを送信すること。
②各ブロックの責任者は、学校対抗のブロック予選の順位をそれぞれ送付すること。
③申込期限 平成 30 年 2 月 13 日（火）必着
④申し込み先
【A】〒501-6083 岐阜県羽島郡笠松町常磐町 1700 岐阜県立岐阜工業高等学校内
（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部 事務局長 簗島 尚信
TEL: (058) 387-4141 FAX (058) 387-4019
【B】〒910-0854 福井県福井市御幸 2-25-8 福井県立高志高等学校内
福井県高等学校体育連盟卓球専門部 委員長 山腰 甚一
TEL: (0776) 24-5175 FAX (0776) 24-5177
Eメール: takkyu@koshi-ed.jp
- ※個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。
- (11) 参加料 (1) 参加料 ①学校対抗 1 チーム 40,000 円
②シングルス(2部) 1 名 4,000 円
- (12) 表彰 (1) 学校対抗 ①第 1 位から第 5 位（ベスト 8）まで表彰する。
②優勝チームの 1 名に殊勲賞を授与する。
③準優勝チームの 1 名に敢闘賞を授与する。
(2) シングルス（2部）第 1 位から第 5 位（ベスト 8）までを表彰する。
(3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。
- (13) 組合せ (1) 学校対抗は参加校の監督・主将による公開抽選において行う。
(2) シングルス（2部）は（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部で抽選において行う。
- (14) 宿泊 別紙宿泊要項による。
- (15) 連絡事項 ・競技中の疾病・傷害での応急処置は主催者側の負担とするが、その後の責任は負わない。
なお、参加選手・役員は健康保険証を持参すること。
・引率責任者は、選手の行動に対して全ての責任を負うものとする。選手は高校生の本文を十分自覚して行動すること。
・学校対抗（団体戦）参加校は 1 名の帯同審判員を同行させ、申込用紙に審判員名を記入すること。ただし、やむを得ない場合は登録選手が帯同審判員と重複してもかまわない。なお、登録選手が 7 名以下の学校は、信販業務を免除する。また、帯同審判員の資格については、「7 参加資格」に準ずる。

平成 29 年度 第 62 回全国教職員卓球選手権大会 実施要項

【(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。】

- (1) 名称 平成 29 年度 第 62 回全国教職員卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 29 年 8 月 3 日 (木) ～6 日 (日)
- (3) 会 場 浦安市運動公園総合体育館
〒279-0031 千葉県浦安市舞浜 2-27 TEL:047-355-1110
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会、全国教職員卓球連盟
- (5) 主 管 千葉県卓球連盟、千葉県教職員連盟、浦安市卓球連盟
- (6) 後 援 スポーツ庁、千葉県、千葉県教育委員会、(公財)千葉県体育協会、浦安市、浦安市教育委員会、浦安市体育協会 (予定)
- (7) 競技種目 ①団体戦 : 1 男子 2 女子 3 男子シニア 4 女子シニア
②ダブルス : 1 男子 2 女子 3 男子シニア 4 女子シニア 5 男子ベテラン 6 女子ベテラン
③シングルス : 1 男・女子一般 2 男・女サーティ 3 男・女フォーティ 4 男・女フィフティ
5 男・女ロウシックスティ 6 男・女ハイシックスティ 7 男・女ロウセブンティ
8 男・女ハイセブンティ 9 男・女エイティ
- (8) 試合方法 ①男子団体 : 3 番にダブルスを置く、4 単 1 複による、3 点先取のトーナメント。
1、2 番に出場選手同士でダブルスを組むことはできない。
②女子団体 : A B C A B - X Y Z Y X の 3 選手による 5 シングルス、3 点先取のトーナメント。
③男・女シニア団体 : 3 番にダブルスを置く、4 単 1 複による 3 点先取のトーナメント。
1、2 番に出場選手同士でダブルスを組むことはできない。
④個人戦各種目 : 11 点 5 ゲームスマッチのトーナメント。参加人数によりリーグ戦方式とする場合もある。
- (9) 競技日程 平成 29 年 8 月 3 日 (木) 開会式
4 日 (金) 競 技 9:00～
5 日 (土) 競 技 9:00～
6 日 (日) 競 技 9:00～ 競技終了後閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球協会ルールによる。
11 点 5 ゲームスマッチ。但し、タイムアウト制はいずれの種目も準決勝以降に適用する。
②選手は、平成 29 年度 (公財) 日本卓球協会指定のゼッケンを使用すること。
③ユニフォーム、ゼッケンなどは日本卓球協会ルールを遵守すること。
④使用球 : 日本卓球協会公認プラスチック球 (ニッタク、T S P、タマス) の 40mm ホワイトとする。
- (11) 参加資格 ①幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学における教職員とその O B ・ O G、教育関係団体 (厚生労働省管轄を含む) の教職員とその O B ・ O G、文部科学省管轄の中学校・高等学校・大学等の所属長より委嘱を受けて当該年度卓球指導にあたる者 (所属長の証明書を必要とする) とする。ただしアドバイザーが半数を超えるチーム編成は認めない。たま、学生のアドバイザーは参加できない。
* O B ・ O G とは、前記の教職員等の経験が 15 年以上の資格者であること。
②平成 29 年度、(公財) 日本卓球協会役員 (監督をする場合)、選手登録済みであること。
③シングルス、ダブルス、団体戦への出場は、それぞれ一人 1 種目に限る。
④各年齢別種目の年齢基準は、当該年度中に該当年齢に達することを条件とする。
⑤シニア団体種目は、男子・女子共に年齢制限を設ける。
男子 : 昭和 43 年 4 月 1 日以前の出生者、女子 : 昭和 53 年 4 月 1 日以前の出生者
- (12) 参加数 団体戦は各都道府県男女各 2 チーム、但し人口 300 万人以上の都道府県・開催県は 3 チーム。
シングルスは各種目 16 名 (開催県は 24 名)、ダブルスは各種目 8 組 (開催県 8 組) とする。
- (13) 参加料 団体 1 チーム 15,000 円、ダブルス 1 組 4,000 円、シングルス 1 名 3,000 円、連盟費 20,000 円
- (14) 申込方法 所定の申込用紙 (千葉県卓球連盟ホームページからダウンロード) に必要事項を記入し、全国教職員連盟理事長にはプリントアウトしたものを郵送すること。また、千葉県の大会事務局にはメールで送信すること。正本及び副本をそれぞれ送付すること。参加料及び連盟費の振込み控えをコピーし、参加者一覧の裏面に貼付してください。
①正本送付先
②副本及び連続出場等表彰者推薦書送付先
③参加料等振込先
- (15) 申込締切 平成 29 年 6 月 9 日 (金) 必着
- (16) その他 ①無届棄権は厳禁とする。棄権者の参加料、宿泊予約金は返納しない。
②大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
③参加者数によって、競技日程の一部を変更することがありますが、ご了承ください。

問合せ先 : 第 62 回全国教職員卓球選手権大会事務局 海保 仁志 宛
〒289-1326 千葉県山武市成東 3596 千葉県立成東高校 内
TEL : 0475-82-3171 FAX : 0475-82-0144
E-mail : cttf@amail.plala.or.jp

VII. 平成28年度全日本総合ランキング

男子

順位	選手名	所 属	得点合計
1	水谷 隼	beaconLAB	150.0
2	木造 勇人	愛工大名電高校	140.0
3	高木和 卓	東京アート	136.0
4	平野 友樹	協和発酵キリン	135.0
5	吉村 和弘	愛知工業大学	125.0
6	上田 仁	協和発酵キリン	120.0
6	張 一博	東京アート	120.0
8	丹羽 孝希	明治大学	110.0
9	神 巧也	シチズン時計	100.0
10	松下 海輝	日鉄住金物流	92.0
11	宇田 幸矢	JOCエリートアカデミー	88.5
12	大矢 英俊	東京アート	80.0
12	吉田 雅己	愛知工業大学	80.0
14	高見 真己	愛工大名電高校	75.0
14	吉田 海偉	Global Athlete Project	75.0
16	緒方 遼太郎	JOCエリートアカデミー/帝京	70.0
16	坪井 勇磨	筑波大学	70.0
16	御内 健太郎	シチズン時計	70.0
19	張本 智和	JOCエリートアカデミー	65.0
20	塩野 真人	東京アート	64.0
21	及川 瑞基	専修大学	60.0
21	龍崎 東寅	JOCエリートアカデミー/帝京	60.0
23	軽部 隆介	シチズン時計	52.0
24	碓塚 将人	早稲田大学	50.0
24	笠原 弘光	協和発酵キリン	50.0
24	松平 賢二	協和発酵キリン	50.0
24	吉村 真晴	名古屋ダイハツ	50.0
28	森田 侑樹	シチズン時計	46.0
29	戸上 隼輔	野田学園高校	45.5
30	有延 大夢	明治大学	45.0
31	町 飛鳥	明治大学	40.0
31	厚谷 武志	信号器材(株)	40.0
31	上村 慶哉	早稲田大学	40.0
31	滝澤 拓真	明治大学	40.0
31	徳永 大輝	鹿児島相互信用金庫	40.0
31	藤村 友也	愛知工業大学	40.0
31	松平 健太	ホリプロ	40.0
31	宮川 昌大	野田学園中学校	40.0
39	濱川 明史	日鉄住金物流	36.0
40	三部 航平	専修大学	35.0
40	郡山 北斗	専修大学	35.0
40	松山 祐季	愛工大名電高校	35.0
40	村松 雄斗	東京アート	35.0
44	松下 大星	愛知工業大学	28.0
45	藤本 海統	日鉄住金物流	26.0
46	沼村 齊弥	野田学園高校	25.0
47	大島 祐哉	ファースト	20.0
48	伊積 健太	岡谷市役所	20.0
48	加藤 由行	(株)フジ	20.0
48	坂野 申悟	中央大学	20.0
48	宮本 春樹	愛工大名電高校	20.0
48	横山 輝	原田工業	20.0
53	五十嵐 史弥	遊学館高校	18.0
54	宮本 幸典	中央大学	16.0
55	田中 佑汰	愛工大名電高校	15.0
56	内村 英司	都城商業高校	13.0
56	熊本 竜己	日南学園高校	13.0
56	龐 博	日南学園高校	13.0
59	大西 尚弥	愛工大名電高校	10.0
59	柏 友貴	関西高校	10.0
59	竹崎 千明	野田学園高校	10.0
59	中ノ瀬 聡汰	瓊浦高校	10.0
59	弓取 真貴	希望が丘高校	10.0
59	吉田 大輔	希望が丘高校	10.0
65	出雲 卓斗	遊学館高校	8.0
65	三上 貴弘	遊学館高校	8.0
65	王 凱	東京アート	8.0
68	加山 裕	JOCエリートアカデミー	5.5
69	足立 智哉	日鉄住金物流	4.0
69	加藤 悠二	シチズン時計	4.0
69	藤木 祥二	日鉄住金物流	4.0

女子

順位	選手名	所 属	得点合計
1	森蘭 美月	サンリツ	158.0
2	平野 美宇	JOCエリートアカデミー/大原学園	150.0
3	宋 恵佳	中国電力	144.0
4	森蘭 美咲	日立化成	125.0
5	土田 美佳	中国電力	120.0
6	永尾 堯子	アスモ	110.0
7	加藤 杏華	十六銀行	105.0
7	鈴木 李茹	専修大学	105.0
9	石川 佳純	全農	100.0
9	成本 綾海	同志社大学	100.0
11	土井みなみ	中国電力	96.0
12	橋本帆乃香	四天王寺高校	95.0
13	松澤 菜里奈	十六銀行	92.0
14	安藤みなみ	専修大学	85.0
14	早田 ひな	希望ヶ丘高校	85.0
14	前田 美優	日本生命	85.0
17	田代 早紀	日本生命	80.0
18	三宅 奈津美	中国電力	76.0
19	佐藤 瞳	ミキハウス	75.0
20	加藤 美優	吉祥寺卓球倶楽部	68.0
21	山本 怜	中央大学	65.0
22	石垣 優香	日本生命	60.0
22	打浪 優	神戸松蔭女子学院大学	60.0
22	平野 容子	豊田自動織機	60.0
22	森 さくら	日本生命	60.0
26	市川 梓	日立化成	56.5
27	小道野 結	アスモ	50.0
27	笹尾明日香	横浜隼人高校	50.0
27	塩見 真希	四天王寺高校	50.0
27	芝田 沙季	ミキハウス	50.0
31	阿部 恵	サンリツ	40.0
31	伊藤 美誠	スターツSC	40.0
31	牛嶋 星羅	日立化成	40.0
31	山口 瑛美子	筑波大学	40.0
31	浜本 由惟	JOCエリートアカデミー/大原学園	40.0
31	若宮三紗子	日本生命	40.0
37	平 真由香	日立化成	38.5
37	馬 克	日立化成	38.5
39	梅村 優香	四天王寺高校	35.0
39	木村 香純	四天王寺高校	35.0
39	徳永 美子	早稲田大学	35.0
42	佐藤 風薫	早稲田大学	34.0
43	平 侑里香	サンリツ	28.0
43	高橋真梨子	十六銀行	28.0
45	庄司 有貴	専修大学	25.0
46	阿部 愛莉	早稲田大学	20.0
46	出雲 美空	ミキハウスJSC	20.0
46	枝松 亜実	山陽女子高校	20.0
46	大矢未早希	サンリツ	20.0
46	奥下 茜里	日本大学	20.0
46	木村 光歩	山陽女子高校	20.0
46	平田 有貴	アスモ	20.0
46	長崎 美柚	JOCエリートアカデミー	20.0
54	松村 夏海	アスモ	14.0
55	黒野 葵衣	武蔵野高校	13.0
56	久野 理世	十六銀行	12.0
56	松本 優希	サンリツ	12.0
58	鹿股まりな	武蔵野高校	10.4
59	伊藤 佑希子	札幌大谷高校	10.0
59	馬場 麻裕	芦谷学園高校	10.0
59	村田 咲紀	山陽女子高校	10.0
59	山本 笙子	福井商業高校	10.0
63	杉本 恵	横浜隼人高校	8.0
63	土田 美紀	中国電力	8.0
63	三浦 萌香	横浜隼人高校	8.0
66	北岡 エリ子	日立化成	5.5
67	天野 優	サンリツ	4.0
67	加藤 知秋	十六銀行	4.0

Ⅷ. 大会ランキング委員会実施マニュアル

(1) 委員会の構成

- ①委員長は原則としてその大会の大会委員長がこの任にあたる。不在等の理由で委員長が定められない場合は、本会派遣の大会役員の中から互選される。
- ②委員は、大会副委員長、競技委員長、競技副委員長、審判長、副審判長および委員長の指名した者、若干名の4～5名程度で構成される。
- ③各委員は大会当日、委員長より指名・通達される。

(2) 委員会の開催

各種目毎に、それぞれ3位以下のランキングが決定できる時点（通常は決勝が開始した直後で検討資料が揃った時点）で、可能な限り速やかに委員長が招集して開催する。委員会は非公開とする。

(3) ランキングの決定方法

①参考とするデータの優先順位

- (イ) ランキング決定直前の試合内容：ゲームの得失比率、ポイントの得失比率（団体戦の場合はマッチの得失比率が最優先となる。）
- (ロ) ランキング決定の次前の試合内容：ゲームの得失比率、ポイントの得失比率（団体戦の場合はマッチの得失比率が最優先となる。）
- (ハ) 前年度のランキング、シード順位
- (ニ) 今大会の他の試合内容：上位シード者との試合内容など

参考とするデータは、直前の試合及びその前の試合の全データを記録係に作成・提出してもらう。

②ランキングの決定

原則として(イ)により決定するが、(イ)により明かな差が認められない場合は、(ロ)、(ハ)、(ニ)を順次適用して決定する。決定は出席委員の合意（多数決）により行われるが、合意が得られない場合は委員長が決定する。

(4) 結果の通知

- ①委員長は結果が得られ次第、直ちに表彰担当者など関係者に連絡する。
- ②主管団体の責任者は、大会終了後にランキング結果を全試合結果と共に、日本卓球協会宛に送付する。

(5) 表彰

- ①表彰は、ランキング証授与をもって行い、原則として該当種目の入賞表彰と併せて実施するものとする。
- ②1～4位を除くランキング表彰は、該当選手から要望があれば、前項とは別に実施しても良い。

以上

(公財)日本卓球協会主催
IX 全国大会主管マニュアル

作成 H10.10.20
変更 H26. 4. 1

1. 大会名称

- a. 正式名称は(公財)日本卓球協会〔=以降、本会〕発行の大会要項の通りとする。
- b. 略称、冠名などの扱いについては事前に本会と打合わせをし、承認を得ること。

2. 主催等

- 1)主催 (公財)日本卓球協会、国際卓球連盟(ITTFF行事としての国際大会の場合)、国体に限って(公財)日本体育協会、都道府県・市、文部科学省などが主催となる。
主催団体として複数の団体に関わってもよい。
- 2)共催 原則としてこの区分は使用しない。
- 3)主管 大会運営を任された加盟団体(都道府県卓など)
全面的に加盟団体の支部が運営をする場合にはここに支部名を併記してもよい。
- 4)協賛 本会に対して運営費用などを積極的に援助する企業・団体(通常はメインスポンサー)、特別協賛と区別する場合がある。
- 5)後援 運営に積極的なご理解をいただき、協力バックアップする企業・団体、新聞社、文部科学省、県市体育協会、県市教育委員会、協賛金以外の協力をする企業(航空会社など)
- 6)協力 運営費用とより用具、飲料水などの主管団体への提供、人的バックアップをする企業・団体、用具メーカー、支部卓球協会(連盟)、県市、県市教育委員会など
*「後援」と「協力」の区分については、明確な扱いはない。
*本会のナショナルチームスポンサー、各大会スポンサー、およびその同業種への協力を得る場合は必ず本会に確認をとること。

3. 期日・期間

- a. 前年度の理事会(9月)で検討・承認に間に合うように、早めに決定し、本会と事前の連絡・調整をする。
- b. 前年度と同じ時期にする必要はないが、他の大会日程との関連を考慮する。
- c. 大会要項に記載できる程度の種目別の1回戦～決勝の競技日程(予定)、開会式、監督会議などの日程を作成して、本会に通知する。

4. 競技会場

- a. 大会規模に適したテーブル数、競技領域の確保、宿舎からの交通手段などを条件に決定する。
- b. 所定の広さの競技領域が確保できない場合には、事前に本会と協議し承認を得ること。
- c. 夏期・冬期の大会にあっては、室内の空調が完備されていることが望ましい。
- d. 決勝戦などでは、カメラマンがコート周囲に無差別に入り込まないような事前の配慮をする。
例：撮影場所を限定する。フェンスで仕切りを設ける。
- e. エアコンの風が、競技に影響しないように事前チェックしておく。
フェンスが揺れる。選手の髪の毛がなびくなどでチェックができる。
- f. 大会受付用の臨時電話・FAXを設定する。電話の設置は大会記録が集まる場所が望ましい。
競技会場内のコートに隣接する場所は好ましくない。この他に、報道用の回線を複数別途準備することが望ましい。また、番号が決まり次第、本会事務局に連絡をいれること。
- g. 日章旗とともに本会旗を設置する際、日章旗よりも手元にある本会旗が小さい場合は、大きい旗を貸出すので本会事務局まで連絡すること。

5. スケジュール

- a. 開始時間、終了時間に無理がないこと。開始時間は、試合前の早朝練習時間(1時間は必要)の確保を考慮すること。終了時間は、遠地へ帰る選手の時間なども考慮して、決定する。
- b. 個人戦(11本5ゲーム)は、1試合を25～30分。
(11本7ゲーム)は35～45分を目安に。
- c. 団体戦(5試合)は、1時間50分～2時間10分を目安にする。
- d. ラージボールの試合は(3ゲーム)15分が目安
- e. ある選手が連続して試合をするような場合には、少なくとも15分の休憩時間が確保できるようにすること。
- f. 同じ選手やチームがいつも同じコートで試合するようなことは避けるタイムテーブルを作ること。注目される試合は、観客が観戦しやすい中央コートに割振る工夫をすること。
- g. 組合せが決定し次第、直ちにタイムテーブル作成を行い、本会に通知すること。

6. 大会役員

名誉会長	本会名誉会長、県知事、市長（国体）
大会会長	本会会長
大会会長代理	主管団体会長、県知事、市長
名誉副会長	本会名誉副会長、県知事、市長
副会長	本会名誉副会長、副会長、専務理事 主管団体会長、副会長
名誉顧問	本会名誉顧問
顧問	本会顧問、協賛会社社長、市長、 主管団体顧問
評議員	本会評議員
会費	本会会費、主管団体支部会長、副会長
参与	本会参与、主管団体支部副会長
委員（理事・監事）	本会理事、主管団体理事

- 上記の内容を基準にして、各大会に実情にあわせて大会役員の種別を定め、人選にあたる。本会役員については、事前に本会と調整を図ること。
- 大会当日の本会派遣役員は、到着時間、利用交通機関、宿泊の有無、最寄り駅からの送迎、帰りの時間などを事前に確認すること。
- 本会関係の大会役員名は、事前に本会事務局から「大会役員」表を提供してもらい、正確を期すこと。

7. 競技役員

大会委員長（国体では競技委員長に相当）	本会より派遣（通常は常務理事以上の役職者）
大会副委員長（国体では競技副委員長）	本会より派遣（開催地担当のブロック理事を含む） および主管団体副会長
競技委員長	主管団体理事または副理事長
競技副委員長	主管団体副理事長
審判長	本会より派遣（原則としてルール・審判委員会委員）
副審判長	主管団体の資格者（公認レフェリー） 全日本選手権・国体などは本会から別途1名を指名することがある。
その他の役員	原則として主管団体が担当 本会派遣理事が、担当部署の委員長を担当することもある

8. 式典

1) 開会式

- アトラクションなどを計画する場合には、短時間に完了するようにして、選手に負担が掛からないような内容とすること。入場行進は簡略化あるいは省略しても構わない。
- 優勝杯の返還は原則として廃止する。
天皇杯、皇后杯、大臣杯、優勝旗などを除いて、優勝杯は取りきりを原則とする。
- カップの返還などがある場合には、返還者、返還カップについて事前の確認を済まして、期間に余裕を持って事前に大会本部に返還してもらっておくこと。
開会式でのレプリカ贈呈の準備を忘れずに。
レプリカ製作は本会が担当し、事前に主管地に送付する。
- ブラカードの保持者は、緊張で式典中に倒れる恐れがないような人選に配慮をすること。あまり緊張させないように事前説明をしておく。
- 選手宣誓は、審判長の「競技上の注意」のあいさつの後が適当。
- 手話通訳者の協力を得て、開会式などの式典での各種の挨拶、説明などを紹介することが望ましい。
- 役員の席；壇上で左右に分かれるような時は、本会役員と主管団体関係、あるいは卓球関係者と地元の招待役員など、2グループに分けるとよい。
本会役員については、当日に変更がでることもあるので柔軟に対処できるようにしておく。
- 君が代斉唱は可能な限り実施すること。
- 開会式前の待機時間など会場内に軽音楽を流すなどの演出をする場合、JASRACが著作権を管理しているものは事前に使用手続きが必要になる（使用料が発生する）ので、JASRACへの手続きを済ませておくこと。

2)表彰式

- a. 表彰式を行う場所を最終試合前に、決勝コートの整備と併せて、あらかじめ設定しておき、試合終了後、直ちに表彰式を始められるようにする。
表彰式を通して選手の顔が観客の方を向くようにして、表彰が行われることが望ましい。
(選手が主役ということ。従って役員の背中が観客のほうを向く)
また、表彰時は、選手が高い位置で、授与者が低い位置が望ましい。
- b. 表彰式に参加する選手の集合方法に工夫をし、決勝終了後短時間に開始できるようにすること。
式典委員の最も重要な業務に、表彰選手をいかに早く集合させるかがある。表彰選手には前もって表彰方法・時間などを連絡しておくようにする。観客が最後まで残って表彰式で入賞者を祝福できるような配慮をすること。
- c. 原則として、1位(中央)、2位(左)、3位(右)、3位(右)の順に行う。また、1位~3位と同時表彰して、時間短縮をはかることも許される。
5位(5~8位)の表彰が必要な場合には、別途表彰を行っても良い。
- d. 日程・試合時間の都合などで、3位入賞者が表彰式に出席できないような場合には、大会委員長と協議してその取扱いを決めること。
- e. 表彰担当役員には、表彰種目、順位、方法、席順などを事前に具体的な説明をし、スムーズな進行に協力を得ること。
表彰選手に、表彰手順を説明しておくことも忘れずに。この時、表彰状の選手の名前の読み方を確認しておくこともよい。役員の胸章の準備を忘れずに。
- f. ランキング証の授与では、短時間に結果発表と証書の手渡しができる工夫をすること。
1~3位の表彰式に出席しない者については、事前に別途手渡ししてもよい。但し、全ランキング順位は必ず表彰式の場で発表すること。閉会式でのランキング証の授与は順位発表だけにとどめて、ランキング証授与は別途に実施してもよい。

9. 競技条件

1)競技領域

競技領域は、フェンスで囲って7m×14mが確保できることが望ましい。横幅の7mが確保できない場合には、横側のフェンスは使用しない。横の仕切りフェンスを使用しない試合では、各コート間の幅(テーブルセンター間の距離)は最低5m、縦側は12mを確保する。競技領域内に試合に関係のない選手を座らせたりさせないこと。

2)センターコート

注目する試合をより良く演出するため、また卓球競技のステータスアップのために「センターコート方式」のコート設定を実現してほしい。

3)フロア

国体および全日本選手権(一般の部)は必ず専用マットを使用する。その他の大会も、他の競技用のラインが床に描かれているような場合には、専用のフロアマットを敷くことが望ましい。試合中の汗によるフロアの濡れを拭くモップがすぐ取り出せる対応をする。また、鞋底を濡らす雑巾は選手が準備するものとし、主審または副審の近くに置く。使用は6ポイント毎とする。

4)テーブル

主競技場のテーブルは、原則としてすべて同じ仕様のもので用意すること。練習テーブルは、これと異なってもよい。表面に凹みがあったり、エッジが欠けているものは使用できない。

些細な欠陥については、審判長と協議する。

テーブルの色:ブルーかグリーンか事前に決め、事前に本会に連絡し、大会要項に記載できるようにする。

テーブル拭き用の雑巾を各コートごとに備えること。

5)ネット

高さの微調整が容易で確実なものを使用すること。

各コートにネットハイゲージを配備すること。

ネットの張りの強さは、中央に100gの荷重を掛けて、1cm以上たるまないことを目安とする。(荷重ゲージは市販されている)

6)主審椅子

シングルスでは通常の椅子に腰掛けて主審をすることは構わないが、ダブルス競技の場合には、起立あるいは専用椅子を準備するなど主審の目の位置が高くなるような工夫をする。

専用の主審台(目の高さ150~170cm程度)を利用する場合には、観客席から競技が見にくくならないことを考慮する。

7) スコアカウンター

副審がカウンターを操作する場合には、副審としての審判実務に支障がでないような高さとし大きさに配慮すること。

7m×1.4m以上が確保できないコートでは、コーナーなどに設ける補助のスコアカウンターは競技領域外のコーナーに設定すること。電光方式のものは、配線コードで競技に支障がでないようにすること。数字をめくる方式にあっては、数字・リングなどに不具合がないよう事前にチェックをする。予備のカウンターを必ず用意する。また、スコアカウンターあるいはテーブルにタイムアウト用ホワイトカード、イエローカードが提示できる場所を確保すること。

8) タオル籠

大きめのものを各コートの主審の横に2個配置する。(副審の横でも構わない)。専用のタオル籠があればなお望ましい。

9) 照明

競技領域内で、最低1,000ルクスを確保すること。

横あるいは斜めからの照明は原則として禁止する。

観客席の後ろからあるいは高い位置から、光線などが入らないよう事前に対応する。(切れている照明がないか確認)

10) フェンス

協賛会社の広告をつける場合には、事前に本会与協議すること。

11) ボール

大会で定められた色のJTТА公認球全種類を準備すること。(2017.2月現在)

(硬式40mm; 白・オレンジ)

ニッタク(プレミアム、紅双喜)、TSP、ヤサカ(3★、3★SLB)、アンドロ、タマス(3★40+、G40+)、ヨーラ(SUPER、FLASH)、ジュウイック、アンビション(XUSHAOFA、YINHE)の8社

(ラージボール; オレンジ)

ニッタク、TSPの2社

購入費用は主管費に含まれる。

選手が試合球を選択する場所、各選手が選択する数、選択されたボールの取扱いについて、予めその方法を定め、選手および担当者(審判員など)に徹底しておくこと。

各コート用に選択されたボールの保管用としてボールケース(4個分くらいが入るもの、各コート2組)を配備する。

12) ラケット検査

審判長が全て責任をもって実施する。審判長とボランティア検査も含め打合せの上、ラケット検査器「Enets」を必要数準備する。本会事務局からも貸し出すので、必要であれば連絡をすること。また、該当選手とそのコーチが検査に立ち会うことは構わない。テストを実施する場合には、机1つ、いす2脚程度が入り、外部から隔離できる部屋を確保する。

10. 組合せ抽選

- a. 大会1か月前迄を基準に、本会組合せ委員会規定に従って実施される。主管団体の立ち合いは不要。
- b. 主管団体には、プログラム作成・印刷の事前準備のために、組合せが出来次第チェック前のものをすぐに送付する。ただし、送付後に組合せ委員会が再チェックし、組合せ結果に問題点やミスがあった場合には訂正されることがあることを念頭に入れた対応が必要である。組合せ全結果は、問題がないことを確認した後、主管団体が組合せ(プログラム原稿でも可)とタイムテーブルを本会事務局および各都道府県協会・連盟に諸連絡(練習時間、会場他)とともに送付する。またそれらのデータを、本会事務局までメールにて送ること。(本会ホームページにアップする)
- c. 本会事務局では参加選手など個人からの問い合わせには対応しないので、各加盟団体で対応して欲しい。
- d. プログラム引換券など個人に対しての受諾証を加盟団体へ発送するのは加盟団体の負担になるので避けること。諸事情(選手ID送付など)によりより送付を検討する場合は、本会事務局に連絡すること。

11. プログラム作成

- a. (公財)日本卓球協会会長あいさつ文
2か月前迄に、本会事務局長に依頼する。
- b. (公財)日本卓球協会関係の役員名簿
2か月前迄に、本会事務局長に依頼する。
- c. 審判長の競技上の注意
主管団体が、担当審判長に、直接作成依頼する。連絡が不可能な場合には、ルール・審判委員長(長谷川敦司委員長)に連絡方法などを確認する。
- d. メイン協賛会社の広告(プログラム表4)取扱い
本会担当者と事前打合わせをすること。

- e. 表紙に掲載する主催団体・主管団体・協賛団体・後援団体・協力団体などの区分・名称について事前に本会と協議すること。
- f. JTTA公認用具／公認メーカー名 事前に本会と連絡をとること。
- g. 選手名簿、組合せ作成にあたっては、間違いを最小限におさえること。複数の担当者によるチェックが望ましい。
- h. 開・閉会式次第はプログラム作成前に事前に本会へ確認をとること。
- i. 作成費用は、主管費に含まれる。従って広告依頼・収集は、主管団体に一任される。ただし、メインの協賛団体の広告の取扱いについては、本会の担当者と事前に連絡・打合わせをすること。
- j. 作成部数
全参加選手／監督および本会派遣役員全員に配布できること。協賛企業用に5部。その他の競技役員には主管団体一任する。

12. 主管費（補助費）に含まれる経費

会場使用料、プログラム作成費、主管団体競技役員費用、ポスター作成、大会看板・横断幕作成、準備会議費、事務用品、スコアシート印刷費、臨時電話・FAX費用等
 ＊主管費（補助費）は、主管団体より書面による請求があり次第、本会より、指定口座に振り込まれる。大会前であっても受付・振込みするので、主管費（補助費）額を記載し、公印を捺印の上、早めの連絡をお願いしたい。

※経費について

- ①被服費 …… 役員ひとりに付き¥3,000 を上限とし、それ以上かける場合は主管地負担。
- ②備品 …… 金額5万円以上のもの（パソコン等）については、消耗品としない。
処理についての詳細は本会へ問合せること。
- ③競技備品（卓球台、ネット、サポート、フェンス等）
…… 購入は経費対象外。購入の必要がある場合は本会と相談すること。
- ④審判用品（カード類、ストップウォッチ等）について
…… 審判員個人の持ち物して扱う考え方により対象外とする。
- ⑤タクシー代 …… 原則、大会期間中のものに限り認めるが、できるだけ公共の交通機関を利用することを心がけてもらう。
- ⑥通信費 …… 主管地理事長または担当者の携帯電話の使用料については、対象経費には入れない。
（大会用に携帯レンタルということであれば可）
- ⑦式典費用 …… イベントについては本会事務局と要相談（金額含め：上限10万円）
- ⑧旅費 …… 日当は¥3,000 以下とする。交通費とは別立てで処理する。
宿泊費¥13,000 以内、交通費は原則実費とする。
- ⑨ポスター …… 対象経費としていいが、制作する際は本会事務局と要相談（費用含む）
- ⑩プログラム冊数 …… 申し込み人数+役員+100 冊を目安に対象経費とする。
それ以上に関しては、主管地負担とする。
- ⑪スポンサーがつく大会の前夜祭、懇親会費用
…… 対象外。必要がある場合は本会と主管地にて調整の上、別途支払うこととする。
- ⑫謝金 …… 医者、看護師、開閉会式のプロの司会を依頼したときなどを対象とする。
※大会役員、競技役員はあくまでも日当
- ⑬食費 …… 弁当：お茶付きで¥1,000 までとする。
状況によっては、朝食、夕食も対象認める。
※接待コーヒー、お菓子、果物等は雑費とする。
- ⑭渉外費 …… 懇親会費、反省会は対象外経費とする。
- ⑮会議費 …… 大会準備会議、事後会議、審判講習会等の会議室料、昼食代、交通費を対象とする。
会議回数は効率よく最小限で行う。大会に関する事務作業等にかかわる事務局経費を計上する場合は、雑費とする。
- ⑯保険料 …… 体育館利用上義務付けられている場合等は対象とする。
- ⑰会場出店料 …… 会場内他に売店を設ける際に費用発生する経費は主管地負担
（各業者より出店料として収入を得ている場合）
- ⑱視察費 …… 対象大会を年度ごとに設定（昨年と同じ開催地の場合、補助費の場合は対象外等）
平成22年度から適用。一大会原則20万円まで対象経費として認める。ただし、人数は4名までとする。交通費については、県庁所在地の駅からの計算とする。
- ⑲参加章 …… 主管地が用意していただくものについては対象外経費とする。

13. 本会負担費用

本会派遣役員費用（交通費・宿泊費・食費・日当）、優勝カップ、入賞メダル、参加章バッジ（*選手、監督用、本会派遣役員のみ）、賞状、ランキング証、スポンサーゼッケン、トップ12大会の賞金など

*本会派遣役員の宿泊費・食費を主管団体に立て替え払いする場合には、事前に本会に連絡をしておくこと。

*主管団体競技役員用、販売用の参加章バッジは、主管団体の費用負担。

※大会終了後決算により、主管費額から余剰が出た場合は返金してもらう。不足の場合は主管地の収入で補充する。

ただし、不足原因が正当な理由の場合、増額申請した上で本会理事会にて審議し、承認された場合のみ支給する。

14. 賞状・ランキング証

a. 大会ごとの表彰・ランキング証の必要枚数に予備を加えて、事前に本会から主管団体に発送するので、連絡の上取り揃えること。

b. 表彰状の順位欄には、“第一位”、“第二位”、“第三位”と書き込む。“優勝”“準優勝”とは記入しない。賞状は第3位（2名/2組）まで。ランキング証は、大会基準ランキング者数を作成する。

c. ダブルスの表彰状、ランキング証は、各人宛に合計2組作成する。

d. 表彰状・ランキング証には、「種目」「順位」「都道府県名」「名前」「所属」を記入する。「名前」のあとに“殿”は記入しない。

ダブルスの表彰状には、表彰選手名の横にペアの相手選手名を小さく入れる。

e. 表彰状作成担当者は、ランキング委員会の結果を直ちに受け取り、早めの作成に取り掛かること。“第 位”と記入して、順位が決定次第、1・2・3などの数字を一字入れれば完成できるようにしておく。

f. 本会が表彰状用に専用の筒を用意する大会もある。これらは表彰状と一緒に事前に主管地に送付される。

※各種目の決勝が終了し次第、間髪を入れずに表彰状・ランキング証が完成でき、表彰式に入れるような手配をしておくこと。表彰状の作成作業場所は、表彰場所に近いことが望ましい。

15. ランキング委員会

a. ランキング委員会規定に従い、大会委員長が委員長を務め、委員を招集して各種目の準決勝終了後直ちに開催する。大会委員長不在の場合には、大会副委員長がこれに当たる。

b. 主管団体は、ランキング決定に必要な記録（ランキング決定の試合を含めたそれ以後の全試合のポイントまで入った記録）を委員の数だけ準備する。

c. 委員会用の会議室は、他の関係者が入らない5～6名が会議できる部屋でよい。

d. 結果は直ちに、表彰担当に手渡し、ランキング証作成ができるような手はずにしておく。

16. 加盟団体への要項配布と申込み受付

a. 本会発行の要項集に基づき、大会2か月前をめぐり本会が改めて、各加盟団体に大会要項と申込書を配布する。

b. このとき、担当旅行代理店に協力してもらい、宿泊案内を同時に配布することが望ましい。

c. 受付後の変更については、本会と主管団体に密な連絡を図り、迅速・確実な対応を図る。但し、組合せ完了後の変更は受け付けない。

d. 推薦出場となる者（前年度のランキング保持等）の申込み受付忘れ・重複申込みなど要注意。

17. 宿泊案内

a. 航空運賃の早割利用などの希望もあり、案内は早めに出すことが望ましい。

18. 派遣役員への諸連絡

a. 本会派遣役員への諸連絡は、原則として本会事務局が行う。

本会派遣役員の現地での送迎手段などについては、本会と事前に打合せをする。

b. 審判長への諸連絡は、主管団体から直接本人に行う。

19. 大会記録・報告書

- a. 主管団体は、大会終了後、大会プログラム3部と共に、競技全記録およびランキング結果を、(公式記録を1部、写しを2部) 本会事務局へ1週間以内に届ける。また、試合結果は本会ホームページ用のデータ(プログラム記載内容に準ずる記録)による記録を本会事務局へメール等で送る。各都道府県協会(連盟)へはプログラムを送付する事。(記録については本会ホームページにてご対応ください。)
- b. 大会経費内訳を、所定の書式に従って作成し、本会に報告する。
(主管費対象経費に相当する領収書を添付してもらうので、領収書は「(公財)日本卓球協会」もしくは「主管団体名」で取得しておくこと。
領収書には、単価、個数、品物名が分かる納品書や請求書等を添付する。
日当・旅費受領者は住所、氏名、日付け、金額、受領印が必要。漏れの無いように。
なお、大会対象経費が主管費に満たない場合、余剰金額を返金していただきます。また、主管地による収入を含めた全体収支報告書も併せてご報告下さい。)
- c. 新聞社などへの結果通知
その日の競技種目が終了後、直ちに本会および下記報道機関にFAX連絡すること。また、下記にない地方紙等への記録配信は大会の報道委員長の判断のもと行う。(依頼のあった報道関係への対応はできるかぎり行うこと)
報道関係へは、コメントをつけて準々決勝以上のポイントの入った詳細な記録を送付する。

[FAX連絡先] ※Aには必ず B、Cは主管団体の裁量にお任せします。

A	(公財)日本卓球協会	03-3481-2373
	共同通信(運動部)	03-6252-8765
	時事通信社	03-3543-2172
	日刊スポーツ(企画事業本部)	03-5550-8912
	日刊スポーツ(スポーツ部)	03-5550-8901
B	朝日新聞	03-3545-0302
	読売新聞	03-6226-7418
	毎日新聞	03-3215-2554
	NHKスポーツ	03-5455-3753
C	日本経済新聞	03-6256-2648
	産経新聞	03-3275-8939
	東京新聞	03-3595-6921
	サンケイスポーツ	03-3275-8941
	スポーツニッポン	03-3820-0612
	報知新聞社	03-5479-1333
	デイリースポーツ	03-3641-5426
	東京スポーツ	03-3820-0806
	東京中日スポーツ	03-3595-6937

20. 報道対応

- a. 主管団体は、会場内に報道各社が作業できるスペースを用意すること。長机、椅子、電源を想定し、事前申請については、主管団体で受けるようにする。また、当日メディアが来場してもいいように、事前にメディア対応を打ち合わせておくこと。
- b. テレビ局等から事前申請があった場合は、カメラの台数、スタッフ数、撮影目的を含めた申請書をFAXしてもらうこと。
- c. 大会当日、取材対象選手にスチールおよびテレビカメラが集中するようであれば、撮影位置等のコントロールをした上で、大会委員長、競技委員長、審判長の協議のもと、他コートに影響がないように、その試合のコート変更も検討する。
- d. 取材にきた新聞媒体等を翌日確認し、クリッピングした物を本会事務局宛に送ることが望ましい。

21. ドーピング検査

- a. ドーピング検査を実施する大会については、事前に本会より連絡をする。
- b. ドーピング検査対象となった大会については、部屋の確保および人員の協力を願うことがあるので対応してほしい。

22. 主管地での協力依頼

- a. 主管地で地元企業等に協力を依頼する場合は、大会協賛社(メインスポンサー)の業種等を考慮して決定すること。プログラム広告およびフェンス広告についても事前に本会事務局に相談し、確認をすること。

23. その他

書類、書式等については、データで送ることも可能なので、必要であれば本会担当者へ連絡を入れること。

公益財団法人日本卓球協会が運営する大会における
選手、監督、コーチほかに係る
情報、画像及び音声取り扱いについて

公益財団法人 日本卓球協会

公益財団法人日本卓球協会（以下、「本協会」という。）は、本協会が主体となって運営（※）する大会（以下、「対象大会」という。）に参加する、選手、監督、コーチ、その他選手や選手が所属するチームを支援するスタッフ等（以下、「選手等」という。）の個人情報、画像及び音声を、以下の内容に基づいて取扱います。
※ 本協会が「主催」、「主管」などの立場で運営する大会を意味しますが、表現にかかわらず、実質的に、本協会が運営の主体となって行われるすべての大会を含みます。

1. 対象大会の参加申込に際して提出された、選手等の写真、個人情報等について
 - ① 対象大会のプログラムに掲載することがあります。
 - ② 対象大会の会場内で、画像又は音声により紹介することがあります。
 - ③ 対象大会の会場内・外の掲示板などに掲出することがあります。
2. 選手等の競技結果、記録、インタビュー内容について
 - ① 本協会又は対象大会のウェブサイト並びに本協会が対象大会の運営を委託する団体のウェブサイト（これらのウェブサイトを集合的に、「関連ウェブサイト」という。）で公開することがあります。
 - ② 本協会又は本協会が認めた報道機関（以下、「許諾報道機関」といい、新聞社、放送局、出版社等を含む。）の媒体において公開されることがあります。
 - ③ 選手等のうち、優勝及び上位入賞者の個人情報及び記録を、対象大会が行われた翌年度以降の関連ウェブサイト、大会プログラムなどに掲載することがあります。
3. 画像、音声について
対象大会に関連して、許諾報道機関が収録した選手等の画像及び音声（以下、「収録物」という。）が、許諾報道機関の媒体を通じて放送、配信、公開されることがあります。なお、ニュースとして扱われる場合には、収録物が、許諾報道機関以外の報道機関のニュース番組で使用されることがあります。
4. 商業的利用
対象大会に関連して、本協会が認めた団体が、選手等の画像及び音声を収録し、それらが含まれる製品（出版物、印刷物、DVD、ビデオテープほか）を販売又は頒布することがあります。この場合、当該選手等に対し、対価が支払われることはありません。
5. 禁止事項
選手等が収録する画像又は音声については、以下の制限を行います。
 - (1) 選手等が収録できる画像又は音声は、自己の競技の画像又は音声に限定する。
 - (2) 収録に使用できる機材は1台とし、機材設置場所は、自己の競技が行われるコート脇のベンチに限定する。
 - (3) 収録した画像又は音声を、商業目的で、インターネット上で公開することは禁止する。
6. 承諾
選手等は、対象大会へ参加するための条件として、前記の1から5までの事項を承諾するものとします。

平成29年度主要全国大会申込締切日

日本卓球協会
平成29年2月13日

大会名	開催地	開催期間	申込締切日
全国ラージボール大会	和歌山	6月29日～7月2日	4月13日(木)
全日本クラブ選手権大会	広島	7月14日～17日	5月29日(月)
全日本実業団選手権大会	愛知	7月20日～23日	5月30日(火)
全日本選手権大会(ホープス・カブ・バンビ)	兵庫	7月28日～30日	6月12日(月)
全国レディース大会	香川	7月28日～30日	6月6日(火)
全国高等学校選手権大会	福島	7月28日～8月2日	6月26日(月)
全国教職員大会	千葉	8月3日～6日	6月9日(金)
全国ホープス大会	東京	8月14日～16日	6月27日(火)
全国中学校大会	大分	8月22日～25日	8月11日(金)
国民体育大会	愛媛	9月30日～10月4日	9月6日(水)
全日本選手権大会(団体)	福井	10月13日～15日	9月5日(火)
全日本選手権大会(マスターズ)	新潟	10月27日～29日	9月4日(月)
全日本社会人選手権大会	岡山	11月3日～5日	9月11日(月)
全日本選手権大会(カデット)	熊本	11月10日～12日	9月26日(火)
全日本選手権大会(一般・ジュニア)	東京	1月15日～21日	11月14日(火)
全国レディース卓球フェスティバル	大阪	2月27日～28日	12月25日(月)
全国ホープス選抜大会	神奈川	3月23日～25日	2月5日(月)
全国中学選抜大会	京都	3月24日～25日	2月5日(月)
全国高等学校選抜大会	福井	3月25日～28日	2月13日(火)

※各大会の参加申込受付期間について、申込締切日の1ヶ月前から参加申込を受付いたします。
ご協力ください。